

第十六回 貴族院議事速記録第二十四號

明治三十五年三月八日(土曜日)

午前十時十二分開議

議事日程 第二十四號 明治三十五年三月八日

午前十時開議

第一 製鐵所据置運轉資本ニ不足ヲ生スル場合ニ一時借入ヲ爲スヲ得ル法律案(政府提出案) 第一讀會

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第三 地租ヲ課セサル土地ニ關スル法律案(政府提出案) 第一讀會ノ續(特別委員) 長報告

第四 粗製樟腦、樟腦油專賣法案(政府提出案) 第一讀會ノ續(特別委員) 長報告

第五 輸入原料砂糖戻稅法案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(特別委員) 長報告

第六 日本勸業銀行法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(特別委員) 長報告

第七 農工銀行法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(特別委員) 長報告

第八 農工銀行法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(特別委員) 長報告

第九 明治二十四年法律第二號中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(特別委員) 長報告

第十 民法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(特別委員) 長報告

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ報告ヲ致シマス

(仙石書記官朗讀)

昨七日本院ニ於テ可決シタル政府提出商業會議所法案及東京市區改正條例中改正法律案ハ即日内閣總理大臣ヲ經由シテ裁可ヲ奏請シ及可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

同日本院ニ於テ可決シタル登記出張所再設置ノ請願外二十七件ハ即日政府ニ送付セリ

同日本院ニ於テ修正可決シタル政府提出權限裁判法案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

同日衆議院提出狩獵法中改正法律案ハ本院ニ於テ第二讀會ヲ開カサルコトヲ議決セル旨衆議院ニ通知セリ

同日政府提出粗製樟腦、樟腦油專賣法案特別委員會ノ報告ニ對シ該特別委員名村泰藏君外二名ヨリ少數者意見ヲ提出セリ

同日衆議院ヨリ明治三十四年度歲入歲出總豫算追加案(第四號)ヲ否決セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

同日同院ヨリ本院ノ回付ニ係ル衆議院提出外國領海海水產組合法案ハ本院ノ修正ニ同意シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

同日同院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

製鐵所据置運轉資本ニ不足ヲ生スル場合ニ一時借入ヲ爲スヲ得ル法律案

明治三十五年度歲入歲出總豫算追加案(第三號)

明治三十五年度歲入歲出總豫算追加案(第四號)

明治三十五年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(特第三號)

明治三十五年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(特第四號)

明治三十五年度特別會計歲入歲出豫算追加案(特第五號)

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第四號)

明治三十五年度歲入歲出總豫算追加案(第七號)

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第六號)

各特別委員會ニ於テ當選シタル委員長副委員長ノ氏名左ノ如シ

民法中改正法律案特別委員會

委員長 三好 退藏君 副委員長 平山 成信君

營業稅法中改正法律案特別委員會

委員長 宮本 小一君 副委員長 柴原 和君

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ日程ニ移リマス、製鐵所据置運轉資本ニ不足ヲ生スル場合ニ一時借入ヲ爲スヲ得ル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、朗讀ハ省略シマス

(左ノ通牒文及議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス) 製鐵所据置運轉資本ニ不足ヲ生スル場合ニ一時借入ヲ爲スヲ得ル法律案 右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

製鐵所据置運轉資本ニ不足ヲ生スルトキハ明治三十五年度ニ限り金二百萬圓以內ニ於テ一般會計ヨリ一時借入ヲ爲スコトヲ得
前項ノ借入ヲ爲ストキハ製鐵所作業會計ニ於テ之ヲ歲入ニ編入シ返償スルトキハ之ヲ歲出トシテ拂出スヘシ

(國務大臣男爵平田東助君演壇ニ登ル)

○國務大臣(男爵平田東助君) 製鐵所ノ据置運轉資本ノ不足ヲ補充スルタメニ國庫ヨリ一時借入ヲスルニ就キマシテノ法案ヲ提出致シマシテ、即チ本院ニ回送相成リマシタノデゴザイマスルガ、此製鐵所ノコトニ就キマシテハ今日マデノ經過ニ依リマシテ据置運轉資本ニ段々不足ヲ生ジマシテ、即チ据置運轉資本ハ四百五十萬圓デゴザイマスガ、此運轉資本ニ漸次不足ヲ生ジマシテ、今年度内ニ於テ凡ソ百十七萬圓バカリノ缺損ガ生ズル計算ニナリマスルノデゴザイマス、然ルニ其殘額ニ附キマシテモ尙ホ計算致シマスルト云フト多クハ固定ニナツテ居リマスルヤウナ次第デゴザイマシテ、之ヲ運轉シテ參リマスル上ニ於テ非常ナ困難ヲ感シマスルヤウナ次第ニ立至リマシタ譯デアリマス、大略其理由ヲ申上ゲマスルト云フト、一方ニ於テ前途ノ經營ヲ全ウ致シマシテ次ノ會期マデニ前途ノ經營ニ對シマシテ豫算ヲ提出致シマスル考デゴザイマスルガ、扱其間ニ於キマシテ現時ノ情況ニ依ツテ製造ヲ致シテ見マスト云フトニ致シマスルト云フト、其豫定額ハ凡ソ四萬五千噸ノ豫定デゴザイマス、其四萬五千噸ヲ製作致シマスルニハ凡ソ四百四十六萬餘圓ヲ費スヤウナ譯ニナツテ居リマス、其四百四十六萬圓ヲ費シマシテ製作致シマシタ所ノ製品ヲ販賣致シマシテ之ニ依テ回收シ得ル所ノ金額ガ凡ソ二百四十餘萬圓ノ現金ヲ回收シ得ル見込デゴザイマス、左様致シマスルト云フト此四萬五千噸ヲ生産致シマシテ之ニ要スル所ノ四百四十六萬餘圓ニ對シマシテ約百九十萬圓乃至二百萬圓ノ金額ガ不足スルト云フトニナリマスルノデゴザイマス、斯ノ如キ次第デゴザイマスルニ依ツテ已ムヲ得ズ一時國庫ヨリ借入ヲ致シマシテ此資本ノ不足ヲ償フテ製鐵所ノ現今ノ情況ヲ維持シテ一方ニハ參ルコトニ致シマシテ、又一方ニハ調査委員ヲ置キマシテ前途ノ經營ヲ立テマシテ然ル後之ニ對スル意見ヲ次ノ會期ニ於テ諸君ノ前ニ提出致シマシテ御協贊ヲ仰ギマスル考デゴザイマス、右ノ次第デゴザイマスルニ依ツテ此本案ニ附イテハ御協贊アラシコトヲ願ヒマス

○子爵曾我祐準君 ちヨット農商務大臣ニ御尋シマスガ、三年バカリ前デゴザイマスガ、曾禰今ノ大藏大臣ガ農商務大臣ノ時分ニハ議院デアアリマセヌ

ガ帝國ほてるニ於テ東京ノ實業家トカ或ハ議員ノ若干人ヲ呼バレマシテ製鐵所ノ御話ガアリマシタ、其時分ニ製鐵所ノ資本二千萬圓ニ對シテ八朱ノ利益ヲ確ニ認メ、其出來タ鐵ヲ賣ルニハ歐羅巴カラ日本ニ持ツテ來テ賣ル鐵ヨリモ安ク賣レル高ク賣レバ買手ガナイ、相當ニ日本ニ輸入シテ來ル歐羅巴ノ鐵ノ價位ニ賣ツテ二千萬圓ニ對シテ八朱ノ利益ヲ得ル、サウスルト年々百六十萬圓ト云フ利益ガアルト云フ説明デゴザイマシタ、私共ハ謹聽シテ居リマシタ、心ニハ初疑フテ居リマシタガ謹聽タケハ致シマシタ、幸ニ前ノ農商務大臣ハ今ノ大藏大臣デゴザイマスルカラソレハ御記憶ニナツテ居ルカト思ヒマス、其他其席ニ列シタ人ガ此處ニ澤山ゴザイマセウガ、ソレハドウ云フ都合ニナリマシタカ、今百六十萬圓ト云フ利益ハナイヤウデハゴザイマスルガ、現農商務大臣ノ御勘定ハドウナリマスガ

○國務大臣(男爵平田東助君) 製鐵所ノコトニ附キ唯今ノ曾我子爵ノ御尋ニ御答ヲ致シマスガ、製鐵所ノ經畫ハ御承知モゴザイマス通九萬噸ノ鋼材ヲ製マスルヤラ、勞力ノ賃金ガ騰貴シ、又改正條約ノ結果ニ依リマシテ稅額モ上リマスルト云フヤウナ次第、其他種々ノ關係ヨリシテ此創立費ノ上ニ不足ヲ生ジマシタノデゴザイマス、デ此創立費ノ上ニ不足ヲ生ジマシタガ故ニ初ノ經畫ノ如ク設備ガ完全ニナツテ居リマセヌノデゴザイマス、此設備ガ完全ニナツテ居ラヌガタメニ大キナ伽藍ノ上ニ持ツテ行ッテ製作シ得ル所ノ力ガ足ラナイ即チ費用ガ多クシテ而シテ之ヲ償フダケノ製品ガ未ダ製出セラレヌト云フヤウナ次第デゴザイマス、是モ設備ガ全カラザルノミナラズ、尙ホ職工モ不熟練デアリ、之ヲ施設シテ行ク上ニ於テモ違算アリト云フヤウナ次第カラ右ノヤウナ次第デゴザイマスルニ依ツテ、今日ハ利益ハ決シテ見ラレル譯デアナクテ即チ右申上ゲルヤウナ次第デアツテ、此三十四年度ニ於テハ損失ガ先刻申上ゲマシタル位ノ金額ハ免ル能ハザル情況ノ様子デゴザイマス

○子爵曾我祐準君 然カスレバ三年バカリ三十四年前ニ經畫サレタル經畫ハ全ク齟齬シテ皆無利益ガナイノミナラズ損ガ立ツト云フトデアリマスガ

○國務大臣(男爵平田東助君) 損ガ立ツノデアリマス

○子爵曾我祐準君 政府ノ事業ハ動モスレバ斯ノ如キコトニナリマスガ、一タビ世間ニ公ニセラレタヤウナコトハ成ルタケ確實ニ間違ノナイヤウニナサラヌト政府ノ威信ハ日ミニナクナリマスカラ、他日ノ御注意マデニ申シテ置キマス、現ニ帝國ほてるニ於テ八分ノ利益ガアルト云フト時ノ農商務大

臣ガ保證サレタヤウナコトデアリマス、ソレガ三年バカリ經ツカ經タザル中ニ損ガ行クトハ餘リ物モ違ヒ過ギルヤウデゴザイマスカラ他日ノ御注意マデニ申述ベマス

○伯爵廣澤金次郎君 衆議院議員選舉法中改正法律案ノ委員會ヲ開キタウゴザイマスガ、退席シテ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス、此議案ノ委員ハ議長指名デ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 地租ヲ課セサル土地ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

地租ヲ課セサル土地ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十五年三月六日

右特別委員長

伯爵大原 重朝

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

〔伯爵大原重朝君演壇ニ登ル〕

○伯爵大原重朝君 地租ヲ課セサル土地ニ關スル法律案ノ委員會ノ模様及結果ヲ御報道致シマス、此法案ハ今マデナイ新シク出來タ法案デアリマス、併ナガラ中ノ事實ハ前々行レテ居ル所ノモノデゴザイマシテ、諸法律ニ散在シテ居ル所デ地租ヲ課セザル所ヲ見ナケレバナラヌ都合デゴザイマス、今回ハソレヲ總括シマシテ法案トシテ出サレタ次第デゴザイマス、其纏メタ所ノモノハ明治七年ノ十一月太政官布告ニ地所名稱區別ト云フモノガゴザイマシテ、ソレハ其土地ヲシテ官有地、民有地ト云フ一ツニ別テ其中ニハ色々區別ハゴザイマスケレドモ總括ヲ致シマスレバ即チ二ツデアリマス、然リマスルニ段段法律モ詳シクナツテ參リマスレバ公共團體トカ云フヤウナモノガアル、詰リ法人ト云フモノニナツテ來マスレバ民有地ノ中ニモ色々アル、官有地ノ中ニモ色々アル、取扱上ニ於キマシテモ甚ダ不都合ナ次第デアルカラ、今回之ヲ廢シマシテ地租ヲ課セヌト云フ纏メタ法律案デアリマス、デ委員諸君カラ段々政府委員ニ質問モゴザイマシテ、始テノ法案デゴザイマスカラ、色々質

問ハゴザイマシタケレドモ、事實ヲ確メラレタニ過ギナイ位ノコトデアリマス、重タル所ノ質問ヲ申上ゲマス、第一條ニ御料地ト云フモノガアルガ、此中ニハ皇居モ這入ッテ居ルカ、這入ッテ居ラヌカト云フコトモ質問ガゴザイマシタガ、御料地ニハ世傳御料地ト云フモノモアリ、唯ノ御料地ト云フモノモアル、尤モ皇居離宮總テ此中ニ這入ッテ居ル、之ヲ區別スルト云フヤウナ話デアリマシタケレドモ到底區別スルト唯箇條ガ多クナツテ仕方ガナイカラサウ引括メテ御料地ト云フコトニ致シタシデアル、ソレカラ又其伊勢ノ神宮ト云フモノハドノ中ニ這入ッテ居ルカト云フ質問モゴザイマシタガ、是ハ國有地ト云フ中ニ這入ッテ居ル、或ル委員中ノ人ガ伊勢ノ神宮ダケハ別ニシタイモノデアル、況ヤ御陵墓皇族賜邸ノ次ニ這入ッテ居ルト云フコトハ甚ダ如何デアラウカ、是ハ別格ニシタイト云フ話モゴザイマシタケレドモ、是ハ前年來政府ノ方デ取調ノ上、宮内省ノ方ヘモ段々照會ガアリマシタケレドモガ、ドウモ別ニ置クト云フコトハ甚ダ工合ガ悪ルイカラ皇室ノ方ヘ附ケルト云フテ皇室ト一緒ニスルト皇室ガ神宮デアルト云フヤウナコトニナル、ドウシテモ國ガ戴カナケレバナラヌモノデアアルカラ國有地ノ方ヘ入レルガ宜カラウト云フ宮内省ノ話ガアツテ遂ニ國有地ノ方ニ這入ッテ居ル次第デアル、別段ニ修正案モ出マセヌデゴザイマシタ、デ其他種々ノ質問ハゴザイマシタケレドモ御報道致シマスマデノコトハゴザイマセヌ、所デ聞キマスレバ是マデ地租ヲ課シテ居ッタ所ノモノガ此中ニ幾ラモアルノデゴザイマス、然リマスルノニ此一條ノ第六ナル「神社、建物アル遙拜所」ト云フヤウナモノハ或ハ地租ヲ取ッテ居ッタヤウナ、サウ云フ類ノモノヲ今度課セヌト云フコトニシマスルト、其收入ガ六萬五千七百二十七圓ト云フモノガ減リマスコトニナリマス、併シ是ハ段々課セザル所ノモノヲ課シテ居ッタモノデアリマスカラ、ドウシテモ斯ウセヌナラヌト云フ順序デアリマスカラ、已ムヲ得ザル所ノ收入ガ減ズルコトト看做シテ政府ハ此事ニナリマシタサウデゴザイマス、明治三十三年法律十九號公共用地ニスル地面ハ地租ヲ課セズト云フコトモ段々ゴザイマスケレドモ、色々ト分レテアリマス、今回ハ之ヲ纏メテ一ノ法律ニ爲スト云フコトデアリマス、至極明瞭ニナツタト云フコトデ、委員會一同全會一致ヲ以テ可決ト云フコトニ極リマシテゴザイマス、此段御報道致シマス

○田中芳男君 是ハ政府案デゴザイマスカラ政府委員ニチヨット御尋致シタウゴザイマス、定テ擔當ノ御方モ御出ニナラウト思ヒマスガ、此中ニ公園ト云フモノガ見エマセヌ、公園ト云フモノハドコニ這入リマスカ、ソレヲ承リタ

イ、ソレカラシテ社寺ト云フモノハ近頃ハ續々ト何ノ宗旨カ知りマセヌガ世ノ中ニ、出來テ來マシタガ、サウ云フモノハ皆此中ニ這入リマスカ、ソレヲ承リタイ、又教育ト云フ中ニ總テノ學校、幼稚園モ皆這入ルコト、思ヒマスガ、試験場ト云フモノモ矢張此教育ノ中ニ這入ルデアリマスカ、ソレモ承リタイ、而シテ又病院ト云フモノモ何處ニ這入リマスカ、ソレモ承リタイ、ソコデ學校ト云フモノハ授業料ヲ取ッテ居レバ、ソレハ營利ノ中デ致スモノノ授業料ハ營利ノ目的デアリマスカ、ソコヲ一ツ承リタウゴザイマス

(政府委員若槻禮次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(若槻禮次郎君) チヨット初ノ御問ヲ聞洩シマシタカラ、モウ一應承リタウゴザイマス

○田中芳男君 公園、ソレカラ社寺ガ續々出來テ居ル、御寺ダカ何ダカ分ラヌモノガ隨分方々ニ出來テ居リマス、ソレカラシテ學校デス、小學校、ソレカラ幼稚園、試験場、病院ト云フモノハ何處ニ這入ルカト云フコトヲ御尋致シマス、ソコデ學校ノ如キモノガアリマス、授業料ヲ取ッテヤルモノハ教育ノ方ニ入レナイ、營業ノ目的デアルカラ之ニ這入ラヌト思ヒマスガ、其授業料ハ營利ノ目的デアリト云フ界ガ何處デ分ッテ居リマスカ、病院モ入院料ヲ取ッテ居リマスカラ營業ノ目的ニ這入リマスカ、一向其邊ガハッキリ分リマセヌ

○政府委員(若槻禮次郎君) 公園ハ此第五ノ所ニ這入ルノデ、即チ「公用又ハ公共ノ用ニ供スルモノ」ト云フ中ニ公園ハ這入リマス、ソレカラ此神社ト云フ如キハ鄉村社ノ如キモノデアリマスレバ此六ノ神社ト云フ所ニ這入リマス、ソレカラ學校ノ如キハ教育ト云フ中ト思ヒマス、病院ノ御尋ハ慈善ノタメニ病院ヲ設ケルト云フナラ此慈善ノ用ニ供スルト云フ所ニ這入リマスガ、サウデナイ病院ハ別ニ地租ヲ免ズルト云フコトニナラヌデアリマス、ソレカラ授業料ヲ取ル學校ハ營利ノ目的ヲ持ッテ居ルモノデアアルヤ否ヤト云フ御尋ハ、是ハ授業料ヲ取ッテサウシテ營利ト云フ目的デスルモノデゴザイマスレ

バ茲ニハ這入リマセヌガ、單ニ授業料ヲ取ルト云フノミデハ必シモ營利トハ申サレマセヌデアリマスカラ、授業料ヲ取リマシテモ大體ノ目的ガ營利デナケラネバ矢張此法律ニ依テ免稅スルト斯様ニナリマス、ソレカラ病院ハ入院料ヲ取ル側カラ申シマスレバ、是ハ先程モ申シマシタ通元來病院トノミデハ免ゼラレマセヌ、慈善ノタメニ病院ヲ設クルト云フ主意デアレバ免除スルノデアリマスカラ左様御承知ヲ願ヒマス

○田中芳男君 此御寺ヤラ社ヤラ或ハ一ツノ教會ト云フモノガ方々ニ出來テ居リマスガ、アレハ眞ノ御寺ト御寺デナイ界ト云フモノハ、ドウ云フ風ナ譯ニナリマスカ、ソレヲチヨット御尋致シマス

○政府委員(若槻禮次郎君) 御寺ト仰ニナリマシタノハ寺院佛堂ト云フコトデアアルカ否ヤト云フ御尋デアリマスカ

○田中芳男君 左様デゴザイマス

○政府委員(若槻禮次郎君) 寺院佛堂ト云フモノハ是ハ佛教ノ中デアリマス、所ガ先ニモ申上ゲマシタ通寺院ト佛堂ノ差違ハ任職ノ有ル所ト、ソレノナイ所ノ差違デゴザイマス、總テ是ハ佛教ノ中ト思ヒマス、其他何カ耶蘇教トカ何トカ云フヤウナ宗旨ニ附イテモゴザイマシテ慈善ノ方ノ公共用ニ供スル土地ト云フコトニ當ルモノデアレバ免租スルコトニナルデアリマス

○富田鐵之助君 チヨット序ニ政府委員ニ御尋シマスガ、第一條ノ「地租ヲ課セサル」ト云フ所ニ「道路敷地、鐵道用地、河川敷地」ト斯ウ區別シテゴザイマスガ、此鐵道ノ用地ト云フモノハ鐵道ヲ敷設シタノミナラズ鐵道用ノ附屬地其他工場ノ如キモノハ悉ク之ニ含蓄シテ居リマスカ、鐵道用地ト云フコトヲ詳シク伺ヒタイ

○政府委員(若槻禮次郎君) 鐵道用地ト申シマスモノハ、私設鐵道法ニ依リマシテドレダケノモノガ鐵道用地デアルト云フコトガ法律デ定ッテ居リマス、其法律ニ依リマスルト云フト、線路ハ勿論ノコト、停車場ノ敷地ノ如キ必要ノ附屬地ハ、矢張鐵道用地デアルト云フコトガ法律デ極ッテ居ル、其法律デ極ッテ居ルダケガ、此法律ニ依ッテ免租セラル、ノデ、斯ウ云フコトニナリマス

○藤田四郎君 チヨット政府委員ニ御尋シタウゴザイマスガ、此第一條ノ第一ニ御料地ト云フノゴザイマス、皇室典範ガ出來、憲法ガ出來テ居ル國ニ於キマシテハ、御料地ニ色々種類ガアルデゴザンヌガ、將來御上ニ於カレマシテ入り用デ人民カラ御買上ニナル、サウ云フコトガ將來續々殖エルコトガアラウト思ヒマスガ、世傳御料ノ如キモノデナイ將來ニ於テ御買上ニナル所ノモノデ、皇族賜郎ト云フモノデナイ所ノモノニ附キマシテ、將來矢張免稅地ト云フコトニ相成リマセウカ、是ハ隨分各國ニ色々議論ガアルコトデゴザンヌガ、此邊ハ如何デアリマスカ

○政府委員(若槻禮次郎君) 此第一ニゴザイマスル御料地ハ世傳御料地ト普通ノ御料地ト共ニ含ンデ居リマシテ、唯今御尋ニナリマシタ所ノ將來御買上ニ

ナル土地ト雖モ矢張御料地トシテ地租ヲ課スルコトハ致シマセヌ

○藤田四郎君 尙ホ御尋致シテ置キマスガ、歐羅巴杯ニ於キマシテハ、新規ノ地面ガ殖エテ國ガ困難シタコトガアルト云フコトヲ豫テ聞イテ居リマスガ、ソレ等ニ附キマシテハ將來種々ノ困難ガ生ズルコトハナイモ、デゴザイマセウカ、總テ歳入ヲ減ラスヤウナコトハナイノデゴザイマセウカ、ソレハ如何デアリマスカ

○政府委員(若槻禮次郎君) 唯今マデ帝室ノ御所有ニナツテ居、タ土地ハ地租ヲ取ツタコトゴザイマセヌカラ其例ニ依ツテ進アツテモ國ガ爲ニ收入ヲ得ナイト云フ、斯ウ云フコトハ生ジナイ積デアリマス

○子爵曾我祐準君 チョット政府委員ニ伺ヒマス、御承知ノ事デゴザイマセウガ、建物ガアル御別荘ト云フ如キモノハ無論第一項ニ適當シマセウト思ヒマスガ、御料地トシテ人民ニ更ニ貸シテ人民カラ多少ノ税……税ト稱ヘマセウカ何ト云フカ御取ニナル所ガアラウト思ヒマス、小イ例ヲ申シマス江ノ島ハ御料地ニナツテ居ル、アノ内ニ貝杯ヲ賣ツテ居ル見世杯ガアル、アレハ或ハ幾分カ宮内省ヘ向ツテ地賃ト云フカ何ト云フカ出シテ居ラウト思ヒマス、斯ノ如キ一種ノ税ヲ宮内省デ御取ニナル所デモ矢張御料地ニナルト無税ニナリマスノデゴザイマスカ

○政府委員(若槻禮次郎君) 御料ノ土地デゴザイマスレバ總テ國ノ税ハ取リマセヌノデゴザイマス、ソレカラ此第一條ノ第二項ニゴザイマスル如ク其土地ヲ拜借シテ使用シテ居ル者カラ府縣以下ノ公共團體其使用者ニ對シテハ相當ノ公課ヲ課スルト云フコトハ是マデ爲シテ居ルコトデゴザイマシテ、是ハ今後モ此法律ノタメニハ妨ゲラレヌ積デアリマス、ソレデ國ノ税ト云フモノハ御料地ニ向ツテハ總テ課サナイト云フコトニ致スノデゴザイマス

○子爵曾我祐準君 尙ホ確メテ置キマス、今江ノ島ノ例ヲ舉ゲマシタガ、江ノ島杯デ貝細工ヲ賣ツテ居ル地面、ソレハ御料地デアツテ御料局ニハ幾分カ人民ヨリ税ヲ上ゲマスニ相違ナイト思ヒマス、斯ノ如キモノデアアルニモ拘ラズ國稅ヲ免セラレルノデアリマスカ、現在モ未來モ……

○政府委員(若槻禮次郎君) サウ云フ取扱ニナツテ居リマス、此法律ガ成立致シマシテモ矢張左様ニナルノデゴザイマス、但シ是ハ國ノ土地ニ附イテモ其通デゴザイマシテ國有地ヲ貸シテアル場合ニ於テモ矢張課シテゴザイマス、國稅ヲ取ルト云フコトニナツテ居リマス

○子爵曾我祐準君 チョット、サウスルトト是ハ隨分私ハ恐ルベキコトニナリハセ

ヌカト思フ、ソコラノ前途ノコトヲ案ズルカラ政府委員ニ御質問スルノデ、ソレデ御承知ノ通此西洋デモ税ノコトハ喧マシイガ、此佛蘭西アタリデハ千七百年代ノ貴族僧侶杯ノ田地ト云フモノガ次第ニ殖エル、平民ハ困窮シテ貴族僧侶ノ田地ガ殖エルニ從ツテ今マデ税ヲ出シテ居、タ地モ即チ貴族僧侶ノ所ニナレバ無税ニナル、ソレガタメ一種ノ土地單稅法ト云フモノヲ學者ガ立ツタコトヲ承ツテ居ル、殊ニ土地ノ稅杯ト云フモノハ大事ナモノデアリマスルガ、私ハ皇室ノタメニ甚ダ恐入ル譯デアアル、ソレデ固ヨリ此正當ナル御邸其他御任ニ係ル所ノコトハ無論ノコトデアアル、是ガ除稅ニナルコトハ……併ナガラ此普通ノ御財產……帝室ノ御財產ニナルト云フヤウナ物ガ次第次第ニ殖エテ、ソレガ今政府委員ノ御辯明ノヤウニナルト或ハ恐ル西洋ノ惡例ノ如ク非常ナ變狀ガ起リハセヌカ、是等ハ今日法律ヲ立テル以上ニ於テハ私ハ皇室ノ御タメニ餘程考ヘテ置カシナラヌコト、思フ、ソコハ今此政府ノ御考ハドノ位殖エテモ總テ無税ニスルト云フ御考デアアルカ、ソレヲ能ク何ツテ置キタイ

○政府委員(若槻禮次郎君) 今日マデ帝室ノ御所有ノ土地、即チ御料地ト云フモノハ租稅ヲ取ツテ居リマセヌコトハ、法律ガ現存シテ居リマシテ御承知ノ如クデゴザイマス、ソコデ將來ハ如何ニナルト申シマス殆ド此御料地トシテ相當ナル土地ノ如キハ是マデ帝室ニ於カセラレテ、ソレノ御經畫ニナツテ居ルノデ、此以上ニ大變ニ多ク御所有ガ殖エルヤウナコトハアルマイト考ヘテ居リマス、ソレ故ニ今日マデノ取扱通ニ致シテ置キマス、今後國ガ如何ナル難儀ヲ蒙ルト云フコトハアリマス、甚ダ心配サレル程ノコトハナイト考ヘテ居ルノデ、是マデ通ノ立法デ然ルベキヤウニ考ヘテ居リマス

○三宅秀君 チョット政府委員ニ確メテ置キタウアリマスガ、先刻田中君ノ質問ニ對シテ病院ノ御答辯ガ政府委員カラ出マシタガ、病院ト申シマスルモノハ慈惠ノ目的デ立テルモノデアリ、ソレカラ營利ノ目的デ立テル二種類ノ外ニ法律デ極ツタ病院杯ガアルヤウデゴザイマス、又傳染病豫防ノタメニ立テル病院、消毒所ノ如キハ免稅ニナルコトハ近頃法律デア出マシタ、サウシテソレカラ近頃發令ニナリマシタ精神病者保護法杯ニ據リマスル精神病者ヲ監護致スタメノ病院ト云フモノハ各地方ニ設ケラレナケレバナラヌト云フノデアリマスル、サウ云フ慈善デモナク營利ノ目的デモナイ方ノ病院ハ是ハ何レ第五カ第七カドチラカノ内ニ這入ルコトデアラウト存ジマス、這入ラヌ譯ハナカラウト思ヒマスガ、第五ノ方ニ這入リマスカ第七ノ方ニ這入リマスカ、唯

今ノヤウナ種類ノ病院デゴザイマスルト、ソレハドチラヘ這入ルト云フコトカ、一言確メテ置キタウゴザイマス

○政府委員(若槻禮次郎君) 傳染病豫防法ニ據テ町村テ設立致シマスル病院ハハ第五ニゴザイマスル所ノ公共團體ニ於テ公用ノタメニ設ケテアル土地ト云フ方ニ這入ルノデゴザイマス、精神病者ニ附イテハ唯今精神病者保護

法ノ規定ヲ諸シテ居リマセヌ故ニ町村ノ義務トシテ設ケテアルノデアッタカ存シマセヌガ、若シ町村ノ義務トシテ設ケベキモノデアルト致シマス、矢

張五ニ據テ免稅ニナリマス、其他ノ病院ハ先程御答申上ゲマシタ如ク必シモ慈善ノモノト申スバカリデナク、慈善ノタメノ病院デアレバ免稅サレマス

ケレドモ、サウデナイ普通ノ病院ハ免稅サレナイ、斯ウ云フコトニナリマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 他ニ御説モナクバ採決致シマス、本案ニ讀會ニ移

スベシトスルニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 本案ハ二讀會ニ移スベキモノト決シマス

○伯爵大原重朝君 直ニ二讀會ヲ開カレンコトヲ……

○子爵曾我祐準君 私ハマダ席ニ著ク暇ガアリマセヌガ……本案ニ附イテハ

少シ修正致シタイト思ヒマスカラ二讀會ハ少シ御見合セテ願ヒマス

○侯爵黒田長成君 本案ハ段々質問モ起リマシタ、随分議論モアラウト思ヒ

マスカラ、直ニ二讀會ヲ開クコトハ不同意デゴザイマス

○侯爵細川護成君 曾我子爵ニ賛成

○議長(公爵近衛篤磨君) 直ニ二讀會ヲ開クト云フ動議ニハ賛成ガアリマス

カ

○男爵本多副元君 賛成ガアリマス、私ガ……

○伯爵正親町實正君 是ハ直ニ二讀會ヲ開カヌト定規ノ日數ヲ經レバ二日ノ

後デナケレバナリマセヌ、サウスルトモウ會期ハゴザイマセヌガ、是ハドウ

云フコトニナリマスカ、其結果ハ……

○子爵曾我祐準君 明日デモ開レマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 直ニ二讀會ヲ開クト云フ動議ニ賛成ガアリマス、

之ニ同意ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵近衛篤磨君) 少數ト認メマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 粗製樟腦樟腦油專賣法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

粗製樟腦、樟腦油專賣法案

右別冊ノ通り修正セリ依テ及報告候也

明治三十五年三月七日

右特別委員長 伯爵吉井 幸藏

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

(別冊)

第十九條 本法ハ明治三十五年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二十一條 本法施行ノ際内地ニ於テ樟腦、樟腦油ヲ製造スル者ハ明治三

十五年六月一日迄ニ本法ニ依リ許可ヲ受クヘシ其ノ期間内ハ從前ノ製造

ヲ繼續スルコトヲ得

粗製樟腦、樟腦油專賣法案特別委員會ノ報告ニ對スル少數者意見

右貴族院規則第五十條及第四十二條ニ依リ提出候也

明治三十五年三月七日

右特別委員 名村 泰藏

西村 亮吉

藤田 四郎

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

粗製樟腦、樟腦油專賣法案特別委員會ノ報告ニ對スル少數者意見

本案ハ式ニ違ヒ主任大臣ノ署名セサル違法ノモノナルニ付貴族院ニ於テ議

スヘキモノニアラス且本案ハ臺灣總督府歲入ノ多大ヲ計ルカ爲ニ内地ノ樟

腦製造人及營業者ノ自由ヲ不當ニ束縛シタルモノナリ

右ノ理由ニ依リ本案ハ否決スヘキモノト認ム

(伯爵吉井幸藏君演壇ニ登ル)

○伯爵吉井幸藏君 粗製樟腦、樟腦油專賣法案ノ特別委員會ノ經過及結果ヲ

御報告致シマス、特別委員會ニ於キマシテハ本案ヲ委員會ニ受取リマシテカ

ラ數日續イテ會議ヲ開キマシテ、中々委員會ニ於キマシテモ種々ナ論ガ出マ

シタ、十分其調査ヲ致シテ譯デアリマス、デ此樟腦ト云フモノハ臺灣ガ我帝國ノ領地ニナリマシタ以來、殆ド日本帝國ニ於テ世界ニ供給スルヤウナ有様ニナツテ居ル、其額ハ凡ソ五百萬斤デアアル、斯ウ云フヤウナ日本帝國ノ產物デアリマスガ故ニ臺灣總督府ニ於キマシテハ既ニ明治三十二年ニ臺灣ダケニ專賣法ヲ行ハレタノデアアル、ソレヲ實行シテ來ラレタ所ガ段々經驗モ經、ソレカラ又臺灣ダケニ專賣法ヲ布イテ置イテハ此臺灣ノ專賣法ト云フモノモ亦内地ノ樟腦ト云フモノモ專賣ニセナケレバ國家ノ好財源ノ維持ガ不十分デアアルト云フ所カラ此案ヲ提出サレタト云フ譯デアリマス、之ヲモウ少シ委シク申上ゲマスレバ初臺灣ニ專賣法ヲ布カレルトキニ内地ノ樟腦ノ產出ハドノ位デアアルカト云フコトヲ農商務省ト打合ハサレテ、サウシテ臺灣ニ專賣法ヲ布カレタノデアリマス、デ臺灣カラ出ルノガ初ノ經畫ハ五百萬斤バカリデアツタ、即チ世界需要ノ殆ド全部デアツタ、ソレデ專賣法ヲ行ヘバ内地ノ產出ハ誠ニ僅デアアルカラ差支ナイト云フ所デ、其時ニハ内地ノ方ノ取締ハ何ニモ爲サズニ臺灣ノ方ダケニ行ツタ、ソレデ如何ニモ維持ガ出來ル考デアツタモノト見ユル、然ルニ臺灣ニ專賣法ヲ布カレテカラ内地カラ產出スルモノガ年々二三十萬斤デナクシテ漸々ニソレガ殖エテ來マシテ既ニ昨年……本年度ト云フモノハ百五十萬斤位ノ產出ニナツテ來タガタメニ、世界ノ市場ニ供給スル所ノ樟腦ト云フモノガ取扱ノ二種ニ分レタモノガ出テ行クヤウニナツテ來タ、ソレハ即チ臺灣總督府カラ拂下ゲラル、價格ノ極ツタ樟腦即チ百斤ニ附イテ九十五圓、八十五圓ト云フ價格ヲ以テ賣下ゲラル、樟腦ガ市場ニ出テ參リマス、ソレカラ内地ノ樟腦ハ政府ニ買上ゲラレズシテ製造人ガ既ニ是マデ專賣法前ノ時ニ利益ガアツタノガ專賣法ノタメニ價格ガ騰ツタガ故ニ續々是ガ出ルヤウニナツタ、其物ハ制限ナクシテ制裁ナクシテ外國ニ出ルヤウニナリマシタカラシテ、外國ノ市場ニハ專賣法ノ價格ヨリモ安ク賣ルコトノ出來ルヤウナ樟腦ガ一種、即チ政府ガ賣ツタノガ一種、ソレカラ内地ノ人民ガ自由ニ賣ツタ物ガ一種、是ハ價格ヲ安ク賣ツテモ差支ナイ樟腦デアリマスカラ、即チ官ノ樟腦ト人民ガ自由ニ賣ル樟腦ト競争スルヤウナ有様ニナツテ、段々價格ヲ引下ゲル賣崩スト云フヤウナコトニナツテ來テ臺灣總督府ノ極メテ價格ガ維持ガ出來ナクナツタ、斯ウ云フ譯デアリマス、ソレデ既ニソレガタメニ此九十五圓、八十五圓ト云フモノ、樟腦ノ價格モ昨年三月ヨリ引下ゲラレテヤウナ次第デアアル、從テ臺灣ノ樟腦ニモ大關係ヲ致シテ居ルヤウナ譯デアリマス、是ハ即チ此地内ノ樟腦ノ取締ガ附イテ居ラナイガタメニ起ツタ損失デアツテ内地ノ樟腦

ヲ取締ラヌケレバ臺灣ノ專賣法ト云フモノハ到底維持ガ出來ナイ有様デアリマス、ソレデ此度此臺灣ト内地ト共通ノ專賣法ヲ出シテ、サウシテ内地ノ方ハ收入ト云フガ目的デナクシテ取締ト云フガ目的デアツテ、即チ其取締ヲスレバ臺灣ノ方ノ樟腦ノ價格ヲ維持スルコトガ出來ル、斯ウ云フヤウナ理窟ニナルノデアリマス、ソレデ此共通ノ專賣法ヲ出サレタト云フ譯デアリマス、ソレデ委員會ニ於キマシテハ審議ニ掛リマシタ始ニ此法案ハ内地ノ產業ニモ關係ガアルガ故ニ農商務大臣モ此法案ニ副署スベキデハナイカ、又專賣法ト云フモノニモ關係ガアルカラ大藏大臣モ副署スベキデハナイカト云フヤウナ意見ガ出マシテ、遂ニ是ハ副署スベキモノデアルト云フ意見ガ出テ、ソレデ副署スベキモノニ副署シテナイカラ、此法案ハ式ニ違フモノデアアルカシテ、委員會ニ於テハ議スベカラザルモノデアアル、斯ウ云フ意見ガ出タノデアリマス、其事ニ附キマシテ中ニ議論ガ喧マシウゴザイマシテ遂ニ採決セヌケレバナラヌヤウナ次第ニナリマシテ、決ヲ採リマシタ所ガ三名ダケガ其意見ニ贊成デアリマシタ、ソレデ案ハ矢張議スルコトニナリマシテ、ソレデ議シマシタヤウナ次第デゴザイマシマス、ソレデ各條ニ於キマシテモ種々ノ修正ガ出マシタケレドモ、多クハ成立チマセヌデゴザイマシテ、唯此附則ニ於キマシテ第十五條ニ「四月一日ヨリ」トゴザイマシタノヲ「五月一日ヨリ」ト致シ、ソレカラ「三十五年五月」トゴザイマシタノヲ「六月」ト云フ修正ダケガ成立チマシテゴザイマシマス、此理由ハ本案ヲ議會ニ提出サレマシテカラ殆ド一箇月餘衆議院ニ於テ時ヲ費シマシタガタメニ、此四月一日ト云フ期日ハ、是カラ發布サレテ四月ヨリ施行サレルコトニナリマシマス、大ニ差支ガ起ラウト云フコトデゴザイマシテ、是ハ政府委員モ同意デ委員會ニ於テ修正ニナリマシテゴザイマシマス、而シテ其他ハ總テ衆議院送付ノ通原案ニ可決致シマシテゴザイマシマス、本會ニ於キマシテモ、ドウゾ委員會ノ修正通御贊成アラントト希望致シマス

○議長(公衛近衛篤磨君) 是ニハ少數意見ガ出テ居リマス、名村泰藏君外二名

○村田保君 本員ハ少シク質問ヲ致シタイ、此少數意見者カラ案ガ出テ居リマスガ、本員モ丁度斯ウ云フ考ヲ持ツテ居リマシタ、イツモ此案ノ關係ノ主務大臣ト云フモノガ連署デ以テ法律案ト云フモノガ提出ニナリマス、然ルニ此案ニ限リマシテハ總理大臣ト内務大臣バカリニ見エマス、所ガ此案タルヤ臺灣ノ樟腦製造ノコトデ、是ハドウシテモ農商務省ノ所管ニ屬シタモノデア

ル、又此租稅等ノコトニ附キマシテハ、是ハドウシテモ大藏大臣ガ關係シナケレバナラヌノニ、此兩大臣ノ連署ガゴザイマセヌノハ、ドウ云フ譯デ今回ニ限ッテ此主務大臣ガ之ニ連署セラレヌカ、是ニハ何カ仔細ノアルコトデハナイカト云フコトヲ先ヅ承リヌイ

〔政府委員奥田義人君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 奥田君

○子爵曾我祐準君 此答辯ハ大臣ニ願ヒマス、私ハ政府委員ガセラレベキ資格デナイト思ヒマス、大臣副署ノコトデアリマスカラ總理大臣カ若クハ大臣ガ來テ辯ゼラレナイト思フ、政府委員ノ答辯ハ御斷シタイト思フガ、村田君ハ如何デゴザイマスカ

○村田保君 本員モ左様ニ思ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 今會我子爵ノ發言ニ依リマシテ國務大臣ヲ迎ニ出シマシタガ、マダ出席ガアリマセヌカラ之ヲ後トヘ回ハシテ、次ノ日程ニ移ルコトニシテハ如何デスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○子爵曾我祐準君 本員等ハ豫算委員會ヲ開キタイト思ヒマスカラ唯今ヨリ退席致シタウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス、輸入原料砂糖戻稅法案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

輸入原料砂糖戻稅法案

右別冊ノ通り修正セリ依テ及報告候也

明治三十五年三月五日

右特別委員長

伯爵正親町實正

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

(特別委員ノ修正ニ係ル部分ノミヲ掲載ス)

附則

第三條 本法ハ明治三十五年十月一日ヨリ施行シ同日以後輸入稅ノ賦課ヲ

受ケタル原料砂糖ニ之ヲ適用ス

第四條 本法ハ明治四十四年三月三十一日迄其ノ效力ヲ有ス

輸入原料砂糖戻稅法案特別委員會ノ報告ニ對スル少數者意見
右貴族院規則第五十條及第四十二條ニ依リ提出候也

明治三十五年三月五日

右特別委員

辻 新次

調所 廣丈

時任 爲基

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

輸入原料砂糖戻稅法案特別委員會ノ報告ニ對スル少數者ノ意見

本案ハ不必要ト認ムルニ付否決スヘキモノトス

(伯爵正親町實正君演壇ニ登ル)

○伯爵正親町實正君 本案ニ附キマシテ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報致シマス、委員會ハ去ル五日ニ開キマシテ種々審議ヲ遂ゲマシテゴザイマス、尙ホ是ニハ大藏省ノミナラズ農商務省ニモ關係ヲ致シテ居ル議案デアリマスカラ、尙ホ農商務省ノ政府委員ニモ出席ヲ請ヒマシテ審議ヲ盡シタ譯デアリマス、而シテ是ニハ種々質問等モゴザイマシタガ、遂ニ此原案ノ通トシテ附則ニ聊ノ修正ヲ加ヘマシテ此原案ノ通ニ可決ト云フコトニナリマシタ、デ抑、此原案ハドウ云フモノデアアルカト云ヘバ、諸君モ御承知ノ如ク此法案ニモ記載シテゴザイマスル如ク、此精製糖竝ニ氷砂糖ヲ製スル原料ノ輸入砂糖ニ附イテ將來此精製糖若ハ氷砂糖ニ使ツタモノデアアルナラバ、其輸入ノトキニ賦課シタ所ノ關稅ヲ下戻シテヤル、斯ウ云フ提案デアリマス、ソレデナゼ此關稅下戻ガ必要デアアルカト申シマスレバ今日我國ヘ砂糖ノ輸入スルト云フノハ實ニ夥シイ數デアリマスノデ、明治三十三年以上凡ソ四箇年程ノ平均ニ依リマシテモ、一箇年ニ一億九千四百九十五萬斤ト云フ白砂糖ガ這入りマス、之ヲ代價ニ積ッテ一千五百二十二萬圓ト云フコトニナリマス、ソレカラ赤砂糖ノ如キモノハソレト別デアッテ赤砂糖ハ平均一億六千三百九十一萬斤程這入りマス、其代價ガ七百八十八萬圓、ソレニ尙ホ今日内地ニ於テ出來マスル白砂糖其他西洋式ノ機械ヲ以テ赤砂糖ヲ精製致シマシテ拵ヘマス所ノ白砂糖、ソレハ例ヘバ大阪ニモ一箇所ト東京ニモ一箇所兩會社ガゴザイマス、精製糖會社ト云フモノガ……、其會社等ニ於テ拵ヘマス白砂糖、サウ云フモノヲ入レマシテ内國デ出マス砂糖ガ七千萬斤以上出來マス、ソレデ詰リ、是ト前申上ゲタ一億九千四百何萬斤ト云フモノト兩方加ヘマシテ大約二億六千五百六十一萬斤ト云フ

モノガ年々内地で消費ニサレル高デゴザイマス、ソレデスノ如ク内地ニ於テ
ノ白糖糖ノ消費ト云フモノハ實ニ夥シイモノデアリマスガ故ニ、成ルベク白
砂糖ノ如キモノハ輸入ヲ防イデ成ルベク内地で製造スルヤウナコトニ致シタ
イ、ソレデサスレバ此粗製糖ヲ輸入シテ精製糖ヲ拵ヘルト云フナラバ、詰リ其
加工費デアリマス、加工費ト云フモノガ内地ニ補益スルコトニナリマシテ成
ルベク斯様ナ工業ヲ發達サセタイ、而シテ其赤砂糖ノ方ニ於キマシテモ此輸
入ノ中カラシテ年々七千萬斤ノ精製糖原料ヲ引去リマシタ所デ尙ホ一億六千
三百萬ト云フモノハ直接消費需要ニ充タサレテ居ルデアリマス、ソレデ此
方モ今申シタ残りノ九千三百萬斤ト云フ輸入赤砂糖ト、ソレカラ内國で出
來マス所ノ砂糖ガ七千何萬斤ト云フモノガ出來マス、兩方合セマスト一億
六千四百九十五萬斤程ノモノガ年々消費サレル、是ハ前申上ゲタ白糖糖ノ外
ニマダ是ダケノ赤砂糖ヲ直接ニ需要サレルト云フ有様デアアル、ソレデ丁度白
砂糖ニ於テハ前申上ゲタ通此二億六千五百萬斤程ノ白糖糖ヲ消費サレマスル
ノガ、其中ニ於テ七千萬斤ハ内地で出來マスルガ、其殘タ一億九千四百萬斤
ハ輸入ヲ仰イデ居ル、若モ是ガ益、製糖業ト云フモノガ盛シニナッテ此白糖糖
ヲ悉ク内地で精製スルト云フヤウナ曉シナレバ餘程ノ國家ノ利益デアアル、例
ヘバ今日ノナンデハ此原料ニ使フ赤砂糖ヲ假ニ百斤六圓内外ト致シマスレバ
是カラシテ精製糖ヲ造リ出シタ所ノ白糖糖ト云フモノハ凡ソ價格ガ十圓内外
デアアルサウデアリマス、サウスルト詰リ百斤ニ附イテ四圓ト云フ所ノ開キガ
ツク、之ヲ一億何萬斤ノ斤數ニ乘ズレバ四百萬圓ト云フ大數ニナル、若シモ急
ニサウ云フ譯ニハ參リマスマイガ、一億ノ砂糖ヲ日本デ拵ヘルト云フコトニ
ナレバ、今日八百萬圓ノ加工費ト云フモノハ是ハ内地へ落ツル譯デアリマス、
故ニ斯ル必要ナモノデアアルカラシテ益、此製糖業ト云フモノハ發達サセナケ
レバナラヌ、然ルニ不幸ニシテ昨年此砂糖消費稅ト云フモノヲ掛ケラレタ、其
以前ニ於テハ別段差支モナカッタナレドモ、此消費稅ノ結果非常ニ當業者ニ於
テハ打撃ヲ加ヘラレタ、ソレガタメニ將來此製糖業ノ發達ニハ非常ナ妨害ヲ
加ヘタコトデアアル、故ニ少クモ此輸入稅デモ下戻ヲ附ケルヤウニナレバ餘程
此業ノタメニハ幸福デアアル、故ニ今度斯ノ如キ法案ヲ提出シテ戻稅ヲ請求ス
ルノデアアル、斯様ナ意デアリマス、是ガマア原案ヲ提出スルト云フ意味デアアル
サウデアリマス、然ルニ此案ニ於キマシテハ政府ハ反對意見ヲ持ッテ居ラレ
ル、デドウモ斯ノ如キモノハ甚ダ宜シクナイト云フ段々説明ガゴザイマシタ、
先ツ其大要ヲ申シマスレバ第一ニ斯ノ如キ法ヲ設ケレバ内國ノ糖業ニ非常ナ

妨害ヲ與ヘル、内國産業ノ發達ヲ妨ゲル、斯ウ云フ譯デアリマス、ソレデソレ
ハ内國ト雖モ此砂糖ト云フモノハ段々生産地ガアッテ將來ハ段々望ノアル譯デ
アル、殊ニ内地ノ大島沖繩ノ如キモノハ古來ヨリ是ハ砂糖ノ生産地デアアル、近
來モ段々此業ヲ繼續シテ居ルコトデアアル、殊ニ臺灣ノ如キハ、是ハ最モ適當ノ
糖産地デアアル、併ナガラ今日マデノ耕作竝ニ其他ノ方法ニ至ッテハ甚ダ其方法
宜シキヲ得ナイタメニ十分ノ收穫ヲ得ルコトハ出來ナイデアアル、併シナガ
ラ政府ハ將來此産地ニ於テ十分生産力ヲ増スト云フ見込ガアルカト云フニ、
此度ハ是ノ進歩發達ヲ圖ルガタメニ補助ノ方法ヲ設ケ、現ニ今議會ノ協贊ヲ
經テ是ヨリシテ段々此糖業ニ向ッテ發達スベキヤウニ力ヲ盡ス積デアアル、ソ
レデドウモ内地ノ砂糖ノ生産力ト云フモノハ段々近來ハ衰頹ノ傾ガ見エテ來
タノデアアル、ソレデ是ハドウ云フ譯カト思ヘバ、ドウモ此輸入ノ砂糖ニ壓セ
ラレルト云フ形跡ガ見エル、故ニ成ルベクサウ云フコトデアアルナラバ、此内
地ノ糖業ニ向ッテ其獎勵補助等ヲシテ此業ノ發達ヲ望マナケレバナラヌ譯デ
アル、然ルニ之ニ反シテ一方ニハ此輸入稅ヲ免ズルト云フヤウナコトニナル
ト益、其傾ヲ增長シテ來ル譯デアアル、取リモ直サズ一方ニ此補助ヲ與ヘ此業ノ
發達ヲ獎勵シツ、アリナガラ、又一方ニハ輸入稅ヲ免ジテ此輸入ヲ圖ルト云
フコトハ實ニ是ハ矛盾モ甚シキモノデアアル、全ク反對ノ政策ヲ執ルト云フコ
トニナルカラシテ、是ハ絕對ニ理窟ノ合ハヌ話デアアル、併ナガラ是モ將來日本
ニ於テハ最早砂糖ノ望ガナイト云フヤウナ話デアアルナラバ免モ角デアアルガ、
此將來ニ於テハ日本ノ産糖業ト云フモノハ益、有望ノ時デアアルデアアル、現
在ニ於テスラ内地ニ於テモ七八千萬斤ノ高ガ出來ル、又臺灣ニ於テモ同様ノ
生産力ヲ有ッテ居ル、兩方合セレバ殆下一億四五千萬斤ノ生産力ト云フモノ
ガ現在既ニアルノデアアル、之ヲ改良ノ政策ヲ執ッテ獎勵改良スルトカ若クハ此
製造耕耘等ノ業ヲ改良スルニ於テハ今日ニ數倍シタ所ノ收穫ヲ得ルト云フコ
トハ是ハ間違ナイ話デアアル、左スレバ斯ノ如キ夥シキ外國輸入ヲ仰ガズトモ
内地ノ原料ヲ以テ十分ニ精製業ヲ營ムコトガ出來ルノデアアル、サウ云フ譯ニ
モ拘ラズ今此處デ此際ニ向ッテ輸入稅ヲ免ズルト云フコトハ、マルデ其糖業ノ
發達ノ何ニ向ッテハ非常ナ打撃ヲ加ヘル話デアアルカラ甚ダ不都合ナコトデア
ル、且ツ又普通此戻稅ヲ免ズルト云フモノハ多クハ再ビ海外へ輸出サレル品物
ガ多イノデアアル、例ヘバ粗品ノ原料ヲ輸入シテソレニ製作用加ヘテ加工品ト
シテ再ビ海外ニ輸出スルト云フモノハ、之ニ向ッテ戻稅ヲ免ズルト云フノハ最モ
必要ナコトデアアルガ、此砂糖ノ如キハ一旦戻稅ヲシテ仕舞ヘバ再ビ輸出セズ

内地ニ於テ總テ消費サレルモノデアアルガ故ニ、遂ニ此物ニ向ッテ關稅ヲ掛ケルコトガ出來ヌト云フ結果ニナッテ仕舞フノデアアル、併ナガラ是モ或ハ内地ニ於テドウシテモ目下ノ所出來ナイ、例ヘバ羊毛デアアルトカ綿花デアアルトカ云フヤウナ物デアレバ是ハ致シ方ナイガ、砂糖ノ如キハ前申ス如ク十分將來ニ望ガアルコトデアアルカラ、斯ノ如キコトハ甚ダ反對スル譯デアアル、加之昨年消費稅ノ結果ニ依ッテ此日本ノ兩會社ガ非常ニ衰頽ヲ來スト云フコトヲ頻ニ申唱ヘテ居ルガ、政府ノ見ル所デハ何モ此兩會社ニシテモ非常ニ今日死ニ瀕シテ居ルト云フヤウナコトデハナイ、現ニ此消費稅ノナイ時ニ於テハ差支ナク營業ガ出來タノミナラズ、相當ノ隨分利益ヲ分配シテ居ッタ話デアアル、成ル程昨今ニ於テハ昨年消費稅ヲ賦課シタ結果トシテ其前ニ非常ナ見越輸入等ガアツタタメニ一時砂糖ト云フモノハ内地ニ輻湊シタタメニ内地デ販路ヲ妨ゲラレル傾ハアツタラウガ、是ハ一時ノコトデアアルカラシテ、最早暫時經テハ元ニ復シテ仕舞フト云フコトデアアル、サスレバ斯ノ如キ苦痛モ免レル話デアアル、勿論政府トシテモ此安イ粗品ヲ輸入シテ、サウシテソレヲ精製シテ加工費等ノ如キモノヲ日本ニ落スト云フヤウナコトハ工業上ニ附イテハ勿論反對デハナイ、ソレハ無論結構ナ話デアアルガ、併ナガラソレノミバカリニ眼ヲ注イデモ一方ノ此産糖業ト云フ方ヘモ矢張注意シナケレバナラヌコトデアアルカラ、サウシテ見ルト若シ之ヲ許ス日ニ於テハ片ッ方ノ此日本ノ砂糖製作ノ方ニ大ナル打撃ヲ蒙ル譯デアアルカラシテ、敢テ此仕事ハ絶對ニ何モ政府ハ反對デナイ、最モ獎勵發達ヲ喜ブ話デアアルガ、又一方ノ農業ノ方ニモ注意シナケレバナラヌト云フ譯デアアルカラ……先ツ政府ノ反對セラル、所ノ理由ハ大略唯今申述べタ如クニ記憶致シテ居リマス、併ナガラ尙ホ洩レタ所ハ又政府委員ヨリ補ハレルコト、思ヒマス、所デソレニ向ッテ此原案ヲ贊成スル論者ノ說ニ曰ク成ル程政府ハ此輸入稅ヲ廢スレバ非常ニ此日本ノ産糖業ヲ妨ゲルト言ハレルガ決シテサウ云フ虞ハナカラウカト考ヘル、ナゼナラバ此輸入砂糖……今度輸入稅ヲ免シテ貫ハウト云フ砂糖ハ、全ク此白砂糖ヲ精製スルタメノ原料ニ使フモノノミデアアッテ、直接ニ消費セラル、所ノ砂糖ニ向ッテハ決シテ免稅ヲスルノデハナイ、ソレデ然ラバ其免稅スベキ原料ニナル砂糖ハ悉ク白砂糖ニシテ出スノデアアル、其高ガ前ニ申述べマシタ如ク七千萬斤程アルノデアリマス、此分ガ免稅サレルノデアアッテ、差引イテ其他ニ尙ホ九千三百餘萬斤ト云フモノハ直接需要ノタメニ這入ッテ來ルノデアアル、假令此方ヘ使ッ

レデ内地ノ砂糖ダケデハ詰リ足りナイガ故ニ、マダ其上ニモ是ダケノ砂糖ガ輸入シテ、其需要供給ヲ補ッテ居ル、ソレハ赤砂糖ノコトデアアル、其外ニ又白砂糖ハ三億ナンボト云フモノガ之ト同時ニ供給サレルノデアアル、故ニ内地ノ砂糖ト云フモノハ全ク其供給ノ販路ヲ異ニシテ居ル、決シテ此精製糖ノ方ヘ使フタメニ影響ハ少モ受ケナイノデアアル、若シ此稅ヲ免ジテ内國ノ生産ニ障ラウカト云フノハ此内地ニ於テ使用スベキ白糖ヲ悉ク日本ノ會社ニ於テ精製スル曉ニナッテ來タナラバ率ザ知ラズ、今日ノ所デハ中々其サウ云フ場合ニハ至ラヌノデアアル、詰リ此精製糖會社ニ於テ拵ヘタ砂糖ガ成ル程稅ヲ免ゼラレ、バ値ガ幾分カ安クナル、併シ其稅ノ高ハ僅々總數デ十五萬圓程デアアルカラ、百斤ニ附イテ二十錢四厘デアアッテ、一斤ニシテ見ルト僅ニ二厘ノ免稅デアアルカラ、其原價ガ安クナルト云フ程ノコトニハナラヌノデアアル、デ此砂糖ト云フモノハ何ト戰フカト云フト是ハ矢張白糖即チ直接需要ノタメニ輸入スル砂糖ト戰フノデアアッテ赤砂糖ニハ影響ヲ及サヌノデアアル、ソレカラ併シ日本ノ糖業ガ輸入糖ノタメニ壓セラレルト言ハル、ケレドモ、是ハドウモ今日デハ致方ガナイノデアアル、現ニ此稅ガアツテモ矢張今日ノ所デハ關稅ノ改正モ出來ヌ譯ニナッテ居ルカラシテ、之ヲ防ガウト云フニハ關稅ヲ上ゲルノガ一番宜シイガ、是ハ到底出來ヌ話デアアルカラ、或ハ内地デ補助ノ政策ヲ取ルヨリ外ニ如何トモ致方ガナイ話デアアル、デ一方ノ此精製糖ノ原料ニスル所ノ砂糖ヲ免稅ニシタカラト云ッテ直接需要ノ砂糖ニハ少モ關係ヲ及ス話デアハナイ、ソレ故一方ニハ十分ニ内地糖業ノ發達ヲ獎勵セラル、ト雖モ何モ片ッ方デ原料糖ニ向ッテ稅ヲ免ジタカラト云ッテ決シテ反對ノ政策ニハナラヌコト、考ヘル、且ツ又政府ハ將來内地デ十分ノ生産額ガアル故ニ之ヲ以テ此精製糖ノ原料ニ使ヘバ十分デアアルト申サル、デ現在ノモノデモ使ヘルカノ如クニ話サレルガ一體西洋ノ洋式ノ機械ヲ以テ精製糖ヲ造ラウト云フコトハ今日ノ日本デ舊式ノ……古來仕來ッタ所ノ舊式ノ製方デ拵ヘタ砂糖ハドウモ直接ニ到底原料ニ使スルコトハ出來ナイ、出來マセヌコトハナイカモ知レマセヌガ、甚ダ其製方ガ粗惡ニシテ之ヲ使ッテハ詰リ引合ハヌト云フ話デアアル、臺灣ノ砂糖ノ如キハ成ル程澤山ニ出來ルニハ違ヒナイガ、ナカクアノ儘デ直接ニ今日ノ精製糖ノ原料ニ使フ譯ニハイカナイ、ソレデアリマスカラ今日ノ儘政府ハ……今日政府ノ執ル所ノ此獎勵ノ方法ト云フモノハ先ツ以テ種子ノ改良デアリ耕作ノ改良デアアルカノ如クニ聞クガ故ニ、是デ進デ行ッタナレバ收穫ハ増スデアラウ、例ヘバ一段ニ附イテ百斤ノモノハ二百斤或ハ三百斤ト云フ

收穫ハ増スデアラウガ、砂糖ノ品質ニ至ッテハ矢張同様デアアルノデアアル、故
ニ之ヲ今日兩會社ガ使用スル所ノ原料ニシヤウト云フニハ今一遍機械ニ掛ケ
テ製造ヲシナケレバナラヌ、恰モ臺灣アタリノ砂糖ハ黑砂糖ト同シヤウナモ
ノデアアル故ニ今一度機械ニ掛ケテ精製シナケレバ白糖ノ原料ニハナラヌ、即
チ今度臺灣ニ於テ臺灣製糖會社ヲ立テタノハソレガタメデアッテ、アノ會社
ニ於テ一旦精製シタノガ丁度此白糖ノ精製糖會社ノ原料ニ使フ位ノ砂糖ガ出
來ルノデアアル、故ニ幾ラ日本ノ今日ノ有様デ赤砂糖ガ澤山出來ヌト雖モ逆モ
此輸入ノ原料糖ト到底競争スル譯ニハイカヌ、尙ホ一層改良ヲシテ製作ヲ加
ヘヌ以上ハ此儘デア原料ニハナラヌ、ソレガ故ニ今日ノ此何ハ合ハヌ譯デア
ル、併ナガラ將來段々産額ヲ増シテ斯ノ如キ會社……精製會社ガ澤山ニ出來
ル曉ニナレバ原料モ出來テ來ルデアラウ、然ルニナカクソレハ前途遠イコ
トデアッテ今度臺灣ニ出來ル會社ニシテモ僅ニ百萬圓バカリノ會社デアアル、此
會社テ一箇年ニ製造スル高ハ漸ク五百萬斤位デアアル、臺灣ニ於テハ現在七八
千萬斤位ノ製造高デアアルガ、將來之ヲ一億二億ノ高ニスルノハ是ハ容易イコ
トデアアル、假ニ臺灣ニ於テ斯ノ如ク砂糖ガ二億萬斤モ出來ルノヲ之ヲ皆精製
シテ赤砂糖トシヤウト云フニハ斯ノ如キ會社ガ凡ソ四十バカリモ出來ヌコト
ニ於テハ二億萬斤ノモノヲ悉ク精製スル譯ニハイカヌコトデアアル、デ之ニ向ッ
テ下スベキ資金ハ凡ソ三千萬圓以上モ要スル譯デアアルカラ、斯ノ如キコトハ
イツ出來ルコトデアアルカ、一向ドウモ急ニサウ云フ運ビニ行クモノヂヤアル
マイ、又政府ニ於テモ前申ス如ク耕作ノ改良種子ノ改良ヲ經畫サレテ居ルヤ
ウデアアルケレドモガ、ソナラ糖業上ニ於テ洋式ノ機械ヲ以テ此白糖ヲ造ル
コトニ附イテハ、將來ドウシテ其位置ニ達スルカ、又臺灣ノ原料糖ノ造直シ
ニ附イテモドウ云フ經畫ヲ立テラレテ居ルカト云ヘバ其方ニ向ッテハ唯漠然
トシテ何モ今日デア見込ガナイヤウデアアル、若シ果シテ是ガ何年後ニハ斯ノ
如クニナッテ此輸入砂糖ヲ防ギ得ラル、ト云フ判然トシタ目的ガアルナラバ
知ラズ、今日デア唯收穫ヲ増スノミデアッテ敢テ其他ニハ別段此砂糖ニ附イ
テノ政策ハナイ、然ラバ是ハイツ其位置ニ進ムカ更ニ分ラヌコトデアアルガ故
ニ、一方ニ於テハ聊タリトモ此稅ヲ免ジテ成ルベク此精製糖業ノ日本ニ發達
スルコトヲ圖ルノハ最モ必要ノ事業デアアル、而シテソレガ内地ノ產糖業ニ妨
フスルナラバ是ハ已ムヲ得ヌコトデアアルガ、是ハ前申ス如ク全ク此砂糖ハ販
路ヲ異ニシテ居ルノデ、少モ此精製糖ノ方ニ關係シナイモノデアアル、ソレデ
ドウシテモ將來此日本ニ於テ砂糖ノ産額ガ益、多クナルト云フコトデアアルナ

レバ到底日本舊來ノ舊式ノ製糖ノ方法デヤッテ居ッテハ、世界ノ競争場裡ニ立ッ
テ世界ノ砂糖ト競争スルコトハ出來ナイ、世界ノ砂糖ト競争ヲ試ミントスレ
バ、ドウシテモ洋式ノ製糖機械ヲ以テ大ニ製造スルト云フ目的ヲ取ラナケレ
バ、逆モ此日本式ノ製糖ノ方法ニ於テハ、將來トテモ此世界ノ砂糖ト競争シ
テ行キ競争シテサウシテ此影シイ今日ノ輸入砂糖ヲ驅逐シテ仕舞フト云フコ
トハドウモ出來ヌ話デアアル、然ラバ今日ハ微々タル僅ノ兩會社ト雖モ斯ノ如
ク今日會社ノ發達ヲ圖リ尙ホ是ノミナラズ此外ニモ益、此會社ノ増設ヲ圖ル
ト云フ方針ヲ取ラナクテハナラヌ、僅カ今日ノ兩會社ニ於テハ七千萬斤ノ砂
糖シカ出來ヌ、是モ全力ヲ以テ機械ヲ運轉スレバ一箇年ニ一億萬斤位ハ出來
ル、見込デアアル、假令一億ノ砂糖ヲ拵ヘタ所ガ尙ホ一億程ノ砂糖ガ這入ッテ
來ルカラ之ニ向ッテ斯ノ如キモノヲ拵ヘテ……思ヘバ未ダ今日彼ノ會社位ノ
モノヲ四ツバカリモ拵ヘナケレバ十分ニ砂糖ヲ製スルコトハ出來ヌト云フ有
様デアアル、故ニ今日ニシテ若シ此製糖業ト云フモノガ衰頹スルト云フヤウナ
コトニナレバ、今日ノ有様デ持續サレテ行ケバマダシモデアアルガ、將來ハ最
早斯ウ云フコトヲ段々企テルト云フモノハナクナラウト云フ虞レガアルカ
ラ、成ルベク斯様ナコトニハ注意ヲ加ヘニヤナラヌコトデアアル、故ニ今申ス
如ク將來此日本ノ原料糖ガ益、出來レバ出來ルダケ斯ノ如キ製糖會社ト云フ
モノハ、會社デアアリマセヌガ此製糖業ト云フモノハ必要ナモノデアアル、
故ニ是ハドウシテモ今日ハ最モ斯様ナ方法ヲ取ラナクテハナラヌモノデア
ル、併ナガラ前モ申ス如ク日本ノ殊ニ臺灣杯ニ於テモ將來ノ産額ニ從ッテ改
良方法ヲ執レバ此原料砂糖ト云フモノガ出來テ來ル譯デアアルカラシテ、其時
分ニ於テハ或ハ又反對ノ政策ヲ執ラナケレバナラヌ場合ガ出來テ來ナイトモ
言ヘナイ、ソレ故ニ先ヅ此營業免稅ト云フコトモ如何デアラウカラシテ少ハ
此所デ先ヅ五箇年暫ク年限ヲ切ッテ此法案ヲ實行スルト云フコトニシタラ宜
カラウ、此年限滿了ノ時ニ於テハ、内地ノ產糖業ノ有様ヲ考ヘテ尙ホ必要デ
アレバ繼續シテモ宜カラウシ、若シ不必要ノ時ニハ廢スルモ宜イカラシテ、先
ヅ假ニ年限ヲ設ケルガ宜カラウト云フコトデ、ソレデ此附則ニ少シク修正ヲ
加ヘタノデアリマス、ソレデ此修正ハ明治四十四年三月三十一日マデ其效力
ヲ有スト斯ウ云フコトニナリマス、大凡チヨット九箇年ハ箇月程ニナリマス
ガ、ナゼ是ハ斯ウナッタト申セバ、農商務省アタリノ現在ノ砂糖ノ改良方法
ガ大凡十箇年ノ經畫ニナッテ居ルカラシテ、マア斯ウスレバ大抵其時分ニ至ッ
テ略、實行ガ……時日ガ到著スルカラ其模様ニ依ッテ又變更スルト云フヤウニ

シタラ宜カラウ、斯ウ云フ譯デアリマス、ソレカラ此附則ノ第三條ノ明治三十五年四月一日ト云フノヲ十月一日ト云フコトニ變ヘマシタ、是ハナゼト申セバ別段深イ意味モゴザイマセヌガ、四月一日ト云フト餘リ近イコトデアルカラ、且ツ商業上ノ事デアルカラ成ルベク實行ノ猶豫ヲ與ヘタ方宜カラウト云フノデ、ソレデ十月カラ施行シタラ宜カラウト云フノデ十月一日ト云フコトニ直ツタケデアリマス、尙ホ此事ニ附キマシテ御質問ガゴザリマズレバ御答致シマセウガ、私ヨリモ尙ホ……私ハ唯委員會ノ報告ヲ致シタノミデアリマスガ、此賛成ノ諸君ガ種々熱心ノ方モアリマセウカラ、其諸君ヨリモ尙ホ御答ニナルコト、考ヘマス

○子爵谷干城君 此案ハ極私共ハ反對ナノデアルガ、其處へ出テ短簡ニ意見ヲ述ベタイト思ヒマスガ如何デゴザイマセウ

○議長(公爵近衛篤磨君) 少數意見ガ出テ居リマスカラ其説明ヲ此際……
○子爵谷干城君 一體豫算委員會ニ於キマシテ私ガ報告ヲセンナラヌコトニナツテ居リマス、願ハクハ長イコトハ言ヒマセヌ短簡ニ述ベタイト思ヒマスカ……

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレハ少數意見者ト御打合せノ上デ少數意見者ガアナタニ御讓ニナルト云フコトニナレバ議長ニ於テハ差支ハゴザイマセヌ

○子爵谷干城君 少數意見者ハ辻君デゴザイマスカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 辻君デゴザイマス

○子爵谷干城君 辻君、如何デゴザイマセウ、ヒドウ長イ御妨ハシマセヌガ、許シ給ヘ

○辻新次君 私モ意見ヲ述ベヤウト思ヒマスガ、先ツ谷子爵ガ述ベラレルト云フコトナラバ御述ニナツテ宜カラウト思ヒマス

○子爵谷干城君 宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 谷子爵

(子爵谷干城君演壇ニ登ル)

○子爵谷干城君 諸君、唯今委員長ヨリ長ミト御説明ニナリマシタガ、私ノ伺フタ所デハ詰リ此重ナル主意ハ唯之ヲ賛成ノ方ノ代言ヲ爲サレタコトノヤウニ考ヘル、是ハ反對ニ多クノ理由ノアルコトデアリマスガ、其反對ノ方ノ理由ニ附イテハ至ッテ簡短ニ御述ニナツタト思ヒマス、其點ガ甚ダ私ハ遺憾ニ思フ、デ既ニ此大島ノ砂糖ノ向後ノタメニ三箇年デゴザイマシタカ四箇年デゴザイマシタカ三萬圓宛支出スル、即チ本年、三十五年度ノ中ニ三萬圓ト云

フモノハ追加豫算ニ出テ、ソレハ委員會デハ既ニ可決ニナツテ居リマス、定メテ本會議へ上リマズデゴザイマセウ、デ此主意ハ即チ内地ニ於テ十分今ヨリ先、内地デ需要スルダケノ原料ヲ成シ得ル、テ沖繩大島新領土ノ臺灣、此三箇所ニ於キマシテハ御承知ノ通砂糖ノ名所デアアル、畢竟此培養法等ノ不完全ヨリシテカラニ誠ニ其生産力モ少イ、之ヲ農商務省ニ於テハ氣ヲ附ケラレテ此後十分世話サヘスレバ外國品ヲ防グコトガ出來ルト云フノデ即チ保護金ト云フモノヲ協賛ヲ求メヌ、即チ衆議院モ通過シ又豫算委員會ニ於キマシテモ通過シテ居ル譯デアリマス、ソコデ此法案ハ詰リ今申ス砂糖保護ノ主意ト抵觸シテ來ル、一方デハ砂糖ヲ保護シテ内地デ十分ニ原料ヲ拵ヘヤウト云フ主意、一方デハ原料ヲ他ヨリ取入レテ、サウシテヤルト云フノ主意デアリマス、ソレデ成ル程委員長モ述ベラレタ通力ノ及バヌ所ハ已ムヲ得ヌ所カラシテ外國品ヲ入レルモ宜シウゴザイマスケレドモ、若シ是ガ防ガル、ト見タナラバ防限ハ國ノタメニセネバナラヌ、現ニ是ハ今申ス沖繩大島臺灣ト云フ砂糖ノ名所デ此話ヲスレバ防ゲルニ相違ナイ、サウシテ此案ヲ賛成スルノ最モ主張セラル、所ハ内地デ作ル原料ハ到底外國カラ持ッテ來ル精製ニスル原料トハ品ガ違フ、一方ハ黒イ、一方ハ黄ナモノ、品ガ違フカラ到底今ノ目的デヤツタ所ガ原料ガ出來テモ本當ノ原料デハナイモノ價ノ原料デアルカラ、ソレデハイケナイ、ト斯ウ云フノガ専ラ主張セラル、所デアアル、既ニ砂糖ハ甘イモノ、甘イモノデアツタトキニハ、蕪カラ取ル甘イモノデモ又ハ甘諸カラ取ル甘イモノデモ既ニ出來タ以上ハ之ヲ精製スルニ於テ何ノ難キコトガアラウカ、一向是ハ差支ナイ、元來ノ質ガ變ッテ居ルノデハナイ、ソレデ是ガ盛ニシテ出來マズリヤモウ外國カラ這入ッテ來ル黄ナ砂糖ニスルコトハ何デモナイ、ソレカラシテ之ヲ若シ戻稅ヲシテヤラヌト會社ガ潰レルト云フ程ニ言フ者モアリマス、併ナガラ我々聊カ經濟ノ事ニハ是マデ注意ヲシテ居リマスルガ、此戻稅ヲシテヤラヌカラト云フテ、能ク調ベテ見ルト決シテ會社ガ潰レルデモ何デモナイ、唯今マデ十分ノ利益ヲ得居タモノガ八分ニ止ルト云フ位ノコトデアアル、左程ヒドイ苦痛ヲ感ズルノデハナイ、ソレニモ拘ラズ之ヲ是非戻稅ヲシテヤラウト云フコトニナレバ一方ニ於テハ獎勵保護シテカラニ發達ヲ圖ランナラヌ、農業者ニ向ッテ保護ヲシナガラ又一方デハ其保護ヲセラル、者ノ敵タル外國品ノ輸入ヲ許シテヤルカラ即チ敵ニ糧ヲ與ヘルト云フ譯ニナル、ソレデ此戻稅ヲシテヤツタ結果ハドウカト云フト大阪ト東京トノタツタ一ツノ會社ハ非常ナ利益ヲ得ル、其反對ハドウカト云フト

大島沖繩臺灣、斯ウ云フモノ、夥シイ農民へ苦痛ヲ與ヘルト云フコトニナル、ソレデ私ハ近來是程不都合ナ案ト云フノハ認メヌ、詳シウ營業者即チ精製砂糖社カラ出シタ其表ヤ何カヲ見、サウシテ政府ノ答辯モ委員會テ聽キマシテゴザイマスガ、徹頭徹尾是ハ贊成ノ出來ナイモノデ、定テ是ハ政府ノ當局者ヨリモ辯明ガアリマセウガ、此事ニ附イテハ私ハ政府ノ申分ヲ徹頭徹尾道理アリト考ヘル、ドウゾ諸君其御含ミデ是ハ否決ニナランコトヲ希望スル、ソレデ斯ウ云フヤウナモノガ衆議院案ト爲テ時々出テ來テト云フモノハ、隨分是ハ私ハ政府ニハ居ラヌケレドモ政府ハ困ルヂヤラウト思ヒマス、此處ガ即チ貴族院ノ貴族院タル所以デ、篤ト評議ニナツテ二ツノ會社ニ非常ノ利益ヲ與ヘルカ、幾萬ノ農業者ニ苦痛ヲ與ヘルカト云フ二ツノ問題デアリマス、ドウゾ諸君御勘考ノ上、否決ニナランコトヲ希望致シマス

〔政府委員阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(阪谷芳郎君) 本案ニ附キマシテハ政府ハ絶對ニ反對ヲ表シマシテ速ニ否決ニナランコトヲ希望シマス、是ハ大變ニ輕イ案ノ如クニ或ハ御覽ニナツテ居ルハモゴザイマスガ、抑、政府ガ國家經濟ト致シマシテ今日マデ心配シテ居ルノハ何デアアルカト申シマスルト、輸入品ノ中デ砂糖、石油、鐵、此三ツノ物が非常ナル輸入ノ高ニ年々増シテ來マス、モウ一ツハ綿花モ同様ノ輸入デアリマスガ、是ハ海外へ輸出ノ販路ヲ開キマシタガタメニ一方ニ原料ヲ輸入シテモ製品トシテ又輸出シマスカラ格別心配ノモノニハゴザイマセヌ、鐵ノコトハ二十餘萬ノ金ヲ投シテ九州ニ製鐵所ヲ起シテ是ガ防禦策ヲ講シテ居リマス、石油ノコトハ越後其他ノ地方ノ石油ノ獎勵ヲ務メテ居リマスガ、此砂糖ノ獎勵ハ……二十有餘萬ニモ上ボツテ居ル、輸入ノ高デ……且ツ是ハ奢侈品デアリマス、ソコデ政府ニ於キマシテハ臺灣沖繩琉球等ニ段々ト保護ノ方法ヲ講ジマシテ輸入ヲ防グノ手段ヲ採リツ、アルコトハ丁度唯今谷子籐カラ御辯明ノ通デアリマシテ砂糖ノ輸入ヲ止メルノハ國家經濟ニ於テ實ニ必要ナルコトデ將來ニ於テ經濟家ハ最モ大切ノ問題トセネバナラヌモノデアリマス、然ルニ此法案ハ谷子籐カラモ御辯明ニナツタヤウニ輸入ヲ獎勵シヤウト云フ案デアアルノデ、事ハ小ナリト雖モ今日デ稅額カラ云ヘバ十五萬圓バカリノコトデゴザイマスルケレドモ、此内地ノ砂糖ノ發達ヲ妨ゲルト云フコトハ實ニ大ナルコトデアラウト考ヘマス、委員會ニ於キマシテモソレ等ノコトハ縷々陳辯致シマシテ、委員諸君ニ於カレマシテモ内地ノ砂糖ヲ獎勵スレバ其目的ヲ達スルコトハ出來ルト云フコトヲ認メラレマシタノデ、認メ

ラレマシタガ故ニ此案ニ期限ヲ附ケラレタノデゴザイマス、期限ヲ附ケラレマシタケレドモ此期限内ト雖モ内地ノ發達ヲ妨ゲルト云フコトハ論ヲ俟タヌコトデゴザイマス、此法律ハ右ノ如ク非常ナ關係ノアル法案デゴザイマスカラ速ニ否決ニナランコトヲ希望致シマス、ノミナラズ尙ホ此法律案ハ衆議院ノ一議員ノ提出ニナツテ居リマスル案デ、至ッテ粗漏ナモノデアラウト考ヘマス、例ヘバ此處ニゴザイマスル戻稅ノコトデゴザイマス、一體此戻稅ト云フモノハ、是マデ海外カラ輸入シタモノヲ再ビ海外へ輸出スル場合ニ戻稅ト云フモノガアリマシタガ、内地デ消費スルモノニ戻稅ト云フコトハ是マデ例ノナイコトデアリマス、ソレデ斯ウ云フモノハ此案ガ成立シテモ果シテ施行ガ出來ルヤ否ヤト云フコトハ疑ハシイノデアリマス、今ノ所デ海外カラ輸入シテ復海外へ輸出スルモノノ戻稅ニ附キマシテハ、ソレゾレ設備ガシテアリマスカラ、取締ガ附キマスケレドモ、内地デ消費スルモノニ戻稅ヲ付スルト云フコトハ誠ニ妙ナ譯デ、ヲカシナ法律デアリマシテ是マデ一向例ノナイコトデゴザイマス、ト申サウニ種々粗漏ナル點ガゴザイマス、又此金額ハ十五萬圓バカリデゴザイマスケレドモ、既ニ豫算ノ成立シタル今日ニ於テ歲入ヲ減ズト云フコトモ一ノ粗漏ナル點ト認メナケレバナラヌ點デゴザイマシテ、法律其物ニ既ニ粗漏ガアルノミナラズ國家經濟ノ方針トシテモ大ナル不都合ガアリマスル、故ニ是ハ斷然御否決ニナランコトヲ政府ハ希望致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 時刻ニナリマシタカラ休憩致シマス、今朝御委託ニナリマシタ特別委員ノ氏名ヲ御報道致シマス

〔太田書記官朗讀〕

製鐵所据置運轉資本ニ不足ヲ生スル場合ニ一時借入ヲ爲スヲ得ル法律案特別委員

- | | | |
|-----------|----------|-----------|
| 子爵堀田 正養君 | 子爵内藤 政共君 | 男爵有地 品之允君 |
| 男爵南岩倉 具威君 | 久保田 讓君 | 富田 鐵之助君 |
| 古市 公威君 | 磯邊 包義君 | 鳥越 貞敏君 |

午後零時三分休憩
午後一時八分開議

○議長(公爵近衛篤磨君) 唯今内閣ヨリ閉院式ノ通牒ガアリマシタカラ朗讀致サセマス
(小原書記官朗讀)

本月十日貴族院ニ於テ帝國議會閉會式執行被仰出候此段及通牒候也

明治三十五年三月八日

内閣總理大臣伯鸞桂太郎

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ午前ニ引續イテ會議ヲ開キマス

(高木兼寛君演壇ニ登ル)

○高木兼寛君 私ハ本案賛成ノ一人デアリマス故ニ賛成ノ主意ヲ大略申述ベ
 タイト思ヒマス、政府當事者ノ言ハレル通、又反對論者ノ言ハレル通我内地
 ニ於テ要スル砂糖ノ額四億有餘萬斤ノ物ヲ内地ニ於テ製造シ、之ヲ外國ニ仰
 ガザルニ至リマスコトハ最モ本員ノ希望スル所デアリマス、併ナガラ右ノ額
 ヲ産出スルニ至ルノハ中々前途遠イコトデアリマス、今日急ニ之ヲ望ムコト
 ハ出來ヌ次第デアリマス、先ヅ望ハソコニアリマシテ之ヲ達スルマデニハ色
 色執ルベキ方法ガ他ニナケレバナラヌト思ヒマス、故ニ私ハ今日ノ場合ニ於
 キマシテハ、本案ノ成立ガ最モ國家ニ利益アルト信ジテ疑ヒマセヌ、デ當事
 者ハ精製糖ノ原料ニ供スル輸入糖ニ對シテ免稅若クハ稅ヲ戻スヤウニスレバ
 國庫ノ收入ガ減ズル、勿論或ハ事實多クナル、同時ニ廉價ナル外國ノ砂糖ヲ
 輸入サレルノデ内地ノ砂糖ノ産業ヲ妨ゲル、又政府ガ既ニ企畫シテ居ル所ノ
 獎勵方法ニ反對スルモノニナルト言ハレル、然ルニ近年外國ヨリ多大ナル砂
 糖ヲ輸入シツ、アリマスルケレドモ、内地ノ砂糖産出額ト云フモノハ一年ニ
 製造高ガ増シテ居リマス、是ニ由リテ之ヲ觀レバ外國糖ガ參ルカラト云フテ
 内地ノ糖業ガ衰退スルト云フ事實ガ現レテ居リマセヌ、勿論年ニ依ッテ砂糖
 産出額ニモ相違ガゴザイマスケレドモ、之ヲ明治二十四年ト三十二年トヲ比
 較シテ見マスレバ非常ニ産額ハ増シテ居リマス、又製造者ノ數及砂糖製造機
 械ノ數モ殖エテ居リマス、第一ニ製造者ノコトヲ申シマスルト、明治二十七
 年ニハ四萬三千七百四十五人ノ製造者デアッタガ、明治三十年ニハ九萬五千
 六百二人ト云フ數ニ達シテ居リマス、又機械ノ數ヲ申シマスルト、即チ榨ル
 機械ハ明治二十七年ニハ一萬五千五百十三臺アッタモノガ明治三十二年ニハ
 一萬七千三百二十二ト爲ッテ居リマス、デ此一二ツヲ以テマシテモ糖業ニ影響ヲ
 及シテ糖業ガ衰退スル事實ハ現レテ居ラヌト思ヒマス、又産出シタル即チ砂
 糖ノ高デアリマス、明治二十四年ニハ千三百三十九萬四千四百十三貫目ヲ製
 造シ、三十二年ニハ千七百二十一萬八千八百六十三貫目ヲ拵ヘテ居リマス、此
 ニツヲ比較シテ見マスレバ殆ド年ニ三百萬貫餘ノ増製出額ニナッテ居リマス、
 又一方ニ於キマシテ外國糖ノ這入リマシタ所ヲ調べテ見マスルノニ明治二十

六年ニハ二億千四百八十五萬五千四百八十四斤ナリシモノガ明治三十三年ニ
 ハ四億四百五十七萬八千五百斤ト云フモノニ達シタノデアリマス、昨年ハ特
 別ノ事情ガアツテ増シタノデゴザイマスケレドモ、昨年ノ這入ッタモノヲ調べ
 テ見マスレバ五億千八百萬斤ニ達シテ居ルノデアアル、昨年ヲ除キマシテモ本
 邦ニ輸入スル砂糖ノ額ト云フモノハ年々増加シツ、アルト申スノ外ゴザイマ
 セヌ、ツレ故ニ内地ノ需要ハ年々増加シツ、アルト云ハナケレバナリマ
 セヌ、ドノ位ノ程度マデ増シツ、アルト申シマス凡ソ一千萬斤宛消費高ガ
 増シツ、アルヤウニ見エマス、デ今日ノ場合ニ於キマシテモ内地産額ノ用途
 ハ既ニ開ケテ居ルモノデアリマス、内地産額ヲ以テ之ニ應ズルコトガ出來ル
 カト申セバ應ズルコトガ出來ヌデアリマス、即チ不足ガアリマス、其不足
 ヲ三十年ヨリ三十三年ニ至ル四箇年平均ト致シマシテモ八千五百有餘萬斤宛
 内地ノ砂糖ガ足りナイタメニ内地ノ砂糖ノ販路ノ場所ニ是ハ向ケテ輸入シテ
 アリマス、斯ノ如キ次第デアリマスカラ内地ノ砂糖ハ今ヨリ一倍ノ産額ニナ
 リマシテモ、其用途ニ窮スルヤウナコトハナイノデアリマス、殊ニ先キニ委
 員長ノ報告ノアリマシタ通デアリマシテ、内地砂糖ノ行キ場所ニ要スル所ノ
 外糖ハ今日ニ於ケルガ如ク矢張稅ヲ課スルト云フコトニナッテ居ルノデアリ
 マス、デ此法案ハ少モ影響スルト云フコトハナイノデアリマス、然ルニ内地
 ニ於キマシテ年々消費スル砂糖ノ半額以上ハ白砂糖デアリマス、是モ先程報
 告アリマシタル通デ、簡短ニ申セバ即チ一億九千四百九十萬斤ノ砂糖ヲ輸入
 シテ居ル、又内地ノ白砂糖ハ七千五百六十六萬斤合計二億六千五百五十一萬斤ヲ
 消シマス、是レ亦白砂糖ハ右ノ通デアリマスカラ、即チ半額以上ヲ占メテ居
 ル、ソコデ今此内カラ外國品ヲ除キマシタ所ガ即チ一億九千四百九十五萬斤
 ノ砂糖ハ白砂糖デアリマセヌ、黒砂糖デアリマス、ツレ故ニ此白砂糖ノ需要
 ニ應ズルニハ矢張白砂糖デナケレバナリマセヌ、右ノ次第デアリマスカラ、
 内地ニ於キマシテ砂糖ヲ澤山拵ヘルト云フコトニナリマスレバ原料ト同時ニ
 精製糖業モ亦同時ニ起ラナケレバ到底一億九千四百九十五萬斤餘ノ需要ニ應
 ズルコトハ出來ナイノデアリマス、然ル處當局者ニ於キマシテハ僅ニ其甘蔗
 ノ栽培即チ甘蔗ノ種ヲ改良シテ多ク砂糖ヲ含ムヤウナモノヲ植エ、又是ガ肥
 料ヲ研究シタリマデ甘蔗ヲ榨リマスルニ用井ル所ノ石デ拵ヘタ、ろー即
 チ壓榨器ヲ鐵製ニ改メルト云フ方針ヲ以テマシテ砂糖ノ産額ヲ獎勵シツ、ア
 ルノデアリマスケレドモ、之ニ依ッテ出來ル所ノ砂糖ハ何デアアルカト申セバ
 矢張從前ノ通ノ砂糖ガ出來ルノデアアル、又原料ガ澤山出來マスレバ精製糖ノ

糖業ノ如キハ自ラ發達スルダラウト言ハレルノデアリマス、ソレデアリマス
ルカラシテ、今日ノ所謂日進月歩ノ世運ニ際シテ新式ノ製糖法ヲ以テ如何ニ
スベキカト云フコトニ附イテハ未ダ確タル政府ノ意見ト云フモノハナイヤウ
ニ存ジマス、然ルトキニハ從來ノ如キ砂糖ガ澤山出來マセウト思ヒマス、
昔ノヤウナ砂糖ガ出來ル、其砂糖ガ澤山出來タ處デドウスル積デアリマスカ、
甚ダ疑問デアアル、ドウ云フ譯カト言ヘバ即チ從來ノ式ニ依ッテ拵ヘタル所ノ
砂糖ヲ以テ砂糖ヲ製造スルコトニ附キマシテハ頗ル故障ガアリマス、其譯ハ
第一ニ御承知ノ通白砂糖ヲ拵ヘルニハ骨炭ヲ以テ砂糖ヲ晒サヌケレバナラ
ヌ、所ガヨリ多クノ燃料ヲ要スル故ニヨリ多量ノ骨炭ヲ用ヒナケレバナラヌ、
第二ニハ比較的多クノ時間仕事ヲシナケレバナラヌ故ニ燃料ガ又餘計イリマ
ス、第三ニハ時ガ長ク掛ルト仕事ノ同ジコトヲ反復シナケレバナラヌト云フ
所カラシテ手間ガ餘計ニ掛ル譯ニナリマス、ソレ故ニ今日ニ於ケルガ如ク瓜
哇島ヨリ砂糖ヲ輸入シテ白糖ヲ製造スル費用ニ比較シテ見マシレバ、彼ノ原
料ニテ一圓ヲ要スルモノハ、我内國産ヲ以テ製造スルトキハ一圓五十錢ノ費
用ヲ要スルコトニナル、ソレダケ金ヲ餘計ニ掛ケナケレバナラヌ、又糖量ニ
非常ナ影響ヲ及シマス、ソレハ如何ナル影響カト申セバ、即チ輸入原料ヲ以
テ原料ニシマスレバ一日ニ百噸ノ砂糖ヲ製造スルコトガ出來ルノニ内地ニ於
ケル砂糖ノ原料ト致シ白糖ヲ拵ヘルト云フコトニ致シマスレバ一日五十噸以
上ヲ拵ヘルコトハ出來ヌ譯ニナル、即チ半額少々餘グラ非シカ拵ヘルコトガ
出來ヌト云フコトニナルノデアリマス、ソレデ右ノ結果ハドウシテ起ルカト
申セバ中ニ含シテ居ル所ノ砂糖ノ成分ニ依ルノデアリマス、是ハ細ニ述ベマ
スレバ面倒デアリマス、併シ一通リ申述ベヤウト思ヒマス、即チ瓜哇カ
ラ輸入スル所ノ砂糖ヲ第一ニ申シテ見マシレバ是ハ百斤ノ中ニ九十六斤こん
まノ五七ト云フノガ即チ砂糖デアリマス、ソレカラ不結晶糖分即チ糖蜜ト稱
ヘテ居ルモノガ一斤トこんまノ五、可溶性灰分ト云フモノガ零こんまノ二、
水分及雜物ガ一こんまノ三デアリマス、之ヲ合計スルト百デゴザイマス、所
デ通例分リマセヌ所ハ砂糖ヲ製造スルニ臨ミマシテハ此原料ノ中ニ蜜ガ十
五アルトキニハ實際砂糖ヲ拵ヘルトキニ十分ノ糖ヲ失フト云フコトガ原則ト
爲ッテ居リマス、ソレ故ニ百斤ノ中一斤こんまノ五、即チ一斤半不結晶糖
分ガアルトキニハ尙ホ九十六こんまノ五七ト云フ中ニ一こんまノ五ヲ失フ
ト云フコトニナルデアリマス、次ニ在ルモノハ此可溶性灰分、灰分ガアル、
此灰分ハ一ニ對シテ五分ノ砂糖ヲ失フト云フコトニナルデアリマス、デ此

灰分ト不結晶糖分ニ依ッテ失フ所ノ砂糖ヲ勘定致シマスルト、失フ處ノ高ガ
始テ分ッテ參リマス、ソレヲ差引キマスルト瓜哇糖デアリマスルト百斤ノモ
ノデ九十一斤こんまノ九二ト云フモノヲ製造スルコトガ出來ル、然ルニ臺灣
糖ハ先日政府委員モ説カレマシタガ、即チ七十一以上ぶろせんトノ糖分ヲ含
ンデ居ルト言ハレマシタ、成ル程分析上ニ依ルト其通含シテ居リマス、併ナ
ガラ瓜哇糖ニ附イテ申上ゲタ通糖分ガアリマシテモ、又其中ニ不結晶糖分ヲ
含ンデ居ル、即チ百斤ノ中九斤こんまノ三三五ト云フモノヲ含ンデ居ル、可
溶性灰分モ二斤餘アリマス、ソレデ不結晶糖分ト可溶性灰分ノタメニ失フ高
ガ甚ダ多ウゴザイマスカラシテ百斤中ニハ七十五斤餘アリマスルケレドモ、
實際製造ノ上、得ル所ノ糖量即チ所得糖ト云フモノハ五十五斤シカ取レナイ
ノデアリマス、デ之ヲ一般ノ所デア見マスルト百分ノ七十五アレバ百分ノ七十
五ハ悉ク砂糖ニナルヤウニ察シマスルケレドモ、決シテサウデナイ、實際製
造上ニ於テハ右申上ゲル通位シカ取レナイノデアリマス、ソレカラ大島糖ハ
ドウデアアルカト申セバ、大島糖ハ所得糖ガ百分ノ四十四シカゴザイマセヌ、
然ルニ砂糖ノ中ヲ分析シテ見タトキニハ七十三アル、七十三アル砂糖ガ精製
シテ白糖ト爲ルトキニハ四十四シカナイト云フコトニナル、又小笠原島デ
出來ル下等ノ砂糖ヲ見ルト色モ白イカラ砂糖分ガ大變多ウカリサウデアリ
マスガ、製造シテ見ルト百斤ノ中四十一斤シカ取レヌ、斯ノ如キコトニ陥ル
ノデアリマス、ソレ故ニ内地ニ於キマシテ精製糖業ヲスルト云フコトニナリ
マスレバ、費用ガ澤山掛ッテ高ク附キマスカラ、内地ノ産ヲ用ウルコトハ精
製糖業者ハ出來ナクナル、ソレ故ニ矢張今日同様輸入品ヲ仰グノ外仕方ガ
ナイト云フコトニ陥ルノデアリマス、ソレ故ニ今日甘蔗ノ栽培ヲ獎勵スルナ
ラバ同時ニ此製造業ノ發達モ圖ラナケレバナラヌノデス、獨リ砂糖糖黍ガ澤山
出來タカラト云ウテ、ソレデ白糖ノ代リニナル物ヲ直キニ拵ヘルト云フコト
ハ決シテ出來マセヌ、又今茲ニ内地ノ砂糖製造法及各國ニ於ケル新式砂糖製
造法ヲ簡短ニ述ベマスルハ必要ナ事柄ト思ヒマス、第一我國デ砂糖ヲ製造ス
ルノニハ先ズ甘蔗ヲ栽培致シマシテ多ク是カラ取ル、此場合ニ於テハ臺灣デ
ハ多ク水牛ノ力ヲ借リテ、ソレデ一種ノ壓榨機ヲ曳カセテ、ゴロ〜同シテ
ソレデ砂糖ヲ榨ル、斯ウ云フ譯ニナッテ居リマス、サウシテ其出來タ砂糖ノ
汁ヲドウスルカト云ヘバ平タイ釜ハ入レテソレデ直カニ下カラ火ヲ焚イテ之
ヲ温メル、是ガ温マッタ所デ石灰ヲ入レテ中ヲ撻回ス、サウ云フコトニ致シ
マスルト砂糖ノ汁ト汚物ト別々ニ離レテ來ル、ソコデ多クハ沈澱致ス、其上

澄ヲ取テ第二ノ平タイ釜へ入レル、ソコデ又煎シテ第三ノ釜ニ至ツタ所デ、スツカリ煎シ詰メルコトニナルノデアリマス、是ガ即チ内外ノ大イニ違フ所デアリマス、ドウ違フカト云フト直火ヲ以テ高度ニ温メテ之ヲ大氣ニ晒スノガ、内地ノ砂糖デゴザイマスガ、其間ニハ多ク糖分ガ轉化シテ不結晶糖ニナル、即チ蜜ガ多クナッテ來ル、サウシテ中ニ入ッテ居ル蜜ヲ其儘糖分ト共ニ樽ニ入レテ長ク保存致シマス、致シマスル糖中ニ在ル所ノ蜜ハ漸次他ノ糖分ヲ同化スル作用ガアリマス、ソレ故ニ初ニ當ッテ百斤ノ中ニ於テ十斤アル蜜ハ一年保存スルトキハ其物ガ十二斤十三斤ト云フヤウニ糖蜜ノ量ガ殖エテ行ク、是ガ即チ内地製糖業ノ大略デアリマス、何故ニ内地糖ニハ眞ノ所得糖分ガ少イカト云フコトハ其處カラ分ッテ來ル譯デアリマス、政府ハ臺灣ニ糖務局ヲ設ケテヤルト云フコトヲ聞キマス、内地ノ甘蔗ノ種子ヲ改良シ肥料ヲ良クシテ砂糖ノ產出額ヲ多クスルト云フコトデアリマス、次ハドウカト云フト、今マデアリマシタ所ノ石臼ハ榨リ方ガ不十分デアルカラ糖液ガ甘蔗ニ殘ル之ヲ十分ニ取ルニハ鐵製ノ壓榨機ガ必要デアルカラ之ニ改ムル、其後トハドウナルカト云ヘバ即チ從前ノ如キ平タイ釜へ入レテ沸騰點以上ニ之ヲ温メテ空氣ニ晒シナガラ製造スルト云フ方法デアリマス、斯ノ如ク出來タ所ノ砂糖ハ私ガ前ニ述ベタ通デ、第一ニ骨炭モ澤山掛レバ燃料モ非常ニ餘計イル、製造法ノ材料ニ外ナラヌノデアリマス、ソレカラ臺灣ノ今日製糖會社ガヤッテ居ル方法ハドウデアアルカト云ヘバ、之トハ全ク違ヒマス、臺灣製糖會社ガ今日ヤッテ居ル所ハ第一ニ鐵製ノ壓榨機ヲ運轉スルニハ蒸氣力ヲ用ウル、斯ノ如クシテ得タル温汁ヲ清淨器ニ入レテ、矢張内地ノ方ト略同シ事デアリマスカ、是ニハ直火ヲ用ヒヌ、蒸氣管ヲ中ニ通シテ置キマシテ、其蒸氣ノタメニ糖液ガ温マル、其處ヘ灰ト石灰ト其他ノ化學藥ヲ入レテ搔回シテ、サウシテ得タル所ノモノヲ壓榨機ニ入レテ、是デ始テ糖液ト汚物トヲ別ケルノデアリマス、斯ノ如クシタルモノヲドウ云フコトニスルカト云フト、是ハ眞空ノ所ヘ入レテ蒸發サセル、即チ三重ノ功用罐ト申シマシテ此大キナ罐ヲ拵ヘ、中ヘ空氣ヲ引イテ置イテ其中ニ汁液ヲ入レテ總テ蒸氣汽罐ノ管ガ通ッテ居ルノデアリマス、其管ノタメニ温マッテサウシテ中ガ眞空デアリマスカ比較的低度ニ沸騰シテモ水分ガ蒸發スルノデアリマス、斯ノ如ク三ツノ管ヲ引キマシテ、ソレカラ濃厚ノ液ガ出來マシテ、其液ヲ此結晶罐ニ入レテ又蒸氣デヤルノデアリマス、決シテ直火ヲ用ヒヌ、ソレ故ニ眞空デアリマスカ蒸發ヲシテ宜シイノデアアル、カラシテ三重功用罐ノ中ニ於キマシテモ一番最初ノ釜

ガ華氏ノ百三十度グラヲ井、ソレカラ第二ノ釜ガ百度、第三ノ釜ハ九十度グラ井、之ニ反シテ日本ノ釜ハ丁度二百二十度グラ井ノ溫度ヲ用ヒテ製造シテ居ルノデアリマス、ソレカラ結晶罐ニ入レテ百二十度、百五十度グラ井ニシテ結晶シタモノヲ糖蜜ト分ケテ拵ヘルノデアリマス、ソコデ糖蜜ト糖分ト別々ニシテ置キマスカラ今日瓜哇島カラ輸入スル所ノ砂糖原料ハ幾ラ永ク保存シテ置イテモ損ズルコトハナイ、日本ノ原料ハ貯蓄スレバスルダケ段々ニイケナクナルコトデアリマス、右様ナ次第デアリマスカラシテ從來ノ内地ノ製糖法ヲ以テ萬國ノ今日ノ糖業ト頡頏シヤウト云フコトハ無論出來又話デアアル、ソレ故ニ之ニ當ルダケノ設備ヲ致サウト云フコトニ附イテハ前ニ委員長ノ報告ノアリマシタ通多クノ資本ヲ要スル譯デナカク、容易ナコトデハゴザイマセヌ、逆モ望ムコトハ出來ナイ、況ヤ砂糖ノ需要ト云フモノハ年々増シテ居ル、即チ前ニ申シタ通殆ト年々一千萬斤グラ井宛需要ガ殖エテ參ル譯デアリマス、故ニ内地ノ需要ニ十分ニシテ且適當ナ砂糖類及其消費額ヲ製造シ得ルニ至ル日ハマダ多年ノ後デナケレバ出來ヌト思ヒマス、其間輸入ヲ要スル白糖ハドウカト申セバ前ニモ委員長ノ述ベラレタル通デアリマシテ一千萬圓デ一億萬斤輸入スルカ六百萬圓デ赤糖ヲ輸入シテ、コチラデ四百萬圓デ工ヲ加ヘルカト云フ問題ニナルノデアリマス、本員ノ信ズル所ハ一億萬斤ヲ即チ六百萬圓デ輸入シテ加工シ白糖ト爲シテ内地ノ需要ニ應ズル方ガ今ノ場合策ノ得タルモノデアラウト信ズルノデアリマス、現今ノ狀態デゴザイマシテモ、毎年輸入ノ白糖、赤砂糖、粗惡ノ物デモ四百萬圓内外デアリマス、是ガ出來ナイコトハ決シテナカラウト思ヒマス、之ニ對スル政府ノ戻ス高ハ幾ラカト申セバ、僅ニ十五萬圓内外ノモノデアアル、而シテ此金ヲ返シタ所デ外國ヘ走ルモノデナイ、内地ニ在ルモノデアアル、又政府ノ獎勵ニ依リマシテハ、年々砂糖ノ原料ガ殖エテ來ル、又政府ヨリモ製造業ヲ改良シテ段々進ムト云フコトニナリマスレバ白糖製造業ノ原料ニナルモノハ何レ出來テ來ルデアラウト思ヒマスガ、此原料ガ出來マシテモ之ヲ使フ場所ガナケレバ内地デ砂糖ヲ精製スルコトハ出來ヌ譯デアアル、ソレガ何レノ日ニ出來ルカト云フコトハ別ニ經畫ガアル譯デアリマセヌ、今日アル所ノ製糖業ヲ益々發達セシメ置クコトハ大ニ政府ノ方針ヲ……目的ヲ達スル一助ト爲ルコト、自ら信ジテ疑ヒマセヌ、今一ツニ申述ベタイコトハ是ハ新聞紙上ノ事デゴザイマスカ確カナコトハ申サレマセヌ、併シる……電報デ參リマシタ歐羅巴ノ砂糖會議ノ結果デアリマス、此條約ニ依ッテ見マスト歐羅巴ニ於ケル各國政府ハ明年

九月一日ヨリ獎勵ヲ廢止スルト云フコトガ調印サレタト新聞ニ見エテ居ル、果シテソレガ事實デアルト云フコトニナリマスレバ、來年ニ於キマシテハ見越輸出ヲ歐羅巴ニ於ケル糖業者ガ企テルニ違ヒナイ、又本邦ニ於キマシテモ見越輸入ヲスル者ガ起テ來ル結果ニナラウト思ヒマス、即チ三十四年度ヲ三十六年度ニ於テ再ビ繰返スヤウナコトガ起ルダラウト思ヒマス、今日ニ於テ即チ昨年ノ見越輸入ノタメニ打撃ヲ喰ッテ居ル所ヲ又二十六年度ニナリマシテ同一ノ打撃ヲ受ケルト云フコトガ目前ニ見エテ居ルヤウナ今日デアリマスカラ先ヅ今日ニ於テ此法案ヲ實行シテ來年度ノ見越輸入ヲ少シナリトモ防グ方法ヲ講ズルノハ又必要ナ事柄ト思ヒマス、免ニ角前ニ申上ゲタ通今日ノ砂糖ヲ内地ノ砂糖ニ替ラシムルト云フコトハドウシテモ出來マセヌ、故ニ幾年經ッテモ今日ノ有様デハ外國カラ來ル白砂糖ヲ以テ應ジナケレバナラヌ、其白砂糖ヲ粗糖ヲ以テ我國ニ買求メ之ヲ精製シテ白糖ニ替ルノハ適當ナ策デアラウト云フコトヲ信シテ居リマスカラ、本案ニ贊成シテ次第デアリマス、ドウカ滿場ノ諸君御贊成アラシムコトヲ希望致シマス

○辻新次君 チョット意見ヲ述ベテ宜シウゴザイマスカ
○議長(公衛近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

(辻新次君演壇ニ登ル)

○辻新次君 諸君、私ハ此法案ニ附キマシテハ少數者意見ヲ提出シテ置キマシタ一人デアリマシテ、此案ニハ反對ヲ致ス一人デアリマス、先ヅ其前ニ唯今高木君カラ御述ニナリマシタコトニ附キマシテ簡短ニ私ノ意見ヲ述ベテ其說ノ違ッテ居ルト云フコトヲ一言辯ジテ置キタイト存ジマス、此法案ノ贊成者ト雖モ輸出税ヲ戻ス以上ハ内地ノ糖業ニ影響ヲ及スト云フコトハ見テ居ラレルヤウニ聞キマス、所デ高木君ノ述ベラレタノハ其海關稅ヲ戻セバ内地ノ砂糖ニモ影響ハ及ブガ此白砂糖ニスル所ノ原料ハ内地ノ赤砂糖デハ其原料ニナラヌカラシテ影響ガ及バヌト云フコトデアリマスガ、ソレハ大ニ違ッテ居ルコトデ、今日ノ内地産ノ赤砂糖ハ此精製白砂糖ノ原料ニナッテ居リマセヌ、ソレハ今日ノ所デハ輸入ノ赤砂糖ト、ソレニ對シテ丁度内地ノ赤砂糖ハ其赤砂糖ノ製法デ丁度値段ヲ保チ一般ノ需要ニ應ズルコトニナッテ居リマスカラシテ、此原料ト云フモノニ造ッテ居リマセヌノデス、此赤砂糖ガ原料ニナラヌノデハナイ、其原料ニ造ッテ居ラヌノデス、此内地ノ赤砂糖ト雖モ即チ砂糖ニ相違アリマセヌ、故ニ製法ニ改良ヲ加ヘサヘスレバ即チ今日ノ精製白砂糖ノ原料ニナリマスノデアリマス、ソレハ日本ノ赤砂糖ガ……大島其他デ出

來ル赤砂糖ガ製法ヲ變ヘレバ其原料ニナルト云フコトニナリマシタラバ、唯今ノ論ハソレデ少モ論旨ハ立タヌコトニナルデアラウト思ヒマス、是ハ獨リ此内地ノ赤砂糖ガ其原料ニナルト云フコトハ私一己ノ考デアアリマセヌ、此法案ハ商工業、延テ農業ニモ影響ノアル案ト考ヘマシタカラシテ、委員會ニ於テハ隨分十分ニ審議ヲ盡シマシタ譯デ、大藏省農商務省ノ大臣政府委員並ニ技師等マデモ出席ヲ請ヒマシテ、我々ガ聞イテ居ッタ所ヲ尙ホ確メマシタ所ガ、必ズ此原料ニナルモノデアルト、ソレデ是ヨリ益、内地ノ糖業ヲ進メテ行ッテ今日ヨリ分量ガ殖エテ參レバ其殖エル分量ハ追々此原料ニナルモノニナラウト斯ウ云フコトデアリマシタカラシテ一層我々ノ考ヲ確メマシタ次第デアリマス、ソレデ右申上ゲル如ク今ノ赤砂糖ハ丁度赤砂糖ダケ價ヲ保ッテ居リマスルガ、之ヲモウ一層獎勵ヲシテ此上殖エテ行クト云フコトニナリマスレバ今申ス所ノ原料ニナリマスレバ忽チ其影響ガ及ンデ遂ニハ其原料ト云フモノニナルマデノ時期ニ運バンデ終リマセウト思ヒマス、是ハ實ニ内地ノ糖業ニ取ッテハ容易ナラヌコト、思ヒマスカラシテ其邊ハ十分此考慮ヲ煩ハシタイ所デアリマス、サウシテ又此法案ノ贊成者ノ中ニ修正ヲ加ヘテ、贊成論者ト雖モ内地ノ糖業ニ影響ノ及ブト云フコトハ隨分慮慮サレタコト、見エマスカラシテ、九箇年バカリニナリマスカ、之ヲ入レテサウシテ愈、内地ノ赤砂糖ガ原料ニナルニ至ッタナラバ其時ハ此法案ノ效力ヲ失フコトニシテモ宜カラウト云フコトデアリマスガ、是又糖業ニ大ナル害ノ及ブコトデアラウト思ヒマス、其間殆ト十年ノ間、此内地ノ砂糖耕作者ガ利益ヲ見ヌコトデアリマシタナラバ、ドウシテ此業ガ續キマセウカ、此業ガ進歩致シマセウカ、此赤砂糖ガ増加致シマセウカ、却テ茲十年間コソ大切ナコトデアッテ、十年間ニ畜ニ此精製糖業者ノミヲ保護スルト云フコトニナリマシタナラバ一方ノ砂糖耕作者ハ忽チ地ヲ掃フト云フコトニナリマセウト思ヒマスカラシテ此邊モ餘程考ヘナケレバナラヌコトデアラウト思ヒマス、ソレデ此法案ニ附キマシテハ、此法案ノ利益ノアルコトハ私共モ澤山承リマシタ、又ソレニ對スル反對ノ考モ十分ニ持ッテ居リマスガ、モウ段々御論モ出テ居ルコト、思ヒマスカラシテ、最早其細カイトハ辯ジマセヌ、唯此一方ノ砂糖耕作者ニ至リマシテハツイ農業ノコトニ關係シテ居ル者デアリマスカラシテ之ヲ詳ニ述ベル其運動ノ手ダテ等モナイタメニ其方ガ十分ニ諸君ニモドレ程ノ影響ガ及ブカト云フコトハ或ハ詳ニナッテ居ラヌカト思ヒマスガ、一方ニハ訴フル者ガアッテ

能ク分り、一方ニハ訴フル所ノ途ヲ得ヌタメニ其コトガ詳ニナツテ居ラヌカト云フ感シモ持ツテ居リマスカラシテ、此邊ハ却テ私ガ辯シマスルヨリハ此砂糖耕作者等ノ有様ハ政府委員等ガ辯シマシタ方ガ却テ明デアラウト思ヒマスカラシテ、ソレハ私ハ別ニ申シマセヌガ、尙ホ唯今申上ゲタコトデ、ソレナラバ日本ノ此赤砂糖ノコトガドウ云フコトニナツテ居ルカト申シマスレバ段々獎勵ヲシテ尙ホ之ヲ今十分ニ獎勵ヲシテ行ク所ノ方法ヲ盡シテ居ルト云フコトデアリマシタ、サウ云フコトデアリマスレバ又ツレガドノ位ノコトニ及ブカト云フコトヲ見テモ宜シカラウト思ヒマスノデス、然ルニソレナラバ今日ノ此精製糖ノ方ニ其時期ヲ待ツコトガ出來ヌ程ノコトデアアルカト申シマス、是ハ私共ノ聞ク所ニ據レバ決シテサウデハナイヤウデアリマス、唯今此精製糖ノコトヲシテ居リマスルノハ、東京ト大阪ノ此二箇所ニ精製糖會社ガアリマシテ、殆ド此二社デ白砂糖ヲ製シテ居ルト云フ有様デ、決シテ其今日十五萬五千圓有餘ノ補助ガナケレバ其業ガ繼ゲヌカト申シマス決シテサウ云フ有様デハナイヤウデアリマス、所デ一方ニハ若シモ此十五萬圓僅ノ金デアリマスガ、十五萬五千圓ノ一方ニ保護ガアリマシタ以上ハ即チ此赤砂糖、輸入スル所ノ赤砂糖ト云フモノハ必ズ澤山ニ這入ツテ來ルト云フコトハ誠ニ明ナコトデアリマスカラシテ、ソレハ隨分大ナル關係ニナラウト考ヘルノデアリマス、ソレデ是ハ考ヘナケリヤナリマセヌコトハ、若シ此贊成者ノ言フ如ク白砂糖ノ輸入ガ減ルト云フヤウナコトニナレバ、ソレハ誠ニ幸ナコトデアリマスガ、サウ云フ場合デナク現在ノ矢張東京大阪ノ二會社ガ精製スル所ノ砂糖ダケノ分量デアツテ、サウシテ其十五萬五千圓ハ其會社ガ利便ヲ得ルコトニシテ、ソレニ反シテ内地ノ赤砂糖ノ耕作ニ影響ガ及ブト云フヤウナコトニ至リマシテハ實ニ取戻ノ出來ヌコト、考ヘマスカラシテ、我々ハ其邊ヲ十分ニ考ヘネバナリマセヌコト、思フノデゴザイマス、尙ホ申上ゲタイコトモアリマスガ、モウ大分此砂糖ノコトニ附イテハ諸君モ御分リニナツテ居ルコト、思ヒマスカラシテ、サウ云フコトデ止シマセウト思ヒマス

(此間發言ヲ取消サレタルニ因リ速記ヲ除ク)

右様ナ唯今申述ベタヤウナ次第デ、實ニ此内地耕作業ニ影響ノ及ブコトハ頗ル大ナルモノデアリマスカラシテ、ドウゾ我々ノ此提案案ニ御贊成アラントト切ニ希望致シマス

○子爵本莊壽巨君 最早大抵此法案ニ附イテハ贊成反對ノ御演說モアリマシタカラ大抵盡キテ居ルダラウト思ヒマスカラ、二讀會ノ採決前ニチヨット一

言ヲ豫告シテ置キタウゴザイマスガ、私ハ此法案ノ大體ニ附キマシテハ委員會ノ修正ニ贊成デアリマスガ、此委員會ノ修正ノ第四條ニ「本法ハ明治四十四年三月三十一日迄其效力ヲ有ス」トゴザイマスノヲ、先ヅ差向ノ所、年限ヲ尙ホ短縮シマシテ第四條ヲ「本法ハ明治四十年……」

○議長(公爵近衛篤磨君) 本莊子爵ニチヨット御注意致シマス、二讀會ニ移ツタ場合ニ……

○子爵本莊壽巨君 豫告ヲシテ置キマスノデス、修正案……

○議長(公爵近衛篤磨君) 其豫告ハ一讀會ノ場合ニハ不都合ト思ヒマス

○子爵本莊壽巨君 サウデスカ

(政府委員若槻禮次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(若槻禮次郎君) 本案ニ對シマスル政府ノ意見ハ午前中ニ於テ既ニ政府委員カラ申上ゲテ置キマシタカラ、私ハ簡短ニ申上ゲルコトニ致シマスガ、今日外國カラ輸入シテ居リマス砂糖ガ凡ソ平年ニ於テ四億萬斤アルト申上ゲテ宜カラウト思ヒマス、尙ホ内地デ拵ヘマスモノガ一億五千萬斤アルト云フコトハ大抵中ラズト雖モ遠カラズデアラウト思ヒマス、ソレ故ニ日本デ今消費シテ居リマス砂糖ハ五億五千萬斤バカリアル勘定ニナルデアリマス、然ル處デ唯今内地デ製造致シマスノハ一億五千萬斤ト申上ゲル如ク、總體ノ消費高ニ對シテハ僅デハゴザイマスガ、農商務當局者杯ノ見込ミマス所ニ依ルト鹿兒島ノ大島ニ於テハ將來一億萬斤ノ砂糖ヲ產出スルコトハ十分見込ガアル、沖繩縣ニ於テハ一億七千萬斤產出スル見込デアル、臺灣ハドウシテモ三億萬斤產出スル見込ガ立ツテ居ル、斯ウ云フコトデアリマスカラ將來此内地ニ於テ出來マス砂糖ハ唯今申上ゲマシタ所ヲ合セマスト五億七千萬斤位ノモノガ出來ルト云フコトニナツテ、是ハ農商務ノ當局者杯ハ十分見込ガ立ツテ居リマシテ、之ヲ此目的ヲ達スルタメニ唯今補助費ヲ與ヘマレタリ、種々ノ方法ヲ講ジテ居ル次第デアリマス、左様致シマスト五億七千萬斤ノ產額ガ出來マスレバ、今日消費シテ居ル所ノ日本ノ砂糖ニハ十分供給ガ足りテ居ル勘定ニナリマス、勿論唯今申上ゲタノハ粗製糖ニ附イテ申上ゲタノデアリマスガ、粗製糖ハ今日ドウナツテ居ルカト云フト外國カラ這入ツテ來マス粗製糖ガ凡ソ二億萬斤ゴザイマス、内地デ作りマス分ハ大抵ハ粗製糖デゴザイマスガ、合セテ三億五千萬斤アルト申シテ宜シイ、然ルニ此粗製糖ノ中ニハ先ヅ粗製ノ原料ニナル物モアリマスケレドモ、假ニ總テ消費ニ供セラル、モノト見マシテモ粗製糖ノ消費ハ三億五千萬斤モアレバ内地デハ足りルト思ヒマ

見マシテモ粗製糖ノ消費ハ三億五千萬斤モアレバ内地デハ足りルト思ヒマ

見マシテモ粗製糖ノ消費ハ三億五千萬斤モアレバ内地デハ足りルト思ヒマ

ス、殊ニ是カラ先キ砂糖ノ消費ノ有様ヲ見マスト追々精製糖ヲ使フ方ヘ傾
イテ來マスカラ粗製糖ノ消費ガ是ヨリ大變増スト云フコトハアルマイト思ヒ
マス、左様イタスト五億七千萬斤カラ内地デ出來マシタトキニ於テ其中三億
五千萬斤ト云フモノガ粗製ノ儘デ使ハル、トシテモ尙ホ其餘ノ二億幾ラト云
フモノハ何所カヘ參ラナケレバナラヌ、ソレハドウナルカト云フト、ドウシ
テモ精製糖ノ原料ニナラナケレバナリマセヌ、若シ原料ニナラヌト云フト
ナラバ折角内地デ出來ルモノヲ、ミス、不用ノモノニシナケレバナラヌト
云フコトニナリマス、行クミ、獎勵シテ五億七千萬斤ノモノヲ作レバ其中ノ
二億幾ラト云フモノハ精製糖ノ原料ニシナケレバナラヌ、又政府モ之ニ爲ス
見込ガアルト云フノ獎勵シテ居ル譯デアリマス、然ルニ先程高木サノノ御
話ニ據ルト内地デ出來マスル砂糖ハ精製糖ノ原料ニハナリ兼ネルト云フ御話
デゴザイマシテ、勿論今日作ッテ居ルノハ「テンカ」糖ガ多イトカ或ハ「カイダ
ン」ガアルト云フタメニ精製スルトシテモ外國ノ砂糖ノ如キ見込ハナイカ知
リマセヌガ、併シ今政府ガ獎勵シテ居リマスノハ即チ其所ヲ改良シテ十分精
製糖ノ原料ニナルヤウニシヤウト云フコトヲ企テ、居ルノデアリマス、ソレ
故ニ現在ノガイケナイイカラト云フテ是カラ今政府ノ經畫シテ居ルノモイケナ
イト云フ御説ハ如何ト思フノデアアル、委員會ニ於テモ内地ニ於テ十分出來
ルト云フ見込ガアル、又内地デ製造法ヲ改良スレバ十分出來ルト云フ御見込ガ
アルニ依ッテ十年バカリ先キニ寄ッタラバ出來ルデアラウト云フノデ今ノ所、
期限ヲ附ケテ戻稅ヲ付スルト云フコトニ議決サレタノデアアル、併ナガラ期限
ヲ付ケテ置イテモ今戻稅ヲ付スルト云フコトニナレバ内地ノ砂糖業ノ發達ヲ
妨ゲルニ相違ナイ、期限ガアツテモ妨害ニナルコトハ同一デアアル、況ヤ十年
先ニ良イモノニシヤウト云フナラバ今日カラ育テ、行カナケレバナラヌノニ
今日頭ヲ抑ヘテ置イテ十年先キニ其發達ヲ望ムト云フコトハ到底出來ヌコト
ト思ヒマスカラ、附則中ニ於テ期限ヲ附ケラレタニモ拘ラズ政府ハ本案ノ成
立シナイコトヲ希望致シマス

○高木兼寬君 政府委員ハ唯今日日本デ出來ル所ノ砂糖ガ一億五千萬斤出來
ト仰シヤッタガ、委員會ニ於テハ内地デ出來ルモノガ八千萬斤、臺灣デ出來ル
ノガ七千萬斤ト云フコトニ述ベラレタヤウニ承知致シテ居リマスガ果シテサ
ウデゴザイマセウカ

〔政府委員若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(若槻禮次郎君) 共通デゴザイマス

○高木兼寬君 然ルトキニハ臺灣ノ七千萬斤ハ悉ク内地デ消費サレテ居リマ
スカ

○政府委員(若槻禮次郎君) 唯今ハサウハゴザイマセヌ、其中ニ輸出セラレ
テ居ルモノモアリマス

○高木兼寬君 臺灣ノ砂糖ハ幾ラグラ井内地ヘ參リマスカ

○政府委員(若槻禮次郎君) 内地ヘ參ルノガ幾ラ、外國ヘ行クノガ幾ラト云
フ細カイ統計ハ唯今持チマセヌカラ、ソレハ調ベテ御答スルコトニ致シマス

○高木兼寬君 今五億七千萬斤アレバ足リルヤウニナルト云フコトヲ述ベラ
レマシタガ、其五億七千萬斤ハ幾年ノ後ニ出來ル御積デスカ、日本ノ人口ハ
年々五十萬餘モ増シテ居リマス、從テ需要モ一千万斤グラ井ハ殖エテ行クニ
相違ナイ、今日ノ所デ五億七千萬ノモノハ十年ノ後ニハ六億七千萬ナケレバ
ナラヌト云フコトニナリマスガ其邊ニ附イテハ如何ナル御考デアリマスカ

○政府委員(若槻禮次郎君) 是ハ農商務省ナドデハ凡ソ十年ヲ期トシテ計畫
ヲ立テ、居リマスル、ソレデ其時ニナレバ其高ニ達スル積リデアリマス、人
口ガ増加スレバ五億七千萬ニナツテモ足ラヌ所ハ尙ホ外國カラ輸入スルカ知
レマセヌガ免ニ角五億七千萬ト云フモノハ出來ル見込ハ立ッテ居ルト云フコ
トヲ申上ゲタノデアリマス

○高木兼寬君 先キニ本案ハ通過致シマシテモ施行上差支ガアルト云フコト
ヲ政府委員ハ述ベラレタ、然ルニ此工業用酒精ニ對シマシテ戻稅ト云フモノ
ガ施行サレテ居ルノデナイカト思ヒマスガ、ソレハ如何デゴザイマスカ

○政府委員(若槻禮次郎君) 午前中ニ政府委員カラ申シマシタノハ理窟ニ於
テ惡イト云フコトヲ申シタノデ、施行上ノコトニナリマスルト此處ニハ和蘭
標本第十四號以下ノモノヲ以テ造ツタル精製糖及氷砂糖云々トゴザイマスガ、
精製糖ハ和蘭標本杯ヲ造リマセヌカラ、書イテアツテモ實行ノ出來ヌモノ
デアアル、ト斯ウ云フコトニナルノデアリマス

○辻新次君 私ハ先刻申シマシタコトニ附イテ取消ヲシテ置キタイト思ヒマ
ス、チヨット御許ヲ願ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

〔辻新次君前演說中ノ一部分ヲ取消シ速記録ヨリ除カレタシト請求ス〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 承知致シマシタ

○田中芳男君 チヨット政府委員ニ質問ヲ致シマス、此戻稅ト云フコトハ他ニ
モ斯様ナ例ガアルヤウニ承リマシタガ有リマスカドウカ、ソレヲ承リタイ、

此下戻スト云フモノハ即チ其會社ヲ保護スルヤウニナルノデアリマスガ、若シ左様ナ例ガ續々開ケマスレバ又續々外國へ輸出致シマスル所ノ工業會社等デ續々此例ニ倣フテ斯ウ云フコトガ開ケルト困ルダラウカト云フ杞憂モアリマスガ、免ニ角此下戻ト云フコトガ通過スレバ御取扱ガ出來ルコトデアリマスカ或ハ斯様ナル例ガ澤山アリマスコトカワレヲ承リタイ

○政府委員(若槻禮次郎君) 輸入稅ヲ戻シテ居ルモノハ今日ハ酒精ニ附イテゴザイマス、醫藥用工業用ニ使フテ居ル酒精ニ附イテゴザイマスガ、併ナガラ酒精ハ原價ノ三倍以上ノ稅ヲ掛ケテ居ルモノデアリマスカラ、是ハ工業用採ヲツレガタメニ妨ゲテハナラヌト云フノデアリ稅ヲ附シテ居リマス、其他ニハ例ハナイヤウデアリマス、ツレカラ取扱上ノコトデゴザイマスレバ、是ハ此法案ニハ稅關デ取扱フテ宜イノデアアルカ、内地ノ稅務署デ取扱フテ宜イノデアアルカ、誰ガ取扱フカト云フコトハ規定ガゴザイマセヌガ故ニツレ等ガ施行上困難デアルト云フコトヲ政府委員カラ申上ゲタノデアリマス

○議長(公爵近衛篤磨君) モウ大抵議論モ盡キタヤウデアリマスカラ採決シテ御異議ハアリマセヌカ……本案ヲ二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 過半數ト認メマス
 ○藤田四郎君 直チニ第二讀會ヲ開ケレンコトヲ希望致シマス
 (「贊成」ト呼フ者アリ)
 ○議長(公爵近衛篤磨君) 直チニ第二讀會ヲ開クト云フ動議ガ出テ贊成ガアリマス、御異議ガナクバ其通致シマス
 (「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 本案全部ヲ問題ニ供シマス
 ○子爵京極高典君 此法案ノ附則ノ所ノ修正ニ就イテ少シ修正ヲ更ニ加ヘタイ、唯今述ベテハ少シ不都合デゴザイマセウカ
 ○議長(公爵近衛篤磨君) 修正ノ御意見デゴザイマスカ
 ○子爵京極高典君 修正ノ所ニ更ニ修正ヲ加ヘタイ
 ○議長(公爵近衛篤磨君) 修正ノ又修正デスカ
 ○子爵京極高典君 左様デゴザイマス
 ○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

○子爵京極高典君 此委員會ノ修正ニ「本法ハ明治四十四年三月三十一日迄其ノ效力ヲ有ス」ト云フノデアリマスガ、本員共ノ考デハ少シ長過ギルヤウニ思ヒマス、ト云フノハ既ニ政府委員モ懇々述ベラレタ通内地ノ糖業ノ發達スルコトハ萬疑ナキコト、考ヘマス、シテ見マスルト五年グラ井モ此戻稅ヲ爲シテ置ケバ最早五年ノ曉ニハ内地ノ工業モ盛シニナツテ内地ノ砂糖澤山出來ルヤウニナル、其時分ニ之ニ復シテ仕舞フテ戻稅ヲ止メルト云フコトハ宜カラウ、若シ其折ニ尙今日ノ姿デアレバ是ハ又其折ニ改正スルモ亦可ナリト思ヒマスカラ殆ド九年バカリノ日月ヲ延スト云フモノハ餘リ長スベキヤウト思ヒマスカラ、本員ハ五箇年ト修正ヲシタイト思ヒマス、ドウカ御贊成ヲ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 五箇年ト云フトドウナリマスカ
 ○子爵京極高典君 明治三十五年十月一日カラ五箇年ト云フコトニ
 ○議長(公爵近衛篤磨君) ツレデハ案ニハナリマセヌガ
 ○子爵京極高典君 明治四十年九月三十一日マデ……
 ○議長(公爵近衛篤磨君) 四十年ノ九月三十一日マデマスカ
 ○子爵京極高典君 日限ハ一日ヤ二日ハ違ヒマスカ知リマセヌガマア五箇年ト云フコトニ

○子爵本莊壽巨君 先刻豫告ヲ以テ修正ノ端緒ヲ開キマシタガ、議長ガ御差止デアリマシタカラ中止致シマシタガ、唯今京極子爵ノ修正ノ御意見ガ出マシタカラ私モ其修正ニ贊成デアリマスガ、少シク京極サンノ方ニ御交渉ヲシタウゴザイマスガ、差向ノ所、年限ヲ短縮シマスルト云フコトハ贊成デアリマスガ、短縮ノ年限ニ當ツテ京極サンハ明治四十年九月何日トカ云フ御論デアリマシタガ、是ハ私ノ修正ハ第四條ヲ「本法ハ明治四十年三月三十一日迄其ノ效力ヲ有ス」ト改正シタウゴザイマスカラ京極サンニ交渉ヲシマス
 ○議長(公爵近衛篤磨君) 京極子爵ニ申シマスガ、九月三十一日ト云フコトデゴザイマスガ、九月ハ三十一日ハアリマセヌガ九月三十日デハ如何デアリマス

○子爵京極高典君 粗漏ニツンナコトヲ申シマシタガ時日ニ於キマシテハ十分唯今何時幾日マデト云フコトハ……五箇年先ノコトデスカラ記憶シカネマスガ明治三十五年十月一日カラ五箇年ト云フノデ或ハ一日二日ノ違ハアリマセウガ、ツレデ御容赦ヲ……
 ○伯爵清棲家教君 私ハ本莊子爵ニ贊成致シマス、九月三十日デハ不都合カ

ト思ヒマス、年度代リデ切ルノハ歳入ノ點ニ於テ當リ前ト思ヒマスカラ四十年三月三十一日ト年度限ヲ以テ切ル、ソレニ於テモ五箇年ト云フノト四年五箇月デアリマスノトサウ違ハアリマセヌカラ、京極子爵ハ本莊子爵ノ修正ニ贊成アラシト望ミマス

○子爵京極高典君 唯今日數ノコトニ附イテ本莊子爵ヨリ本員ノ意見トハ違ウヤウニ言ハレマシタガ、無論五箇年ノ積デアリマスガ、少々日取ノ間違ヲ申シテ不都合デシタガ本莊子爵ニ同意ヲ表シマス

○高木兼寛君 本莊子爵ノ修正ニ贊成

○子爵山本實庸君 贊成

○藤田四郎君 贊成

○子爵大田原一清君 贊成

○子爵松平康民君 贊成

○荒野由次郎君 贊成

○中西光三郎君 贊成

○松永安彦君 贊成

○天春文衛君 贊成

○長谷川貞雄君 贊成

○三好退藏君 贊成

○伯爵吉井幸藏君 贊成

○鳥越貞敏君 贊成

○子爵野宮定毅君 贊成

〔其他「贊成」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 修正ノ動議ハ成立チマシタ、先ヅソレデハ先ニ第一條第二條ダケ、原案ノ通デ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 次ハ第三條、四條、……是ハ誤リマシタ、三條ニハ委員會ノ修正ガアリマス、委員會ノ修正デ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 次ハ第四條、本莊子爵ノ修正ノ動議ニ贊成ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 過半数ト認メマス

○藤田四郎君 直チニ三讀會ヲ開カレンコトヲ

〔「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナケレバ直チニ三讀會ヲ……

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ三讀會ニ移リマス、御異議ガナケレバ三讀會ハ確定シマシタ、ソレデハ日程第四ニ戻リマス、粗製樟腦、樟腦油專賣法案……

○村田保君 本員ハ先程農商務大臣竝ニ大藏大臣ノ説明ヲ要求シテ置キマシタガ、農商務大臣ナリ大藏大臣ノ御辯明ヲ願ヒタイ

〔國務大臣男爵平田東助君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵平田東助君) 先刻村田君カラ御質問ガアッタ様子デゴザイマスガ、チヨット其當時差支ガアリマシテ出マセヌデシタガ、モウ一應質問ノ要點ヲ……

○村田保君 先程本員カラ質問ヲ致シマシタノハ、何時モ斯ノ如キ製造ノコト殖産工業或ハ商業等ニ關シマシタコトハ農商務大臣竝ニ大藏大臣ノ連署ガアツテ出ル、然ルニ今回ニ限りマシテ農商務省ノ大ニ關係スルコトモアリ大藏省ニ關シテ居ルコトモアルニ拘ラズ獨リ總理大臣ト内務大臣バカリノ連署デ此案ガ出テ居リマスガ、今回ニ限りマシテハ如何ナル理由ガアリマシテ此農商務大臣ノ主管ニ屬スルモノガ農商務大臣ガ連署セズ又大藏主管タルモノデモ大藏大臣ノ連署シナイノハドウ云フ譯カト云フコトヲ御問シマシタノデス

○國務大臣(男爵平田東助君) 御答致シマスガ、如何ニモ關係ノ諸大臣ハ提出ニ際シマシテ連署ヲ致シマスルノハ慣例デハゴザイマスルガ、ザリナガラ又必シモ相一定シテ居ルノデハゴザイマセヌ、此度内務大臣ノ連署シマシテ出シマシタノハ内務ガ専ラ主管ニ當リマスノデ出シマシタ、他日之ヲ法律トシテ發布致シマスル際ニハ關係ノ大臣ハ連署スル考デゴザイマス

○村田保君 ソレデハ分ラヌ、ドウモ此之ヲ出シマス時分ニ或ハ是ニハ樟腦ヲ製造シマスル會社モ組合モ出來マセウガ、サウスレバ定款モ書カナケレバナラズ、ソレニハドウシテモ農商務ノ人ガヤラナケレバナラズ、或ル場合ニハ取消ヲ命ズルコトモシナケレバナラヌ、認可ハ農商務大臣ガシナケレバナ

ヲヌニ發布ノトキニハスルケレドモ議會ニ向ッテハシナイト云フコトデシタナレバ、其農商務大臣等ノ資格ニ屬スルコトニ附イテハ農商務大臣ハ職務ナサラヌノデアリマス

○國務大臣(男爵平田東助君) 此議會ニ提出スルニ際シマシテ別ニ之ニ署名致シマセヌカラト申シテ關係致サヌト云フ次第デハナイノデアリマス、勿論此關係ニ對シマシテハ、ソレノ質問者ニ對シテ説明ヲ致スハ勿論デアリマス、サリナガラ必ズシモ提出致シマス際ニ於テ關係大臣ガ悉ク之ニ連署致シテ居リマスルコト云フ例規ニナッテ居ルコトデモナイノデアリマス、故ニ此度最モ其重ナル主管ニ涉リマス所ノ内務大臣ガ連署致シテ提出致シマシタ次第ニナッテデアリマス

○村田保君 關係ヲスルト仰シヤルノハ矢張關係ヲセズト云フノデ、マルデ關係シナイト云フコトデナケレバ、定テ此案ハ農商務大臣モ御心得ノコト、存ジマス故ニ、此中ニ就イテ農商務大臣ニ質問致シテ宜シウゴザイマス

○國務大臣(男爵平田東助君) 其事柄ニ就キマシテハ御答致シマス

○村田保君 此製造ノ許可ヲ受ケマスルニ其許可ハ「政府ノ許可ヲ受クヘシ」トアリマスガ、例ヘハ組合ヲ設ケルトカ或ハ會社ヲ設ケルトキニ許可ト云フモノハ何處ヘ願ッテ出ルノデスカ、此樟腦ヲ製造シマストキハ……

○國務大臣(男爵平田東助君) 御答致シマス、此中ノ專賣ノ部分ニ關シマシテハ内務省ガ之ヲ主管致シマス積デゴザイマシテ、專賣ニ關シタ事柄ハ内務省ガ管轄致ス積ニナッテ居リマス

○村田保君 サウ致シマスルト農商務省ノ直轄ノモノデモ農商務大臣ノ認可ヲ受ケナイデ宜イノデスカ

○國務大臣(男爵平田東助君) 御答致シマスガ、サウ云フ譯デハゴザイマセヌ、之ニ對シマシテ尙ホ規定ヲ設ケマス際ニ於テハ兩省協議致シマシテ不都合ノナイヤウニ致スト云フノデ……

○村田保君 併ナガラ内務省デ農商務省ノ主管ノ事ヲスルナラバ無論農商務省ハ無クテモ宜イデアリマセヌカ、ソレデハ農商務省ヲ廢メテ内務省デスルガ宜イ、内務省ニハツレノ内務省ノ機關デスルコトガアリ、農商務省デハ農商務省デスルコトガアツテ、判然分ッテ居ルモノデアリマスガ、此案ニ限ッテハ農商務省ニ屬スルモノヲ内務省ガヤルナラ農商務省ハイラナイト思ヒマスガ如何デアリマス

○國務大臣(男爵平田東助君) 御答致シマス、サウ云フ譯デハアリマセヌ、

此事ハ警察上ノ取締ガ最モ必要デアルト云フ點カラシテ内務省ノ主管ガ至當デアルト致シタデアリマス、農商務省ノ範圍ニ於ケル事ニ關シテハ農商務省ハ素ヨリ其關係ガナイ譯デハナイノデアリマス

○村田保君 併ナガラ警察ノ方デハドウモ此定款ノ認可ヲスルコトハ警察デハ出來ナイト思ヒマスガ如何デゴザイマス

○國務大臣(男爵平田東助君) 定款ノ認可ヲ致スト云フコトハ勿論警察致ス譯デハアリマセヌガ、專賣ノ事ニ限ッテノ重ナル取締ハ内務省ニ於テ致スト云フコトガ適當デアルト云フコトカラ、内務省所管ニ致シタト云フコトヲ申シタデアリマス

○村田保君 内務省デスルト云フコトガ至當デアルト云フコトガ一向分ラヌデアリマセヌカ、私ハ一體此營業トカ或ハ專賣トカ云フコトハ農商務省ガスルガ至當ト思ヒマス、内務省ガスル譯デハアリマセヌ、内務省ハ地方ノ統治ノ事杯ヲスルコトハ是ハ内務省ガスルガ當然デアリマスガ、此營業者ガ製造スルトカ或ハ組合ヲ設ケルトカ云フコトハ、是ハ内務省ガスル事デハナイト思ヒマス

○國務大臣(男爵平田東助君) 是ハ物ニ依リマセウト思ヒマス、例ヘバ此專賣ノコトノ如キハ大藏省ニ屬シテ居ル、即チ煙草ノ如キハ大藏省ニ屬シテ居ルモノデアリマスカラ、ソレハ行政廳ノ便宜ヲ以テ其主管ヲ定メテ宜イコトデアツテ、此國ノコトニ附キマシテ森林ノ保護繁殖等ニ關シマシテハ固ヨリ農商務省ガアリマスノデアルケレドモ、此專賣ノ方ニ關シマシテハ專賣所ガ取締ヲ爲スト云フコトノタメニハ内務省ノ警察上ニ於ケル取締ガ便宜ト思ヒマス

○村田保君 煙草專賣トカ云フモノトハ大變違フ、煙草デハナイノデアリマス、煙草專賣ノコトハ稅ニ關スルコトデアリマスカラ宜シイガ、是ハ製造ニ係ッタコトデアリマス、製造ニ係ッタコトハ專賣トハ違ヒマス、製造デアルト其拵ヘタモノガ此處ニ在ル

○國務大臣(男爵平田東助君) 製造ヲスルコトハ其製造ノ上ニ附イテ取締モツレノ起ルノデアリマスカラ……

○村田保君 ソレデハ實ニ内務省モ大藏省モ皆一ツニシテ仕舞フテ區別スル甲斐モ何モナイ、マダ質問シタイコトハ本員ハ是ハ餘程壓制ノヒドイ法律ダト思ッテ居リマス

(子爵谷干城君「然リミ」ト呼フ)

ナゼト申シマスニ斯ノ如ク製造者ヲ非常ニ壓制シテ抑ヘ附ケルトカ、或ハ取
消ストカ、或ハ斯ウ云フモノハ樟腦ヲ納メトカ云フコトデアリマスガ、之
ニ附イテ行政訴訟ガ出來テ居ラナイ、其ヤウナヒドイ何ヲ設ケマシテモ訴願
モ出來ナケレバ、行政訴訟モ何モ許サヌ精神デアアル、ソナニ壓制ノ法律ハナ
イト思ヒマスガ如何デゴザイマセウカ、構ハナイ積デアリマセウカ

○議長(公曾近衛篤磨君) 今ノハ質問デスカ

○村田保君 サウデアリマス、コシナ法律ヲ出シテ壓制トハ思ハヌカト云フ
コトデ……ドシナ法律デモ行政官ノ處分ヲ或ハ取消スルトカ、或ル場合ニ
ハサウ云フ訴願ヲスルトカ、人民ノ權利ヲ伸ベルト云フコトガ此ニ至ッテハ
出來ナイ

○藤田四郎君 御答辯ガナケレバ明日ノ日程ニ御延シテ願ヒマス

(政府委員森田茂吉君演壇ニ登ル)

○政府委員(森田茂吉君) 唯今本法ハ非常ナル壓制ナ法律デアルト云フコト
ノ御論斷ノヤウデゴザイマスガ、別ニ答辯ヲ要シマセヌト考ヘマスガ、本案
ノ成立上ニ關係シマスカラ一應申シマスデスカ、此專賣法ノ性質トシマシテ
多少取締ト云フコトハ無論ノ話デアアルノミナラズ、是ハ臺灣ト内地ノ共通專
賣法デアリマシテ、臺灣モ即チ日本ノ財政上ニ關係ヲシテ重大ナル影響ヲ持
テ居リマス故ニ、此財源ヲ完全ニ保持シテ行クコトハ内地ノ財源上ニ多少ノ
關係ヲ持チマス、ソレ故ニ臺灣ノ專賣法ヲ取締ルト同時ニ内地ノ樟腦ニ附キ
マシテモ相當ナル取締ヲ設ケテ濫伐粗製ノ弊ヲ防ギタイノガ本案ノ主意デア
リマス、ソレカラ訴願或ハ行政訴訟ノ關係ノ御話ガアリマスガ、營業ノ免許
トカ許否トカ其他ニ附キマシテハ一般法ガ出テ居リマスカラ、茲ニ其規定ガ
アリマセヌデモ其法ニ從ッテ救済ノ道ガ立ツト政府ハ信ジテ居リマスカラ、單
ニ壓制杯ト云フコトデハ甚ダ本案ノタメニ残念ニ存シマスカラ一應辯シテ置
キマス

○村田保君 ソレハイカヌデス、サウ云フ事ハ出來ヌコトニナッテ居リマス、
ソレハソレデ宜シイガ、尙ホ御尋致シマスガ、一體此度ノ專賣法ノ主意ヲ見
マスルニ内地ノ樟腦製造ヲバ制限シテ勃興シテ來ルノヲ抑ヘ附ケテ仕舞フヤ
ウニ見エ、ト申シマスモノハ今日樟腦ト云フモノハ世界ノ需要ト云フモノ
ガ五百萬斤位シカナイ、ソレデ臺灣ニ出來ル物ハ四百萬カラ四百五十萬程ア
ルガ、所ガ内地デ樟腦ハ益盛ニナッテ來ルト大變ニ臺灣ノ方ニ妨害ニナルカ
ラシテ、成ルベクコチカラ制限シテ少クシヤウト云フヤウニ思ハクガ見え

マスガ、サウシテ見マスルト此三條ニ在リマスル賠償金杯ト云フモノハドウ
云フ割合ニ出シマスカ、内地デ澤山出シマスルト、本條ノ賠償金ハ非常ニ安
イ金デア買ハレテモ仕方ナイデスカ、其邊ハ一體ドウ云フ御考デアルカ、承ッテ
置キタイ

(政府委員森田茂吉君演壇ニ登ル)

○政府委員(森田茂吉君) 御答致シマス、大體ノ本專賣法ノ目的ハ世界ノ需
要ニ對スル供給ハ日本臺灣デ以テ支配シ得ラレル樟腦デアリマス、ソレデア
リマスルガ故ニ臺灣ノ産業上ニ附イテモ適度ニ產出セシメ隨テ内地ノ產出モ
適度ニセシメテ、臺灣ト内地ト兩々相俟ッテ、即チ兄弟共ニ力ヲ戮セテ外國ノ
市場ニ十分ナル日本ノ生産品ヲ維持シヤウト云フノガ大體ノ目的デアリマ
ス、ソレデアリマスルカラ即チ之ニ對スル追加豫算ニ出テ居リマスガ、内地
ニ於テ今日マデ凡ソ出テ居ル產出高ヲ程度ニシマシテ政府ガ買取ッテヤラウ
ト云フノデ内地ノ產出ヲ臺灣ノ產出ヲ上ゲルタメニ内地ノ產出ヲ押附ケルト
云フ譯ニナッテハ居リマセヌ、尙ホ又豫算委員會ナリ、此法案ノ特別委員會デ
モ委シク申上ゲテ置キマシタガ内地ニ於テ此專賣法ヲスルノハ收益ノ目的デ
立ッテ居リマセヌガ故ニ、政府ハ之ニ依ッテ收益上ノ便宜ヲ得ヤウト云フ考ハ
アリマセヌ、隨ヒマシテ内地ノ買上價格モ臺灣ヨリハ倍額位即チ僅ニ此專賣
法ヲ内地ニ布キマスルニ附ケ多少行政費ガ掛リマスカラ其行政費ヲ引去リマ
シタ或ハ尙ホ製品モ其クシナケレバナリマセヌカラ、其製品ヲ其クスル所ノ
事業費ヲ引キマシタ歲入ハ總テ賠償金ニ充テルヤウナ豫算ニナッテ居リマス、
臺灣ノ賠償金ト内地ノ賠償金ハ倍カラ違ッテ居リマス、詰リ内地ノ産業ヲ抑
ルト云フノデナクシテ適度ニ臺灣ト共ニ力ヲ戮セテ此日本帝國ノ生産品タル
物ヲ外國市場ニ、互ニ賣崩シタリスルトナシニ共ニ力ヲ盡シテ外國市場ニ
此專賣品ヲ維持シヤウト云フノガ本案ノ目的デアリマス

(村田保君) 唯今適度ト言ハレタガ、ソレハ詰リ矢張抑ヘルコトニナ
ラウト思フガ、ソレハ別ノ論デアアルカラ申シマセヌガ、此四條ニ政
府ヨリ賣渡シタル樟腦デナケレバ所持スルコトガ出來ナイトアル、
サウスルトトノ所持シタ者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處セラレルト云フ
ノデアアル、所ガ實施後ニナッテ如何デゴザイマセウ、我々モ前カラ樟
腦ヲ銘々澤山持ッテ居ルダラウト思ヒマスガ、若シ實施後ニナッテ、
サウ云フ樟腦ヲ費消シマスレバ五百圓以下ノ罰金ニサレテモ仕方ガ
ナイ、何處ニモサウ云フ取除ガナイカラシテ實施後ニ政府ノ賣渡シ

タモノデナイ物ヲ、銘々達ガ費消シテモ是デハ罰ヲ逃レヌコトナリハセヌカト思フ、或ハ外國カラデモ一個人ガ必要ノタメニ求メテ來タ物デモ矢張り罰セラレルト云フコトニナリマスカ、其邊ハドウ云フ御調デアリマスカト述フ

此第四條ノ唯今ノ御質問ハ少シ主意ガ分リ兼マシタガ、第四條ハ政府カラ賣渡シタ粗製樟腦デナケレバ所有スルコトノ出來ヌト云フ規定ハ不都合ヂヤト云フノデスカ

(村田保君「サウデハナイデス、此法律ガ實施後ニナルト政府カラ賣渡シタ樟腦デナケレバ我々ハ使フコトハ出來ナイト云フト、前カラ澤山持ッテ居ル者ガアル、或ハ支那ヘ行ッテ買ッテ來ル者ガアルカモ知レヌ、サウ云フ者ハ罰セラレレルコトニナリマス、ソレハ取除ガナイカラ……」ト述フ)

本案ノ附前ノ二十條ヲ御覽下サルト「本法施行ノ際内地ニ於テ製造業者又ハ賣買業者ノ所有スル粗製樟腦、樟腦油ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法ニ準シテ政府ニ納付スヘシ」トアリマス、此施行細則ノ主意ハ小賣商人ガ持ッテ居ルトカ或ハ商賣品トシテ持ッテ居ルヤウナモノハ取除ケル積デアリマス

(村田保君「我々ノ持ッテ居ルノハドウスル」ト述フ)

アナタガ商賣品トシテ持ッテ居レバ……
(村田保君「私ガ商賣ヲシテ居ルカ、其位ノコトガ分ラヌカラ……私ハ營業人デハナイ」ト述フ)

ソレデゴザイマスレバ無論除外ニナリマス
(村田保君「ドコニアリマスカ」ト述フ)

ソレハ委員會ニ於キマシテモ委シク申上ゲテ置キマシタ、殊ニ專賣法トシテハドウシテモ一旦粗製樟腦ヲ拵ヘマシタモノハ樟腦局ニ納メマシテ、ソレカラ政府ノ手ヲ出テ行キマスノガ專賣法ノ根源デアリマスカラ、ソレヲ打破ルハ困難ニ感シマス、併ナガラ現ニ少バカリ持ッテ居ルヤウナ者ハ無論取除ケルト云フコトノ精神デ本案ハ出來テ居リマス

(村田保君「精神ハソレデ宜シウゴザイマスガ、サウ私ニハ見エナイ」ト述フ)

(西村亮吉君演壇ニ登ル)

○西村亮吉君 諸君、私ハ矢張特別委員ノ一人デゴザイマスガ、此本案ニ附イテハ據ナク反對ヲセヌナラヌ譯デ、即チ少數意見ガ差出シテアリマスルカラ、

御覽ヲ下サレマシタト存ジマスル、此案ニ附イテハ此理由書ニ在ル法ニ違フト云フコトニ附イテ數回質問モアリマシタガ、ナカノ政府委員ノ答ハ分ラヌ答デアリマシタ、サウシテ又此樟腦專賣法ノ施行ノコトニ附イテハ臺灣總督カラモ政府委員カラモ懇々述べラレマシタガ、何分已ムヲ得ズ此案ニハ反對セヌナラヌ次第デアリマス、其理由ハ此理由書ニ申述べテアリマスル通ノ次第デアリマス、即チ主務大臣ガ署名ヲシテ居ラヌ、式ニ違フテ居ル、違法デアル、斯ウ云フ譯デアリマス、從來此議會ニ提出セラレ、所ノ法律案ト云フモノハ總テ主任大臣ガ連署ニナッテ居リマス、デ今回ノ議會ニ提出サレマシタ法律案モ總テ主任大臣ガ連署ニナッテ居リマス、皆御手許ニ御請取ニナッテ居リマスル法律案ヲ御覽ナサレマセ、悉ク連署ニナッテ居リマス、獨リ此案ニ限ッテ主任大臣ノ連署ガナイ、唯内務大臣一人ガ連署シテ居ルノデス、本案ノ主任大臣ハ誰カト云ヘバ、即チ地方ノ行政ノ取締ニ關スルコトハ内務大臣ガ主任デアリマセウ、又財務總テ此歳入ヲ圖ルガタメニ專賣法ヲ設ケルトカ斯ウ云フ財務ノコトニ附イテハ大藏大臣ガ主任デアアル、又商業工業林野ノコト總テ此製造ニ制限ヲ附ケルトカ價格ノ維持ヲ圖ルトカ云フヤウナコトハ、農商務大臣ノ主任デアリマス、ソレデ其主任大臣ノ連署ヲシテ居ラヌノハ違法ノモノデアアルデハナイカト云フコトヲ承ッテ見ルト、政府委員ハ珍シイ御答デゴザイマシタ、警察上ノ取締ヲ要スル、警察上ノ取締ヲ要スルカラ内務大臣ガ連署シテ居ル、他ノ大臣ニハ關係ガナイト斯ウ云フヤウニ最初ハ言ハレタノデアリマス、所ガ衆議院ノ委員會ノ速記録ヲ見ルト農商務省ヘモ相談ヲシタ、大藏省ヘモ相談ヲシタアルノデゴザイマス、ソレカラ尙ホ質問ヲシヨルト詰ル所ハ法律ニナッテ發布スルトキニ連署シタラ宜シイト云フ、斯ウ云フヤウナコトヲ言ハレタノデス、實ニ驚入ッタノデス、此樟腦專賣法ニ付テ理由書ニ何ト書イテアルカ、云々「樟腦製造額ノ多寡ヲ制シテ價格ノ維持ヲ計リ且ツ永ク産出ヲ繼續スルノ途ヲ講セムトス」ト斯ウ書イテアル、是ガ何ト内務大臣ノ主任デアリマセウカ、主任ト言ハレマセウカ、警察ノ取締ガ商業ヤ工業ヤ粗製濫造品ヲ拵ヘヤシナイカ或ハ價格ノ維持ヲ保タヌナラヌト云フ如キ警察ノ取締デ之ヲ取締ルト云フコトハ實ニ途方モナイコトデアアルト考ヘマス、警察ノ取締ハ斯様ナコトニハ關セヌト云フコトハ申スマデモナイ、諸君ノ御承知ノ通デアリマス、然ルニ政府委員ノ答ハ總テ警察ノ取締ヲ要スルタメニ此法律ヲ設ケルト云フ一點張デアアル、先刻モ此處デ内務大臣ガ警察ノ取締ヲ要スル云々ト言ハレタノデアリマス、ソコデ警察ノ取締ヲ要スルカラ内務大臣ガ

連署シテ居ル、ソレデ宜イ、ドウシテモ殆ト通辭ト言ハニヤアナラヌデス、現今施行ニナッテ居ル所ノ葉煙草專賣法デゴザイマス、此專賣法モ抜荷ガアル、ソレハ巡查ガ取押ヘテ罰スルノデ、是モ内務大臣ガ連署シテ居リサウナモノデアアルノニ、此葉煙草專賣法ニハ内務大臣ガ責任ヲ負フテ居ラヌ、大藏大臣ガ責任ヲ負フテ法律案ヲ提出シテ居ル、法律ニ副署シテ頒布ニナッテ居ル、國家ガ專賣法ヲ設クルノハ歳入ヲ圖ルタメニ設ケルコトデアッテ、内務大臣ノ副署ノナイガ當然デアアル、ソレヘ持ッテ行ッテ内務大臣ガ臺灣ニスルコトデアアルカラ臺灣ニ專賣法ヲ設ケルノダカラ内務大臣ガ警察上取締ヲ要スルト云フコトハ、全體通辭ト云フテ宜イカ、隨分譯ノ分ラヌ答デアリマス、總テ專賣法ヲ設ケルナラバ大藏大臣ガ主任ト爲ッテヤルガ宜イ、此理由書ノ通り樟腦ノ多寡ヲ制シ價格ノ維持ヲ圖リ永ク産出ヲ繼續スルノ途ヲ講ズルト云フコトナラバ農商務大臣ガ主任デアアル、スレバ農商務大臣ガ責任ヲ負フテ連署セヌナラヌ、此理由デ其責任ヲ内務大臣ガ負フテ連署シテ居ルト云フハ實ニ譯ノ分ラヌコトデアアル、併ナガラ臺灣ノ地方ヲ監督シテ居ル、此地方行政ヲ監督シテ居ルタメニ連署ヲスルト云フコトナラバ是ハ敢テ不都合ハナイ、連署スルモ宜カラウ、併ナガラ此樟腦專賣法ノ責任ハ内務大臣ヨリカ農商務大臣、大藏大臣ノ方ガ責ガ重イ、其責ノ重イ大臣ガ之ニ連署ヲセヌト云フコトハ或ハ何か考ガアッテ責任ヲ避ケタモンザヤナイカト思ハレル心地ガスルデス、併ナガラ是ハ内務大臣ガ一人連署シテ居ルカラ式ニモ違ハヌ、違法デハナイト言ハレルデアラウ、所ガ從來提出セラル、所ノ法律案、勅旨ヲ奉シテ帝國議會ニ提出スルトアル、其法律案ニ署名シテ居ル規定ガナイカラ式ニハ違ハヌ、違法デハナイト斯ウ言ハレルカモ知レヌガ、チヨット見ルト規定デハナイヤウデアアルガ實ハ規定デアアルニ相違ナイ、其勅旨ヲ奉シテ帝國議會ニ提出サル、法律案ハ他日此法律ガ發布ニナルトキニ副署スルモノデアリマスカラ主任大臣ハ責任ヲ負フテ連署シテ居ル、憲法ノ五十五條ニ「國務各大臣ハ天皇ヲ輔弼シ其ノ責任ニ任ス凡テ法律勅令其ノ他國務ニ關ル詔勅ハ國務大臣ノ副署ヲ要ス」ト斯ウアル、所ガ是ハ唯國務大臣デアアルカラ誰デモ國務大臣ガ一人サヘ連署スレバソレデ宜イト斯ウ言ハレルカモ知レヌ、所ガ内閣官制ノ第四條ニハドウアルカト云フト「凡ソ法律及一般ノ行政ニ關ル勅令ハ内閣總理大臣及主任大臣之ニ副署スヘシ」トアル、即チ此樟腦專賣法ト云フモノ、主任大臣ハ農商務大臣、ソレカラ大藏大臣ガ是ガ主任大臣デアアル、其大臣ガ即チ此案ニ連署シテ居ラヌ、是ハ違法デナイト云フコトハ驚入ッテ話デアアル、議會開設以來、既ニ式ト爲ッテ

居ル、今回ノ議會ニ提出サレテ居ル所ノ法律案ハ悉ク主任大臣ハ連署ニナッテ居ル、其中デ刑法或ハ權限裁判法、裁判所構成法トカ或ハ衆議院議員選舉法トカ會計法トカ云フ、是ハ内閣各大臣ガ總テ一同責任ヲ負フテ連署ニナッテ居リマス、議會開設以來或ハ一ツカニツカ主任大臣ガ連署ニ洩レタコトガアツタカモ知レヌ、ソレハ誤デアアル、政府モ議會モ其誤ニ氣ガ附カナンダカラ通ッテ來テ居ル、若シアツタナラバ其一ツカニツカ連署ニ洩レタモノヲ以テ先例ガアルト斯ウ云フコトハ言ヘヌノデアアル、若シ右様ノコトヲ言ハレタナラバ通辭モ又甚シイト言ハネバナラヌ、此法案ノ第三條ニ賠償金ヲ政府ガ定ムル、内務大臣ガ賠償金ヲ定メテ公布スルト言ヒ、又十八條ニハ此法律ノ施行細則ハ内務大臣ガ定ムルトアッテ實ニ驚入ッタコトデアアル、内務大臣ノ職制ハ何カ、「神社、地方行政、議員選舉、警察、土木、衛生、地理、宗教、出版著作權、賑恤及救濟ニ關スル事務ヲ管理シ臺灣總督、警視總監、北海道廳長官及各府縣知事ヲ監督ス」是デアアル、デ此樟腦專賣法ノ賠償金ヲ定ムルトカ、此製造業ノ取締ヲ附ケル施行細則ヲ内務大臣ガスルト云フコトハ内務大臣ハ職權外ノコトヲスルト謂ハネバナラヌ、斯ノ如キモノデ即チ式ニ違ヒ主任大臣ノ連署セザル違法ノモノデアアルカラ此貴族院ニ於テハ議スベキモノデアナイト考ヘマス、又臺灣總督府ハ歳入ヲ圖ルタメニ設ケルコトニナッテ居リマス、政府ガ人民ノ營業ヲ取上ゲテ專賣ヲスルト云フコトハ全體宜シクナイコトデアリマス、然ルニ國家ガ歳入ヲ圖ルタメニ已ムヲ得ズ設ケルコトガアル、即チ彼ノ二十七八年ノ戰後經營ノタメニ歳入増加ヲ要スルコトガアルカラ已ムヲ得ズ葉煙草專賣法ヲ設ケタモノデアアル、ソレデ樟腦ノ專賣ヲスルナラバ大藏大臣ガ主任ト爲ッテヤルガ宜シイ、前回ノ議會ニ於テ吉井伯爵ノ質問ニ對シテ昨年ノ三月二十四日農商務大臣カラ其吉井伯爵ノ質問ニ對シテ答ヘラレテ居ル、ソレニ何ト答ヘラレテ居ルカ

内地ニ於ケル樟樹ニ關シテハ從來政府ニ於テハ他ノ樹木ト取扱ヲ異ニシ特ニ一層ノ注意ヲ以テ保護繁殖ヲ期スルモ其效果ノ未タ顯著ナラサルハ遺憾トスル所ナリ然レトモ尙ホ進シテ此特産ヲ永遠ニ増殖スルノ速成方法ニ關シテハ既ニ其必要ヲ認メ現ニ之カ調査ヲ爲シツ、アリ故ニ該調査結了ノ上ハ植伐製腦等ニ關シテ特殊ノ取締法ヲ設クルカ或ハ專賣制度ヲ開始スルノ必要ヲ見ルニ至ルヘキカ未タ之ヲ明言スルコト能ハサルモ今ヤ諸種ノ企劃上充分ナル材料ト鄭重ノ攷究ヲ盡サムコトヲ期セリ

右及答辯候也

斯ウ云フヤウニ農商務大臣が答へテ居ル、ツレデ此コトハ政府ニ向ッテ質問ガアツタカラ農商務大臣が主任デアアルニ依ッテ農商務大臣が此答ヲシタノデアアル、ツレデ此樟腦ノ濫造ニナッテ居ル……今之ヲ十分ニ取締ヲ附ケヌナラヌト云フコトガアツテ見レバ、農商務大臣が十分ニ取締ヲ設ケテ濫造ノ弊ヲ防ギ價格ノ維持ヲ圖リ臺灣總督府ガ歳入ヲ計ルニ妨ナイヤウニ取締法ヲ附ケルノガ農商務大臣ノ職責デアアル、農商務大臣が樟腦ノ取締ヲ怠リタルガタメニ臺灣總督府ガ内地ノ樟腦製造人及營業人ヲ束縛スルコトニナルト云フコトハ實ニ不都合千萬デアアル、若シ内地ニ專賣法ヲ施行スルノ必要ガアルナラバ大藏大臣が主トナッテ之ヲ行フガ宜シイ、ツレヲ農商務大臣ハ速ニ嚴重ナ取締法ヲ設ケルガ宜シイ、政府委員ハ何分ニモ之ヲ早ク行ハヌト臺灣ノ樟腦ノ價格ヲ墮スヤウニナルト云フコトヲ酷ク心配サレテ居リマスガ、サウ俄ニ價格ヲ墮スト云フテ此處半年カ或ハ八九箇月モ此方ヲ延ベテ置カレヌト云フコトハアルマイト思フ、サウスレバ此處七八箇月延ベテ置ケバ農商務大臣モ十分ニ經畫ヲシテ取締法モ出來ルデアラウト思ヒマス、ツレ程延ベラレヌコトハナイノデアリマス、ト云フモノハドウカト云フト委員會ノ席ニ此樟腦ノ表ガ貼リ出シテアル所ヲ見マスルト、此臺灣ニ樟腦專賣法ヲ設ケラレヌ以前デモ十分ニ價格ノ騰ツタコトモアレバ下カッタコトモアルデス、此專賣法ガ行レヌデモ價格ガ騰ツテ居ルノデアアルカラ何モ此處六七八箇月農商務大臣ガ十分ニ取締法ヲ附ケルマデ待テ居ルコトノ出來ヌト云フコトハ決シテアリマセヌ、十分アルノデアリマス、隨分價格ノ高下ハアリマスルケレドモ此專賣法ヲ施行セヌ以前ト雖モ八十圓ト云フ臺ニ騰ツテ居ルコトモアリマスル、此三十四年ハ八十圓ト云フ臺マデモ騰ツテ居リマスルカラ、此所今年ノ暮マデニ取締法ヲ十分附ケタ所ガ、其間ニ三十圓カラ二十圓マデモ下落スルコトハアルマイト思ヒマスカラ、暫ク臺灣總督府ニモ辛抱ヲシテ農商務大臣ヲ責メテ速ニ取締法ヲ設ケルヤウナコトニナッタナラバ臺灣ニモ大ナル迷惑ハセヌト思フノデアリマス、又農商務大臣モ必ズ十分ノ取締ヲ附ケルデアラウト思フハ、吉井伯爵ノ質問ニ答フセラレテ居ル通デアリマスカラ十分ノ取締ヲセラル、デアラウト思ヒマス、故ニ此式ニ違フタ大臣ノ連署ノナイ違法ノモノヲ以テ議スルト云フコトハ甚ダ宜シクナイト考ヘマスカラ、本案ハ否決ニナルコトヲ切望致スノデアリマス

○政府委員(奥田義人君) 本案ノ實質ニ關シマスル事柄ニ就キマシテハ何レ

所管ノ政府委員ヨリツレノ辯明ヲ致シマスルノデアリマセウガ、本案提出ノ法式ニ就テ是ガ違法デアアルト云フコトノ御意見ニ至リマシテハ、政府ハ責任上茲ニ一言辯解ヲ致シテ置カナケレバナラヌト信ジマス、唯今西村サンヨリ御述ニナリマシタ所ノ理由ニ依テ見マスルト云フト、憲法五十五條ニ於テ「凡テ法律勅令其ノ他國務ニ關ル詔勅ハ國務大臣ノ副署ヲ要ス」ト云フコトガアル、又内閣官制ノ第四條ニ於テ「法律及一般ノ行政ニ關ル勅令ハ内閣總理大臣及主任大臣之ニ副署スヘシ」斯ウ云フコトガアル、然ルニ本案ニハ此關係ノ國務大臣ガ署名ヲシテ居ラヌト云フコトハ即チ違法デアアル、斯ウ云フ御意見ノヤウニ承リマシタノデアリマス、所ガ私ガ申述ベマスルマデモナク憲法第五十五條竝ニ内閣官制第四條ハ孰モ皆國務大臣副署ノコトヲ規定シタノデアリマス、國務大臣ノ副署ト云フコトハ恐ナガラ、天皇陛下ノ御名御璽ガ据リマシテ始テ生ズルコトデアアル、然ルニ政府ガ議案ヲ議會ニ提出致シマスルニ當リマシテハ、陛下ノ御名御璽ハ之ニスルモノデアリマセヌ、國務大臣ハ勅ヲ奉ジテ政府ヲ代表シテ茲ニ連署ヲシテ提出ヲスルト云フニ過ギナイノデアリマシテ、副署ト云フモノデハ決シテナイノデアアル、故ニ憲法五十五條ナリ内閣官制第四條ト云フモノハ此議案ヲ政府ガ議會ニ提出シマス場合ニハ適用スベキ箇條デナイノデアリマス、所ガ今日マデノ慣例ニ於キマシテ關係ノ諸大臣ガ之ニ連署ヲスルト云フコトニナッテ居リマスノハ議會ニ提出ヲ致シマスル法式ト云フモノガ法律命令等ニ於テ別ニ定ツタモノガナイノデアリマス、アリマセヌカラシテ成ルベク此法律發布ノトキノ式ニ準ジテ政府ハ是マデ取扱ヒ來ッテ居ルト云フニ過ギナイノデアリマシテ、決シテ一定ノ法式ト云フモノハ備ツテ居ラヌノデアアル、其邊ガ少シ或ハ御混同ニナッテ今日ノヤウナ御意見ガ出タリデハアルマイカ知ラヌト信ジマスニ依テ是ハ政府ノ責任上、一言辯解ヲシテ置ク必要ガアルト思フノデアリマス

○村田保君 本員ハ此處カラ一ツ簡單ニ述ベタイト思フ、本員ハ此法案ハ餘程穴ノ明イテル法案ダト云フコトハ確ニ認メテ居ル、此草案ノ所デモ其通りデス、是ハ出來ルト云フガ出來ヌコトガアル、中ニハ製造ヲ停止スルト云フコトガアリマスガ、コンナコトハ決シテ出來マセヌ、停止ヲ命ゼラレタ所ガ訴願ヲスルニシテモ訴願法ニモ何モナイカラドウシテモ出來ナイ、サウシテ見ルト云フト餘程人民ノ權利ニ非常ナ妨害ヲ來スダラウ、其他段々他ニモ込入ツタムツカシイ法案ダト思ヒマス、本員ハ昨日實ハ是マデ本議場ニ上リマシタ議案等ヲ調べテ見マスノニ、政府ヨリ出シマシタ法案デ本院ノ議ニ上

リマシタ數ガ四十アルノデ、ツレカラ衆議院カラ送付ニナリマシタモノハ三十四アル、殆ド政府案ト衆議院案ト同ジ位ノ數ガアル、ツレデ今月ニ入りマシテカラ僅ニ此一週間バカリノ間ニ政府カラ提出シタ案ガ十五アル、ツレカラ衆議院カラ出マシタ案ガ十七アリマス、大方本日モ衆議院ノ議事日程ニ載ッテ居リマスルモノガ二件位ハコチラニ回ッテ來ルダラウト思ヒマス、斯ノ如ク大キナ澤山ナル議案ガコチラニ停滞シテ居ルヤウナ譯デ、其中デマダ議了ニナラナイモノガ政府案デ七ツモゴザイマス、衆議院案デハ二十モアル、ツレデドウモ悉ク今日中、或ハ明日マデニ議スト云フコトハ到底覺束ヌコトデアリマスカラシテ、ドウゾ成ルベク此議案ノ極ク必要缺クベカラザルモノ、一年モ述ベルコトガ出來ヌトカ或ハ滿場諸君ニ於テ御反對ナイヤウナモノナラバ速ニ決シテモ宜イガ、併シ斯ウ云フ案ノ込入ッタモノハ十分ニ熟考時間ヲ與ヘタイト思フデス、ドウモ法律デゴザイマスカラシテ之ヲ輕々ニ盲判ヲ捺スト云フコトハ出來ナイ、實ニ四千有餘萬ノ人ノ服從スル所ノ法律デスカラ、ツレバ此會期切迫ダカラト云ッテ無間ニズンノ通過スルト云フコトニナッタラ國家ニ對シテ濟ムマイト存ジマスカラ、ドウゾ本員ハ斯ノ如ク十分込入り穴ノ明イタ法律案ト云フモノハドウゾ此次ノ議會マデ延バシテ欲シイト云フコトデ、本案ハ成ルベク第二讀會ニ移サヌコトヲ希望致シマス

○子爵谷干城君 贊成……否決ヲ贊成

(政府委員後藤新平君演壇ニ登ル)

○政府委員(後藤新平君) 本案ノ少數意見ニ對シマシテ此形式上ノコトニ附キマシテハ唯今奧田政府委員カラモ申述ベマシタ、又農商務大臣カラモ述ベラレマシタ、實質上ノコトノ一部、又此必要ニナリマシタ事柄ニ附イテ一言申述ベマス、本案ハ壓制デアアル人民ノ營業ヲ取上ゲテ宜シクナイト云フコトノ御主意ヲ以テ少數意見ニ否決ノコトヲ述ベラレマシテアリマスルガ、唯一方ヨリ見ルト頗ル是ハ壓制デアアル、人民ノ是マデノ自由ノ營業ヲ害スルカノ如ク見エマスルノデアリマスガ、必シモサウ云フ譯デハナイ、又表ニ依ッテ見レバ專賣法前ニモ價格ガ騰ッタコトガアルト云フコトハ西村君カラ御説ガアリマシタガ、ツレハ唯一度デアリマス、其上ッテ譯ト云フモノハ臺灣ノ戰爭中ニ於テ、即チ二十七八年ノ役ニ於テ製造ガ出來ヌタメニ價格ガ非常ニ騰貴シマシタダケデ、此度ノ專賣法ニ於ケル如ク價格ノ騰貴シマシタコトハ未ダ曾テナイノデアリマス、ツレ故ニ臺灣竝ニ本邦ノ樟腦ノ價格ヲ支配スルモノデアアル、之ガ生産ノ原地デアアルト云フコトハ疑フ容レマセヌノデア

リマス、ツコデ今マデ專賣法ノ施行ニ依ッテ其好果ヲ奏シテ居ルト云フコトハ申スマデモナイコトデアリマス、而シテ其專賣法ノ好果ヲ奏シタノハ如何ナル風ニ奏シタカト云フコトヲ一言申上ゲテ諸君ノ御參考ニ供シタイト思ヒマス、ツレハ明治二十年カラノデ、安イトキハ二十八圓デアアル、然ルニ此樟腦專賣法ヲ實施シマシテカラ以來、平均今日ニ於テ七十七八圓マデニ今保ッテ居ルノデアリマス、戰爭後樟腦ノ高イ時分ニ濫造ヲ致シマシテ下落致シマシタトキニハ四十圓ニ下落致シマシテ殆ド内地ノ樟腦ノ產額ガ自然ニ皆減ッテ仕舞ッタノデアアル、而シテ農商務省ノ統計ニ據リマスルト僅ニ内地ヨリ二十萬斤ヨリホカ出ナイヤウニナッテ仕舞ッタノデ、自然ノ結果下落致シマシタ、ツレハドウ云フ自然ノ結果デアアルカト云フト世界ノ需要ガ減シタノデハナク、粗製濫造ノタメサウ云フ結果ニナッタノデアリマス、然ルニ此樟腦專賣法ヲ臺灣ニ施行シマシタメ内地ノ營業者ガ倍額ニ近キ所ノ金額ヲ得ルヤウニナリマシタカラ競ウテ澤山ニ製造スルコトニナリマシタ、是レ即チ臺灣ノ專賣法ガ内地ニ及シタ所ノ效果デアリマス、然ルニ今日ハ其效果ノ現レタコトハ與ニ喜ブベキデアリマスガ、ツレガタメニ却テ世界ノ需要高ノ五百萬斤ト云フモノニ對シマシテ雙方カラ豫定ノ樟腦ヲ產出致シマスルト云フト世界ノ需要高ヲ超スヤウニナリマシテ需要供給ノ相應ゼザルヨリシテ下落ヲ來スト云フコトニナッテ、其下落ノ勢ガ制スベカラザルニ至リマシテ八十五圓ノ樟腦ヲ七十五圓ニ賣ルマデニ致サナケレバナラヌト云フコトニ立至リマシタ、併ナガラ成ルベク此價格ヲ維持シテ臺灣ト内地ト相應ジテ賣崩スコトヲシナイヤウニ致シマシタカラ今日マデ維持シ來ッタノデアリマスガ、若シ此專賣法ヲ實施セヌト云フコトニナッタナラバ、ドウナッタカト云フコトニ附イテ考ヘテ見マスト、今後ハ必ズ臺灣ノ方デ製造シテ賣出シ内地ノ方デモ製造シテ賣出スト云フト專賣法實施以前ニ於テ見タ結果ノ如ク其樟腦ノ價格ト云フモノハ次第ニ下落致シマシテ遂ニハ他ノ者ノ利益ニナルバカリデ此天與ノ物產ヲ維持スルコトガ出來ナイト云フコトニナリマスルデ、而シテモウ一言添ヘテ置キマスルノハ取締法カ專賣法カヲ施行スルト云フコトハ講究中デアアルト農商務大臣ガ前ノ議會ニ於テ答ヘラレタカラ農商務大臣ガ出シタモノナラバツレデヤラウト云フコトニ西村君モ言ハレテ居リマス、其位ノコトヲ西村君ノ少數意見トシテ否決ノ意見ヲ以テ反對セラル、ニモ拘ラズ此事ノ必要ハ御認ニナッテ居ルノデアリマス、徒ラニ形式ノタメ又ハ其他ノ瑣細ノ原因カラシテ若シコト否決ニナルコトニナリマシタナラバ、却テ營業者ヲ保護セント欲シテ營業

者ニ害ヲ被ラシムルニ至ツテ、營業者ヲバ安全ニ……樟腦ノ全體投機的ニシテ價格ノ昇降常ナラザルノ弊ニ陷ルヲ防グノ道ヲ立ツルニ至ラシムルヤウニドウカ此案ノ速ニ通過シテ左様ノ害ノナイヤウニ至ルコトヲ希望致シマシテ一言申上ゲマス

○田中芳男君 政府委員ニチヨット承リタウゴザイマス、從前ハ密輸出ガ盛ニアリマシテ臺灣ニ出來マシタ高ト香港ニ在ル高ト較ベルト香港ニ在ル高ノ方ガ多イト云フコトヲ聞キマシタガ、今テハ總テ取締ガ立ッテ左様ナコトハナイヤウニナリマシタコトデゴザイマス、其邊ヲ一ツ承リタウゴザイマス

(政府委員後藤新平君演壇ニ登ル)

○政府委員(後藤新平君) 唯今ノ御尋ヲチヨット確ニ承リマセヌデシタガ、モウ一應……

○田中芳男君 前年ハ密輸出ガ澤山アリマスタメニ臺灣デ計算致シマシタ高ヨリカ香港ニ在ル高ノ方ガ多カッタト云フコトヲ聞イテ居リマスルガ、左様ナコトハ今テハ專賣法ガ出來タ以上ハ取締ニナッテ居リマスカラ、左様ナコトハアリマス、マイトハ思ヒマスガ、昨今ノ景況ハドウ云フコトニナッテ居リマスカ、ソレヲ伺ヒマス

○政府委員(後藤新平君) 御答致シマス、唯今ニ於テハ左様ナコトハゴザイマセヌ、ソレデ臺灣樟腦ノ外ニ市場ニ價ヲ競ヒマシテ臺灣樟腦ノ價格ヲ維持スルニ害アルモノハ今内地産ノミデ是ガ前刻モドナタカノ御話ノ出マシタ通デ百五十萬斤ト云フ斤數ニ至リマシテ殆ド世界ノ需要ノ三分ノ一ヲ内地カラ産スルヤウニナッタデアリマス

○田中芳男君 尙ホ御尋致シマス、此樟腦ヲ製シマスル者ハ熟蕃デアリマスカ生蕃デアリマスカ知リマセヌガ、其製造スル所ヘハナカク内地人ガ行ッテ見ルドコロデハナイ、行ケバ直ニ首ヲ斬取ラレテ仕舞フカラ容易ニ製造ヲ調ベニ行クコトモ出來ナイト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、最早サウ云フ亂暴ナコトハナクナッテ此規則ヲ實際行フコトニナッテ製造家ノ所ヘ役人ガ行ッテ調ベルヤウナコトノ出來マスコトニナリマシタコトデアリマスカ、是ハ形式的デ實際サウ云フコトハ出來ナイ、内地ノ人間ナラバ何處カラ何處マデ取締ガ出來ルケレドモ生蕃ヤ熟蕃ハ取締ガ出來マスマイカト思ヒマスガ、是ハホンマニ用ヒラレルコトデゴザイマセウカ、ソレヲ伺ヒマス

○政府委員(後藤新平君) 御答致シマス、此樟腦ヲ製シマスル土地ハ生蕃ノ屢、襲ヒ來ル所デアリマス、併ナガラ樟腦ヲ製シマスルニハ豫メ樟腦營業人

ガ自分ノ警察ト申シマスルカ手兵ト申シマスルカ相當ノ戎器ヲ携ヘタ者ヲ以テ周圍ヲ擁護スルヤウニ致シ且ツ蕃人ト交渉ヲ遂ゲテ安全ニ營業ヲ爲スニ足ルダケノ方法ヲ定メテ而シテ這入リマス、ソレ故ニ其地方ニ於テ蕃人ヲ手懐ケマシタ所デ事業ヲ爲シマスカラ若シ其地方ヲ巡回セントスルトキニハ今日ハ出入スルコトハ出來マス、併シ若シ蕃人ト云フモノガ荒ビテ居ッタトキニハ出入ガ出來マセヌ、ナゼト申シマスルト云フト蕃人ト云フモノハ丁度馴シテ飼ッテ置イタ獸類ノ如キモノデアリマシテ今日マデハ懐イテ居リマシテモ明日ニモ荒ビ出シマスル、蕃人ハ隨分荒ビルコトガアルデアリマス、併シソレ等ノ方法順序ト云フモノハ段々經驗ヲ積ミマシテ今日ニ於テハ樟腦營業ヲ爲スノ手段ニ附イテ十分講究モ附イテ居リマス、又其地方ヲ巡回スルコトモ出來マス

○田中芳男君 尙ホ伺ヒマスガ、左様致シマスルト此法律ガ通過致シマスレバ生蕃ダカ熟蕃ダカノ所ニ此法律ガ施行サル、ト云フ御見込デゴザイマスカ

○政府委員(後藤新平君) 御答致シマスガ、生蕃又ハ熟蕃ト云フモノガ直グニ此營業人ニハナッテ居リマセヌ、臺灣土著ノ人民若クハ内地人ガ此營業人ト爲リマシテ此法律ヲ遵奉シマシテ蕃界ニ於テ即チ生蕃地ニ於テ樟腦ヲ製造致シマスデアリマス

○田中芳男君 左様致シマスト詰リ仲買ノヤウナモノデ實際拵ヘル人ノ方ハ取締ハ出來ナイノデスナ

○政府委員(後藤新平君) 御答シマス、サウデアアリマセヌ、仲買デアナイ、自分デ製造致シマス、生蕃ヤ熟蕃ガ製造スルト云フ御考ヲ御持ニナッテ居リマスカラ、サウ云フ御疑ガアリマスコトデ、生蕃ヤ熟蕃モ其事業ノタメニ人夫トナッテ使ハレテ居リマスカ製造スル者ハ臺灣土著ノ支那人又ハ内地人デゴザイマス

○田中芳男君 分リマシタ、モウ一ツ御尋致シマス、此樟腦ノ價ニ附イテ過刻カラ段々承ッテ居リマスガ、近年人造樟腦ト云フモノガ出來テ來テ、是ハ次第二天然ノ樟腦ヲ壓倒スルデアラウト云フコトヲ承ッテ居リマスガ、其邊ノ御調ハゴザイマセヌカ

○政府委員(後藤新平君) 御答致シマス、人造樟腦ノコトハ種々調ベマシテ居リマスルシ、又學術上雜誌杯ニモ頻々トシテ其廉ニナルコトヲ攷究シテ居リマスガ、連モ人造樟腦ハ百圓以上デナケレバ出來マセヌ、段々今デハ百圓

以內二下ルト云フ形勢ニハナッテ居リマスケレドモ、マダ天然樟腦ヲ壓倒シテ總テノ工業用ノ必要ニ供スルト云フ日ハマダ今日ヨリ遠イデアラウト云フ考デアリマス

○伯爵吉井幸藏君 此法案ハ誠ニ大キナ法案デアリマスガ、色々御意見モゴザイマシタケレドモ、本員ハ樟腦ニ附キマシテハ少シ經驗ノアルモノデアリマスガ、是ハ是非本年通シマシテ早ク施行ニナリマセヌト云フト、實ニ此前一箇年間臺灣ノ專賣ノ收入ノ減リマシタノハ全ク内地ノ取締ガ附カナイタメデアツタノデアリマス、本員ハ能ク此事ハ承知致シテ居ルノデアリマスカラ、ドウゾ是ハモウ色々御議論モアリマシタ事デゴザイマシタガ、直チニ採決ニナツテ成ルベク速ニ可決アラントウ希望致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) モウ大抵議論モ盡キタヤウデアリマスカラ、採決シマス、第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數
○議長(公爵近衛篤磨君) 少數ト認メマス

〔多數〕ト呼フ者アリ
〔異議ノ申立ヲシマス〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) チヨット御待下サイ、ドウカ其儘暫ク御立チテ……
〔多數々々〕ト呼フ者アリ
〔少數々々〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ反對ノ御方ノ起立ヲ願ヒマス
起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 多數デアリマス、本案ハ二讀會ヲ開クベカラズト決シマス

○子爵曾我祐準君 會期モ切迫致シマシタ、各豫算モ澤山ノ數アリマス、其中十案バカリハ豫算委員テ決シマシタ、ドウカ今日議事日程ヲ變更サレテ此際決議アラントウ希望致シマス、尤モ豫算ヲ決議致シマスニ關聯シテ居リマス所ノ鐵道法案、之ヲ第一ニ議セラレマシテ、サウシテ豫算ニ移ラレンコトヲ希望致シマス、ドウカ諸君御賛成ヲ願ヒマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ
○議長(公爵近衛篤磨君) 曾我子爵ヨリ此際鐵道敷設法ノ改正案ヲ議シタイト云フコトデゴザイマス、引續イテ豫算ニ關係ガアリマスカラ、關聯スル豫算ヲ議シタイト云フコトデゴザイマス、ソレニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ其通致シマス
○公爵徳川家達君 本員ハ委員長デアリマスガ、唯今ノ曾我子爵ノ動議ハ鐵道敷設法中改正法律案ノミデアリマスカ、又ハ豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案モ共ニト云フコトデゴザイマスカ

○子爵曾我祐準君 申落シマシタガ兩案トモニ此際願ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 鐵道敷設法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

鐵道敷設法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也
明治三十五年三月七日

右特別委員長
公爵徳川 家達

貴族院議長公爵近衛篤磨君

豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案
右否決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也
明治三十五年三月七日

右特別委員長
公爵徳川 家達

貴族院議長公爵近衛篤磨君

○公爵徳川家達君 鐵道敷設法中改正法律案ノ委員會ノ經過並結果ヲ御報道ニ及ビマス、此委員會ハ昨日午前ヨリ開キマシテ審査ノ結果、御手許へ御配付ニ及ビマシタ通可決スベキモノト決シマシタ、其節委員會ノ出席ノ委員ハ六名デアリマシタ、委員長ハ採決ノ際ハ已ムヲ得ザル事故ガアリマシテ缺席致シテ居リマシテ、副委員長ガ代理ヲ致サレマシタ、一ノ反對説モ出マセヌデ全會一致ヲ以テ可決ト議決ニナリマシタ、此段御報告ニ及ビマス、登壇ノ序

二次ノ豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案、此委員會ノ經過並結果モ御報道ニ及ビマス、此委員會モ昨日午後開會致シマシテ出席ノ政府委員ニ質問モ致シ、鄭重ナル審査ヲ遂ゲマシタ末ニ委員ノ中ヨリ軍

事上ノ必要ガアルトハ雖モ、目下ノ經濟上ノ形勢カラ考ヘマシテモ、是ハ否決スベキモノデアルト云フコトヲ論ゼラレタコトデゴザイス、ソレニ對シテ他ノ委員ハ此事ハ頗ル鄭重ニ審査スベキモノデ、故ニ昨日ノ委員會ニ於テハ決議セズニ、決議ヲ他日ニ讓ツタ方ガ宜カラウト云フ説モ出マシタ、其説ニハ贊成者ガアリマセヌノデ問題ト爲リマセヌデアリマシタ、其他別ニ論ヲナサレル委員モゴザイマセヌデ、遂ニ此案ハ否決スベキモノト決定相成リマシタ、此段御報告ニ及ビマス

○松本鼎君 本案ハアトノ豫算ニ關係ガアリ、殊ニ豫算ノ五號ト云フノガアリマスカラ、讀會省略シテ直チニ決セラレンコトヲ……

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 松本君ノ讀會省略ノ動議ハ兩案トモデスカ

○松本鼎君 德島鐵道ノ方ハ別デゴザイマス、一方ダケヲ……

〔子爵谷干城君〕讀會省略贊成ト呼フ

○議長(公爵近衛篤磨君) 讀會省略ニ贊成ガアリマス、成立チマシタモノト見テ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ハ三分ノ二以上ト認メテ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ讀會ハ省略シマス、次ニ本案御異議ガナケレバ原案ニ決シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 次ハ豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案、別段御異議ガナクバ採決シマス、二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵近衛篤磨君) 少數ト認メマス、ソレデハ豫算ノ會議ニ移リマス、曾我子爵ヨリ御報告ヲ願ヒマス

一 明治三十五年度歳入歳出豫算追加案(第五號)

一 明治三十五年度特別會計歳入歳出豫算追加案(第六號)

右衆議院ヨリ送付シタル各案ヲ審査シ總テ衆議院議決案ノ通可決スヘキモ

ノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十五年三月八日

豫算委員副委員長子爵曾我祐準

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

一 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第五號)
右案中第一ヲ可決シ第二ヲ否決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十五年三月八日

豫算委員副委員長子爵曾我祐準

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

一 明治三十五年度歳入歳出總豫算追加案(第三號)

一 明治三十五年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第三號)

一 明治三十五年度歳入歳出總豫算追加案(第七號)

一 明治三十五年度歳入歳出總豫算追加案(第七號)

一 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追加第六號)

右衆議院ヨリ送付シタル各案ヲ審査シ總テ衆議院議決案ノ通可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十五年三月八日

豫算委員副委員長子爵曾我祐準

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

〔子爵曾我祐準君演壇ニ登ル〕

○子爵曾我祐準君 豫算案ハ非常ニ澤山ノ數デゴザイマス、先ツ鐵道ノ序デニ鐵道ノ方カラ先キニ申上ゲマス、第五號明治三十五年度歳入歳出總豫算追加、是ハ皆サン御承知ノ通ニ歳入百萬六千ナニガシト云フモノガアル、サウシテ臨時歳出ノ遞信省部ニ於テ補助費ト鐵道建設費ト二口合セマシテ今ノ歳入ト合スル所ノ歳出ノ案デアリマス、十四万ナニガシト云フモノハ北海道鐵道株式會社ヘ補助スルト云フ案デアリマス、サウシテ又八十五萬八千九百圓ト云フモノハ福知山國部舞鶴間ノ鐵道、之ヲ政府ニ取ツテ施行スルト云フノデアリマス、此北海道鐵道ノ敷設ノ必要ナルコトハ數年前ヨリ感シテ居リマスガ、私設鐵道ニ任シテ置イテ補助デモ致シマセヌケレバ何分敷設ガ出來ナイト云フノデ、政府ガ之ヲ補助スルト云フコトニナリマシタ、即チ建築哩一哩ニ附イテ八千圓ト云フモノヲ補助スルト云フコトニナリマシタ、ソレガ此年度ニ於キマシテハ十四萬四千四百圓ト云フモノヲ支出スルコトニナツテ、ソレカラ舞鶴ニ關係スル所ノ鐵道ハ阪鶴鐵道京都鐵道杯ガアリマスガ、此兩岸ヲ貫

キマシタ所ノ鐵道ハ今ニ私設鐵道ナルガ故ニ今ニ進ンデ居リマセヌカラ、之ヲ政府ノ物トスル、是コソ軍事經濟兩方兼ネテ明カナ理由デアリマス、殊ニ今度ハ陸軍ト海軍ト兩方兼ネテ問題デアラウト思ヒマス、然ルニ財源ノナイタメニ政府ハ此財源トシテ政府デ持ッテ居ル官線鐵道ノ賃金ヲ僅バカリ加ヘマシテ此財源ヲ充タスト云フ斯様ナ案デアリマス、ソレカラ之ニ關聯シテ居リマス特第六號是ハ遞信省ノ部ニナッテ官設鐵道ノ歲入ノミヲ記シタモノデアアル、ソレカラ又之ニ關聯シテ居ル所ノ追第五號豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ要スルモノ、是ハ勿論契約デアリマス、是ハ北海道鐵道會社ト徳島鐵道會社ニ向ッテノ補助並ニ補助ト云フモノハ、鐵道敷設ニ對シテヤル金デアアル、補助ト云フモノハ出來上ッタルヤル金ト見エマス、徳島鐵道會社ハ補助ト補助ノ二ツニナッテ居リマス、ソレデ委員會ニ於キマシテハ大分是ハムツカシイ問題デアルカラ、此案ハ分科ニ託シマシテ十分ニ調査ニナリマシタ、調査ノ結果、分科主査ハ報シテ申サレマスニ否決ニナッタト云フ報告デゴザイマシタ、然ルニ此豫算總會ニ於キマシテハ大變改究致シマシタガ、豫算總會ニ於テハ多數ヲ以テ第五號案並特第六號ノ二ツハ可決ト云フコトニナリマシタ、即チ一ノ歲入ヲ求メテ百何萬圓ト云フ歲入ヲ求メテ、サウシテ私設鐵道會社ヲ補助スルト云フコトデ、政府ニ取ッテ阪鶴鐵道舞鶴鐵道ニ關係スル鐵道ヲ敷設スベシト云フコトデ、認可ノ協贊ヲ與ヘルト云フコトニナリマシタ、ソレカラ追第五號ノ契約ノ所、即チ北海道鐵道株式會社ト徳島鐵道會社ト、是ハ一ニニナッテ居ル其第一ハ即チ北海道ノ方デアッテ、第二ハ即チ徳島ノ方デアリマス、第一ニハ別段議論モゴザイマセヌダツタガ、第二ニハ議論ガアリマシテ修正案ガ出マシタ、ソレカラ第二ノ中ノ第三號ヲ削除シ、第五號ノ補助ト云フ鐵道ガ出來上ッタル後ニヤルト云フ金ヲ削ラウト云フ斯様ナコトニナリマス、詰リ是ハ二タ所ノ修正デハアリマスガ、事柄ハ同シ事デ、鐵道ガ出來上ッタル後三年間二十六萬六千圓ヲ補助スルト云フ契約ヲ結ビタイト云フ案ナンデアリマス、是ハ鐵道敷設中一哩毎ニ三萬四千圓宛ヤルコトハ宜イガ、出來上ッタル以上、六朱ニ對スル利ト云フ見込デ一年ニ二十六萬六千圓ヤルコトヲ削リタイ、第三號ヲ削除シマスニ付テ、第五號ハ自然ノ結果トシテ此修正ガ必要ト認メタモノデアリマセウ、第二ノ方即チ徳島鐵道ノ方ハ修正案ガ出マシタガ、是ハ少數デ潰レマシタ、ソレハ總豫算委員會ニ於キマシテ潰レマシタ、ソレデ詰リ、此追第五號ノ二ツノ契約ヲシタイト云フ此第一ノ北海道ノ方ハ可決シマシタ、ソレデ第二ノ方ハ否決ニナリ

マシタ、ソレデ此三案ヲ一緒ニ御報告申上ゲ置キマス、ソレカラ三十四年度ノ第六號追加、是ハ諸君御承知ノ通ニ青森ニ於ケル近頃ノ出來事デ第五聯隊ガ雪中行軍ニ於テ非常ナル慘狀ニ出遭ヒマシタ、ソレニ對シテノ支出ヲ議スル案デアリマス、誠ニ悲ムベキ案デアリマシテ、委員會ニ於テ承リ合セマスト、今日ニ於テノ死生不明ノモノガ四十七人アルサウデアリマス、其中ニハ中尉ガ一人軍醫ガ一人、士官候補生ガ……見習士官ガ二人、士官以上ノ中ニアル者ガ此四十七人ノ中ニ四人モ含ンデ居ル次第デアリマス、今日ニ生存シマス者ハ、生キナガラ見附カッタ者ハ十七人、中ニ五人ハ遂ニ死去致シマシタサウデアリマス、尙ホ今日生存シテ居ル者ハ僅ニ十二人ニシカ過ギマセヌ、百何人ト云フ數ノ中ニ十二人シカ居リマセヌ、斯ウ云フ次第デアリマス、ソレデ此豫算ハソレニ附イテ種々ナ入費ガ旅費トカ云フモノヲ一々申上ゲル必要ハアリマセヌガ、六萬八千三百五十圓ト云フモノガ特別賜金ト云フコトニナッテ居リマス、此處デチヨイト御斷リヲ申シテ置キマスガ、分科ニ於テハ御調査ニナッタガ何分豫算案ガ澤山アルガタメニ豫算總會ニ於テハ分科ノ主任ヨリ此事ハ御報告ハアリマセヌデアリマシタガ、私モ其席デ質問ヲスルトヲツイ忘レマシタカラ、跡デ個人トシテ此六萬八千三百五十圓ハドウ云フ工合ニ將官以下兵卒ニ金ヲ下サル積デアアルカト云フコトヲ陸軍大臣ニ承リマシタ所ガ、少佐ニハ一人デアリマス、千五百圓、大尉ニハ千圓、中尉ニハ七百五十圓、少尉ニハ六百圓、准士官ニハ五百圓、曹長ニハ四百五十圓、軍曹ニハ四百圓、伍長ニハ三百五十圓、兵卒ニハ二百五十圓宛是ハ親族ノ澤山アルニモナイノニモ必ズ一人ニ附イテ斯ノ如ク金ヲ特別ニ遣スト云フコトデアアルサウデアリマス、是ハ日清戰爭並ニ北清事件ノトキ討死シタ者ガ此例デアッタサウデアリマス、勿論特例デアリマスガ、其日清戰爭並北支那戰爭ノトキト同シコトデアアルサウデアリマス、是ハ勿論異議モ無ク可決致シマシタ、第二號三十五年度歲入歲出追加、是ハ外務省ノ是ハ僅ナモノデアリマス、大藏省ノ部ニチヨット申上ゲレバ申上ゲルコトガゴザイマス、是ハ保稅倉庫ノタメニ豫算ヲ組ンデ出サレタノヲ大藏省ノ見込通大キクセヌデモ宜カラウト云フノデ、殆ド全ク半額ニナリマシタ、衆議院デ削減致シマシタ、ソレハ第十款ノ關稅ト云フ所ニ關係シテ居ルノデアリマス、ソレカラ大藏省ノ臨時部ニ於キマシテ營繕費、是モ右ト同様ノコトデ八千三百何圓ト云フモノヲ四千何百圓ト云フモノニ削減サレテアリマシタガ、政府ハソレヲ容レマシタト云フコトデアリマス、其外乙ニ行キマシテ此案ノ中ニ朝鮮、韓國ニ駐箭シテ居ル所ノ

兵隊ノ新營ヲ造ルト云フコトガアリマス、是ハ元山ト釜山ダサウデアリマス、ソレデ原案ハ元山釜山ト兩方ニ造ルタメニ四十何萬圓ト云フ請求ニナツテ居リマスガ、衆議院ニ於テ元山ハ地形ガ惡ルイデ水ノタメニ朽敗、腐ルトカ何トカ云フ理窟ヲ以テ已ムヲ得ヌダラウガ、釜山ノ方ハマダ辛抱ガ出來ルヂヤナイカト云フヤウナコトガアツタサウデアリマス、政府モソレハ辛抱スレバ出來ヌコトハナイト云フコトデ、其削減ハ容レラレマシタ趣デアリマス、ソレカラ追第三號豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スルモノ、是ハ農商務省デアリマスガ、鹿兒島縣下大島ニ砂糖製造ノタメニ、補給ヲ與ヘルト云フ件デアリマス、是モ可決致シマシタ、一ハ外國人ノ恩給デアリマス、是モ此案モ可決致シマシタ、ソレカラ其次ハ特第二號、是ハ三十五年度特別會計歳入歳出豫算追加デアリマス、是ハ文部省ノ部デ學生費寄附金、ソレカラ學生ノ用度設備費、學生費ト云フヤウナモノデ是ハ何モ報告スルコトハゴザイマセヌ、マルデ豫算總會デハ議論ナシニ通過イタシマシタ、ソレカラ第三號、明治三十五年ノ總豫算追加、是ハ臺灣ノ事業公債ニ係ルコトデアリマス、是ハ衆議院デ削減ヲ致シテ居リマスガ、是ハ政府モ總督ガ出テ來ラレマシテ削減ヲ容レタト云フコトデアリマス、其次ガ特第三號明治三十五年度各特別會計歳入歳出豫算、是モ臺灣ニ係ルコトデアリマス、是ハ臺灣ノ築港ガ重ナルモノデアリマス、ソレト土地調査費、臺灣ノ築港ニ於キマシテハ百二十二萬トカ云フヤウナノガ……百二十萬デアリマスガ、ソレガ百餘萬カ何カニ削ラレテ居リマスガ、是ハ基隆ノ港ハ外港内港ト云フヤウニナツテ居ルサウデアリマス、此案ハ内港ヲ浚渫スルタメニ立テ案デアアルガ、序ニ外港ニモ及ス積デアツタサウデアリマス、即チ内港ノ浚渫ヲ第一期トシ外港ニ及スノガ第二期ト爲ツテ居ルサウデアリマスガ、第二期ニモ及ブ積デアツタサウデアリマスガ、其第二期ダケヲ衆議院デ削除シタサウデアリマス、是ハ政府モ異議ナク容レマシタ趣デアリマス、第六號明治三十五年度歳入歳出豫算追加、是ハ外務省遞信省ガアリマス、外務省ノ方ハ僅ナ金高デ一萬圓デ在清公使館新築費デアリマス、是ハ異議ハゴザイマセヌデシタ、遞信省ノ所ニ行キマシテ是ガ二ツニナツテ居リマスガ、第十款ハ京都ノ郵便局新築費デゴザイマス、是ハ異議ハゴザイマセヌガ、第十款ノ月島丸、諸君御承知ノ先年誠ニ不幸ナ目ニ遭ヒマシタ生徒ヲ乗セテ居ル練習船ガ一艘沈ンダコトガアリマスガ、其時ノ費用ノコトデアリマス、政府案第十款第一項ヲ以テ月島丸乘込生徒一時賜金ト云フ名稱デ七千九百圓ヲ請求シテ居リマス、政府ノ考ハ此

生徒ト云フモノハ海軍豫備員又海軍候補生ト爲ル身分デアアル、故ニ誠ニ氣ノ毒ナコトデアアルカラト申スコトデ、七十九人ト申スモノガ死ンダノデアリマス、其生徒七十九人ニ一人ニ付イテ百圓宛ヤリタイト云フ案デアリマスガ、衆議院ハ之ヲ削減致シマシタ、其理由ハ成ル程海軍候補生ニナル人デアラウガ、此航海ト云フモノハ公務デアナイ私ノ修業ノタメデアッタノデアアルカラ、公務トハ認メルコトハ出來ナイ、公務ニ從事シナイ者ニ政府ヨリシテ斯ノ如キコトヲスル例ヲ開イタナラバ他日困ルデアラウト云フ理由ヲ以テ衆議院ハ削減シタ趣ニ承リマシタ、豫算委員會ニ於テハ是ハ別ニ何等異議ナク削減ノ儘原案ノ如ク通過致シマシタ、第七號、是ハ補助金二萬七千ト云フモノデアリマシテ、是ハ支那ノ湖南汽船會社……支那地方ニ於ケル湖南汽船株式會社ニ補助スル案デアリマス、是モ異議ナク原案ノ如ク通過致シマシタ、追第六號ハ今ノ湖南汽船會社ニ關スルノデ即チ豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ要スル件デアリマス、ソレモ右ノ如ク通過致シマシタ、合テ十二案、豫算委員會ノ結果大略報告致シマス

○議長(公費近衛篤磨君) 明治三十五年度歳入歳出總豫算追加第五號、明治三十五年度特別會計歳入歳出豫算第六號並追第五號豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ要スル件、是ハ鐵道ニ關スルコトデアリマスカラ一括シテ問題ニ供シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

(國務大臣子爵芳川顯正君) 追第五號案ニ附キ此場合ニ一言陳述ヲ致シマス、此豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スルモノハ二ツアリマス、一ツハ北海道鐵道會社ニ助成ヲスルコト、他ノ一ツハ德島鐵道ノ延長ニ對シテ助成ヲスルコト、此二ツカラ成ツテ居リマス、抑此四國ヲ縱貫シマスル鐵道ハ軍事上經濟上ニ附イテ必要ナル線路デアリマスニ依ツテ、鐵道敷設法中ニモ掲ゲテアルノデアリマス、無論此鐵道ハ其時ガ到來致シマスレバ必要ナリトシテ官設致サナケレバナラヌ鐵道デアリマスガ、唯奈何セン歲計ノ都合ニ於テ目下ニ之ヲ官設スルコトハ出來マセヌ、然ルニ偶、私設會社ガ此必要ナル線路ノ大部分ヲ建設致サウト云フ請願ガゴザイマシタガタメニ、之ヲ軍務當局者ノ請求ニ應ジテ建設ヲ線上ゲテ助成ヲ致シマシテ完成セシメネバナラヌ理由ハ、當初此案ヲ提出致シマシタ時ニ於キマシテ、縷々陳述致シテ置キマシタ、且ツ又軍務當局者ヨリモ緊急已ムベカラザルノ必要アリ

ト云フコトヲ當時陳述致シマシタヤウナ次第アリマス、且ツ本日ノ豫算委員會ニ於キマシテモ軍事上緊急已ムベカラザル必要ニ迫ッテ居ルト云フコトハ軍務當局者ガ再ビ陳辯致シマシタヤウナ次第ゴザイマス、之ニ依リマシテ緊急已ムベカラザル必要ニ迫ッテ提出致シタト云フコトヲ御承知下サレタコト、存ジマス、今豫算委員長ノ報告ニ據リマスルト四國鐵道ニ對スル助成案ハ否決ニナツタト云フ報告デゴザイマス、右申上ゲマシタ通緊急已ムベカラザル必要ニ迫ッテ提出致シマシタ案デゴザイマスルカラ、願ハクハ此意ヲ御了承アリマシテ此案ニ協贊ヲ與ヘラレンコトヲ切ニ希望致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 別段ニ御發議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 御發議ガナクバ明治三十五年度歳入歳出總豫算追第五號、御異議ガナクバ原案ニ決シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 次ハ特第六號、明治三十五年各特別會計歳入歳出豫算追加
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 別段ニ御發議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ原案ニ決シマス、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スルモノ追第五號

○議長(公爵近衛篤磨君) ツレハドウゾニツ……色々何ガアリマスカラニツニ……
○議長(公爵近衛篤磨君) ツレデハニツニ分ッテ採決シマス、第一、御異議ガナクバ原案ニ決シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 次ハ……
○子爵(合于城君) 豫算委員ノ削除ニ賛成シマス

〔賛成〕ト呼フ者アリ
○議長(公爵近衛篤磨君) 原案ニ賛成ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

〔原案デスカ……〕ト呼フ者アリ
○議長(公爵近衛篤磨君) 原案デ宜シイデス、委員會ハ削除デスカラ原

案……

○子爵堀田正養君 コイツハ唯今ノハ第五號豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スルト云フ第二……

○議長(公爵近衛篤磨君) 第二デス
○子爵堀田正養君 法律ノ結果ニ屬スル部分デスカ

○議長(公爵近衛篤磨君) サウデス、ツレデハ是モ削除ト認メテ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 明治三十四年度歳入歳出豫算追加第六號、御異議ガナクバ原案ニ決シマス
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 明治三十五年度歳入歳出豫算追加第二號
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクバ原案ニ決シマス、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件、追第三號
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ原案ニ決シマス、明治三十五年度特別會計歳入歳出豫算追加第二號
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ原案ニ決シマス、明治三十五年度歳入歳出總豫算追加第二號
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ原案ニ決シマス、明治三十五年度各特別會計歳入歳出豫算追加第三號
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ原案ニ決シマス、明治三十五年度歳入歳出總豫算追加第六號
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクバ原案ニ決シマス、明治三十五年度歳入歳出總豫算追加第七號、竝ニ豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スルモノ、追第六號

案……

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ原案ニ決シマス、マダ議案ハ殘ッテ居リマスガ、時間ガ四時ヲ過ギマシタガ、尙ホ續イテヤリマスカ、ツレトモ明日ニ延シタ方ガ宜シウゴザイマスカ

〔明日々々ト呼フ者アリ〕

○中西光三郎君 切迫デゴザイマスカラ、ドウカ此日程ニアルダケヲ本日議了ヲ願ヒマス

〔贊成ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ續イテヤリマス、日本勸業銀行法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告、農工銀行法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

○子爵曾我祐準君 豫算案ガマダ三ツ殘ッテ居リマスガ、法律ノ關係ノタメニマダ議セスニ居リマシタガ、此際ドウゾ豫算委員會ヲ開キタウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス、デハ委員長ハ今退席中デアリマスカラ後トヘ回シマシテ明治二十四年法律第二號中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

明治二十四年法律第二號中改正法律案

右否決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十五年三月七日

右特別委員副委員長

中島 永元

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

〔中島永元君演壇ニ登ル〕

○中島永元君 委員長ハ此委員會ノ時ヨリ所勞デアリマス、本員ガ委員會ノ結果ヲ御報告致シマス、此委員會ハ昨日開キマシテ段々審査ヲ致シマシタ、此案ハ至ッテ簡單ナモノデアリマスルガ、財政上ニハ随分大ナル關係ヲ有ッテ居ル案デゴザイマス、此改正ノ主意ト申シマスルモノハ御承知ノ通地租ノ徵收期限ト云フモノハ六期ニ分ケテアリマス、其六期ノ中デ一期二期ハ畑地、宅地、山林原野等ノ地租ノ納期デアリマシテ、三期カラ六期マデガ田畑即チ

田地ノ地租徵收期デアリマシテ此三期ハ即チ田租ノ中ノ一番最終ノ期デアリマス、此三期ハ其歳ノ十二月十六日ヨリ翌年ノ一月十五日マデガ納税ノ期限デアリマスガ、ツレヲ繰下ダテ一月一日ヨリ一月三十一日マデノ納期ニシタイト云フ十五日間遲ウスル主意デアリマス、チヨット見マスレバ僅カ十五日位ノ所デアリマスカラ格別差支モアルマイ、此タメニ納税者ハ餘ホド便利ヲ得ルサウデアリマスガ、政府ニ於テハ此十五日ノ延期ハ餘程財政上ニ困ルサウデアリマス、其譯ト申シマスルモノハ、此年度ノ初ヨリ翌年ノ一月一日マデニ段々歳入歳出ノ高ヲ調ベタモノガアリマスガ、其月ニ依ッテ大概一月一日マデノ所デアハ歳入ノ方ガ不足ニナッテ居リマス、月ニ依ッテハ時トシテ歳入ガ超過スルコトガアリマスケレドモ、年度ノ初ヨリ一月マデノ差引シテ累計ヲ見マスレバ三千万圓餘リ不足スルコトニナッテ居リマス、ツレデ此十五日ヲ延スト云フコトハ其不足ノ上ニ尙ホ不足スルコトデアリマスカラ餘程困難ト云フコトデアリマス、尤モ此……

〔簡短々々ト呼フ者アリ〕

ツレデハ簡短ニ致シマス、此提出案ノ主意ト云フモノハマダ米ヲ收穫シテ賣ッテ金ニナラヌ中ニ地租納期ガ來ルト云フヤウナコトデ、或ハ小作人カラ地主ニ小作料ヲ納メ切ラナイ時分ニ此地租納期ガ出來ルト云フヤウナ譯デ、餘程納税者ニ取ッテハ此十五日ハ延バシテ貫ヘバ便利ニナル、其便利ニナル代リニ政府デハ餘程困ルト云フコトデアリマシテ、遂ニ色々調査ヲ致シマシタガ、政府ハ何分此改正案デハ困ルト云フコトデアリマス、ツレカラ之ニ贊成スル委員モアリマシタ、ツレハ今申ス通ノ主意デ主張サレマシタケレドモ、現行ノ法律ト云フモノハ二十四年カラ致シテモウ既ニ十年間實行シテ居ルデ最初衆議院ヨリ第一期議會ノ時ニ提出ニナッタ案ガ即チ此法律ト爲ッテ居ルサウデアリマス、最早是マデ十年モヤッテ來タモノデアアルカラ今俄ニ改正スル必要モアルマイ、政府ノ困ルコトモ少シハ見テヤラナクテハナラナイト云フヤウナ所デ、否決論者ガ多ウゴザイマシテ遂ニ一人ニ對スル五人ノ多數ヲ以テ是ハ否決スベキモノト決シマシテゴザイマス

○伊澤修二君 チヨット意見ヲ申シタイ

○議長(公爵近衛篤磨君) 之ニ附イテモゴザイマスカ……宜シウゴザイマス

○男爵尾崎三良君 ドウデスカ、定足數ニ足リテ居リマスカ、若シ定足數ニ

足ラヌトキハ折角議シテモ何モナリマセヌガ……

○議長(公爵近衛篤磨君) マダ宜シウゴザイマス

(伊澤修二君演壇ニ登ル)
(「簡短々々」ト呼フ者アリ)

○伊澤修二君 諸君、簡短ニ私ハヤリマスカラ、ドウゾ御賛成ヲ願ヒタイ、私ハ本案ニハ贊成ノ意見ヲ持ツテ居リマス、ト申シマスルノハ唯今委員長カラ御報告ガアリマシタシ、又此前ニ於テモ政府委員カラモ御説明ガアリマシテ、本案ガ可決ニナリマスト政府ノ歳入ノ上ニ餘程ノ關係ガアルト云フコトヲ言ハレマシタト云フノハ諸君御記憶ノコトデゴザイマスカラ此場合ハ繰返シテ申シマセヌ、要スルニ此期ニ於テ納マル所ノ田租ノ金額ハドレダケニナルカト云フト八百萬圓、其八百萬圓ノ金ヲ茲デ政府ノ大キナ歳計ノ中カラシテ何分ニモ其都合ガ出來ヌト云フコトノナカラウト云フコトハ無論ノ話、又八百萬圓ノ金ニ對シテ十五日間ニドレダケノ金ニナルカ即チ利子ト云フモノガ要ルト此間ハ大變御主張デゴザイマシタガ、利子ハドノ位カト云フト、僅カニ二萬圓バカリ、政府ノ失フ所ハ唯僅カニ二萬圓デアアル、所ガ之ガ若シ可決ニナルカ否決ニナルカ知レマセヌガ、是ハ諸君ドウデゴザイマセウ、即チ四千萬ノ中ノ人ノ苦樂ニ關スル非常ナコトデアアル、ドウゾ諸君ハ此農民ノタメニ一滴ノ涙ヲ御流シ下サレテ何卒本案ヲ可決セラル、コトニ致シタイ、隨分農民ニハ可哀サウナ者ガ澤山アリマス、實ニ年末ニ掛ッテマダ米モ賣レナイト云フ此者ノ金ヲ取立テルト云フコトハ是ハ酷ナ話ト思ヒマスカラ政府ノ失フ所ハ僅ニ二萬圓、其苦樂ニ關スル所ハ實ニ四千萬ノ中ノ人ニ關スルコトデ、決シテ是ハ輕イ問題デハアリマセヌ、ドウゾ諸君ハ本案ニ御賛成ヲ願ヒマス

○政府委員(若槻禮次郎君) 唯今此法案ニ附イテハ政府ハ唯金利ヲ二萬圓ダケ失フノミデアアルカラ差支ナカラウト云フコトデアリマスガ、其事ハ一讀會ノ初ニ於テ申上ゲテ置キマシタガ、今日既ニ一月ノ所デハ不足ノモノガ三千百萬圓カラデゴザイマス、其上ニ八百萬圓ノ金ヲ更ニ借リルコトニ致シマス、凡ソ四千萬圓ダケ大藏省證券ヲ發行スルカ、或ハ日本銀行カラ借入レルコトニナル、此事ハ金融上ニ大ニ關係スルコトデアアル、二萬圓ノ金利ノミデハナイ、民間ノ金ヲ八百萬圓借入ユスルト云フコトハ其影響スル所ハ容易ナラヌコトニナリマスカラ、ソレデ政府ハ反對スルノデアリマス、ドウカ其意味ヲ以テ御考慮ノ上、否決アラントヲ希望シマス

○河路重平君 私モ原案ニ贊成ノ方デゴザイマス、昨日委員會ニ於テモ縷々述ベマシタガ、納稅者ト政府ノ迷惑ト比較スルト延バシタ方ガ宜カラウト云フ考デゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ採決シマス、二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵近衛篤磨君) 少數ト認メマス、民法中改正法律案……

○子爵新莊直陳君 今委員長ガ出席シテ居リマスカラ日本勸業銀行法中改正法律案外二件ノ方ヲ……

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ本ニ戻リマシテ日本勸業銀行法中改正法律案、外二案衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

日本勸業銀行法中改正法律案

右別冊ノ通り修正セリ依テ及報告候也

明治三十五年三月七日

右特別委員長

伯爵正親町實正

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

(別冊)

日本勸業銀行法中左ノ通改正ス

第三十條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第三十一條ノ一 日本勸業銀行ハ農工銀行ノ年賦償還貸付金ノ債權及其ノ擔保タル抵當權ヲ擔保トシテ年賦償還ノ方法ニ依リ貸付金ヲ爲スコトヲ得

「第三十一條」ヲ「第三十一條ノ二」ニ改ム

農工銀行法中改正法律案

右別冊ノ通り修正セリ依テ及報告候也

明治三十五年三月七日

右特別委員長

伯爵正親町實正

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

農工銀行法中左ノ通改正ス

第二十四條第三項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

農工銀行ハ年賦償還貸付金ノ債權及其ノ擔保タル抵當權ヲ擔保トシテ日本勸業銀行ヨリ年賦償還ノ方法ニ依リ借入金ヲ爲スコトヲ得

第二十六條第一項但書中「總高」ノ下ニ「ヨリ第二十四條第四項ニ依リ質ト

ナシタルモノヲ控除シタル金額」ヲ加フ

第二十七條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ第二十四條第四項ニ依リ質ト爲シタルモノノ償還高ハ此ノ限ニ在ラ

ス

農工銀行法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十五年三月七日

右特別委員長

伯爵正親町實正

〔伯爵正親町實正君演壇ニ登ル〕

○伯爵正親町實正君 ソレデハ本案ニ附キマシテ便宜上三案トモ一緒ニ極ク簡短ニ御報道申シマス

〔「極ク簡單々々」ト呼フ者アリ〕

承知シマシタ、本案ハ農工銀行ガ現行ノ法ニ於テハ金融上ニ甚ダ差支ヘルカラ債權ヲ抵當トシテ日本勸業銀行カラ金ヲ得ルコトニシタイト云フ詰リ法案デアリマス、ソレデ委員會ニ於キマシテハ種々審査ヲ遂ゲマシタ末、別ニ本案ニ於テハ其事ニ異存ハゴザイマセヌ、唯少シク此抵當物ノ確定不確定ト云フコトニ附イテ議論ガアリマシテゴザイマス、ソレデ斯ノ如ク修正ヲシマシタナラ極ク確實ニナツテ宜カラウ、ソレハ詰リ年賦貸付金ノ債權及其擔保タル、抵當權ヲ擔保トスル、其債權ノミナラズ農工銀行ガ抵當ニ取ツテ貸付ケテ居ル其動産マデモ共ニ擔保トシテ、サウシテ勸業銀行ハ貸サウト斯ウ云フコトニナルノデアリマス、サウシテ債權ト不動産ト兩方ヲ拘束スルト云フコトニナルカラ此方ガ日本勸業銀行ノ貸付ニ於テ最モ確實ナコトデアアル、故ニ斯ノ如ク修正シタイト云フコトデ、ソレ故ニ此勸業銀行法中ノ三十一條ノ一ノ所ハ斯ノ如ク修正ヲ加ヘマシタノデゴザイマス、ソレカラ二項ガ削除ニナリマシタガ、是ハ詰リ抵當權ノ安全ヲ保ツタメニ特ニ附記シタラ宜カラウト云フコトデ茲ニ這入ルノデアリマスガ是ハ民法ナリ不動産登記法ノ結果トシテ茲ニ書カズトモ、是ダケ登記スルコトニナツテ居ルカラ別段書ク必要ハナイ、單純ニ申セバ斯ウ云フ理由デアリマス、ソレカラ農工銀行ノ方ニ於キマシテモ前申述べマシタ如ク「債權」ノ下ニ「及其抵當權タル擔保トシテ」ト云フ

字ガ這入リマシタ、是ハ前申シマシタ日本勸業銀行法ト同シ理由デ這入リマシタ、モウ一ツハ「府縣知事」ノ下ニ「北海道廳長官ヲ含ム」ト云フ法案デアリマス、是ハ一向何ノ異議モゴザイマセヌ、原案ノ通決シマシテゴザイマス

○中西光三郎君 唯今議題ト爲リマシタ案ハ至極簡單ナ案デゴザイマスカラ讀會省略ヲ……

〔讀會省略ニ贊成〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 修正ガアリマスガ、修正ノ儘讀會省略デ宜イト云フ御考デアリマスカ

○中西光三郎君 左様デゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 讀會省略ニ贊成ガアリマス、三分ノ二以上ト認メテ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ讀會省略ニナリマシタ、サウスルトモウ一ツ殘ツテ居ル銀行ノ方モ御同様デアリマスカ

○中西光三郎君 左様デゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデヤア贊成ノ諸君モ其通認メテ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ三案トモ御異議ガナケレバ原案ニ決シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 民法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

民法中改正法律案

右否決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十五年三月七日

右特別委員長

三好退藏

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

〔三好退藏君演壇ニ登ル〕

○三好退藏君 民法中改正法律案特別委員會ノ經過及決議ノ結果ヲ御報道イ
タシマス、本案ハ衆議院ノ提出ニ係ルモノデアリマシテ、直接ニ説明ヲ聞ク
コトガ出來マセヌカラ、特別委員會ニ於キマシテハ政府委員ガ衆議院ニ於テ
聽カレタル所ノ本案提出ノ理由ヲ承リマシテ、委員會ニ於キマシハ具ニ其說
明ヲ聽イテ審議ヲ致シタ次第ゴザイマス、本案ハ御覽ノ通民法ノ第九百七
十條第一項第三號ニ但書ヲ加ヘルト云フモノデゴザイマス、其但書ハ「但父
入夫入婚ナル時ハ嫡出子ハ女ト雖モ之ヲ庶子ヨリ先ニス」ト云フ案デアリマ
シテ、其理由ノ主意ト致シマスル所ハ血統ヲ重ンズルト云フコト、モウ一
ツハ嫡出子ヲ重ンズルト云フコトデアリマス、然ルニ本案ノ如ク致シマシタ
トキニハ家女デアリマシタ時ニハ血統ヲ重ンズルト云フ主意ヲ貫クコトガ出
來ルカモ知レマセヌケレドモ、必ズ家女ト限リマセズ、或ハ養女ヲレテ婚養
子ヲスルト云フ場合ガアルカモ知レズ、又一旦夫婦ト爲リマシタ其家女ガ死
亡シタ場合ニ於キマシテ、後妻ヲ娶リマシタ時ニハ血統ヲ重ンズルト云フ主
意ヲ貫クコトガ出來ナイト云フコトニナリマス、ソレカラ第二ノ嫡出子ヲ重
ンズルト云フコトハ當然ノコトデアリマスケレドモ、我國古來ノ習慣ト致シ
マシテ、男ヲ先ニシテ女ヲ後ニスルト云フコトノ習慣ニモナッテ居リマシテ、
又民法ノ精神モソレニ依テ制定セラレテ居ルデアリマス、此案ノ如ク致シ
マスルト却ッテ本邦古來ノ習慣ヲ破ルト云フコトニナリマスノデゴザイマス、
第一第二ノ理由トモニ今日之ヲ改正スルノ必要ハナイノミナラズ、却テ不適
當デアラウト云フ意見ヲ提出シタ人ガアリマス、且ツ此婚養子ト云フコトハ
民法中ニ規定セラレテ居ル文字デアリマスケレドモ、入婚ト云フ文字ハ法
律上ニ今日マデ認メラレテ居ラナイノデアリマス、俗ニハ申シスルケレドモ
法律上デハ入婚ト云フコトハ見エテ居リマセヌノデゴザイマス、ソレ故ニ實
質上及形式上共ニ本案ハ不適當ノモノデアル、ソレ故ニ否決スベシト云フ意
見ヲ提出シタ委員ガアリマシテ、ソレニ對シテハ他ニ一人モ反對スル人ハゴ
ザリマセヌ、依ッテ全會一致ヲ以テ本案ハ否決スベキモノト決議致シテゴザ
イマス、此段御報告ニ及ビマス

起立者ナレ

○議長(公爵近衛篤磨君) 本案ニ讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマ
ス
○議長(公爵近衛篤磨君) 起立者ハアリマセヌ、ソレデハ否決ニナリマシ
タ、本日ノ議事ハ是ニテ了リマシタ、明日ハ日曜日デアリマスルケレドモ最

終ノ日デアリマスカラ、尙ホ議案モ殘ッテ居リマスルガタメニ議事ヲ開キマ
ス、其日程ハ追テ御報道致シマス、今日ハ散會
午後四時二十五分散會